

唐土名勝圖會

京師

二

唐土名勝圖會第一集卷之

目次

皇城全圖 目錄

皇城

ル 5
987
2



九 5
卷

皇

城

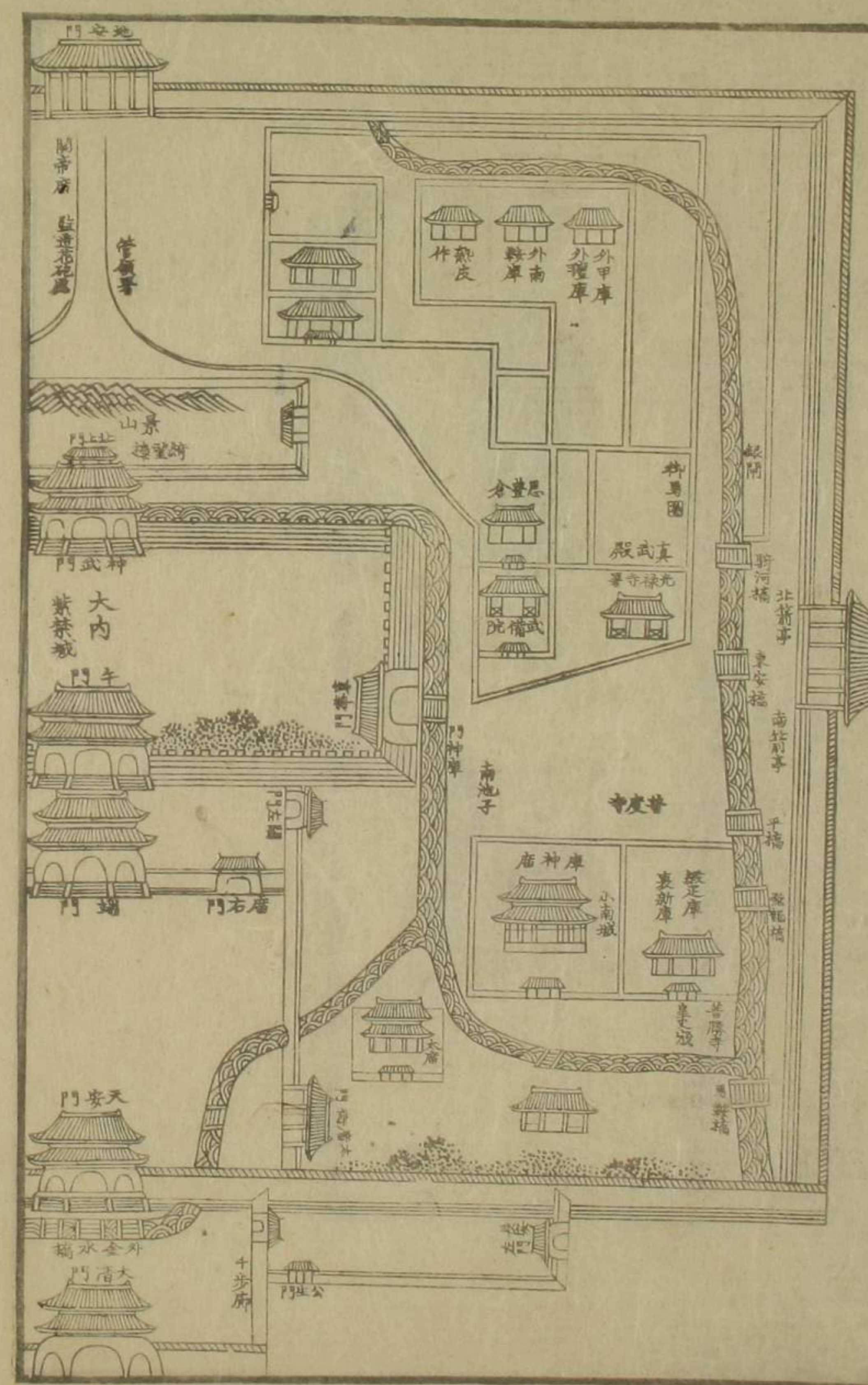
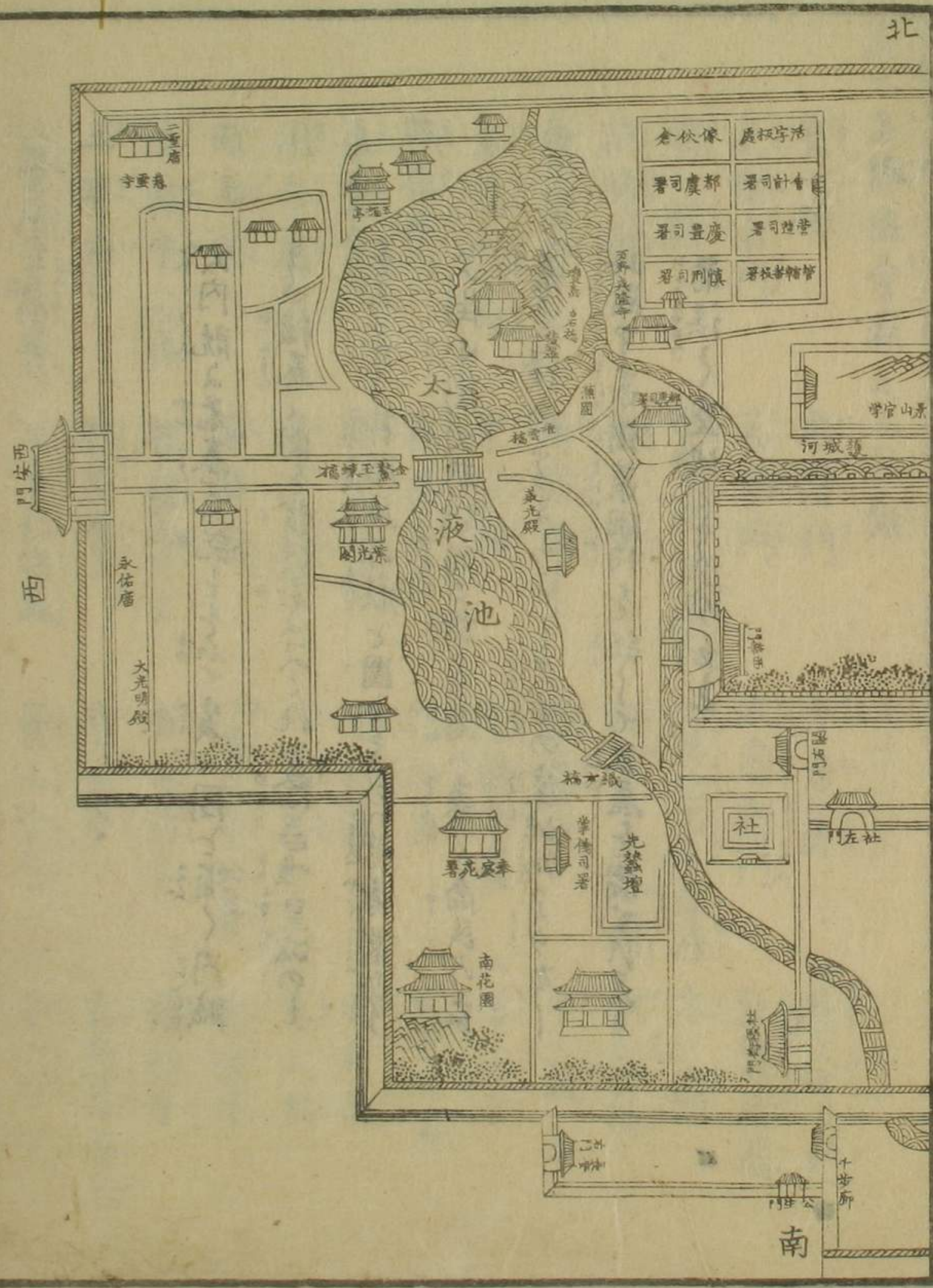
唐七名券圖會

京師

皇城

卷之二

水越后高田
久村農休歸
油豎寺日甲



皇城總圖

大内既云卷二記をみて爰に圖と稱し内城
 其後卷二圖を載りて又これと除き唯皇城の
 を云せり其殿屋の形と圖とありの皆奇器なる
 大街小街火巷胡同と稱する者悉く高民の家
 居是後きつりまらして又すの空地ありたり
 此圖中某街某胡同を記して民屋を圖せし見
 者誤く空地ととる勿と

唐土名勝圖會卷之二目錄

- | | | | |
|---------|-------|---------|-------|
| 皇城 | 大清門 | 千步廊 | 長安龍門 |
| 長安右門 | 天安門 | 太廟街門 | 社稷街門 |
| 端門 | 中書科直房 | 六科給事中直房 | 太廟 |
| 社稷壇 | 皇史宬 | 緞足庫庫神廟 | 飛龍橋 |
| 普度寺 | 馬鞍橋 | 南苑亭 | 平橋 |
| 東安門 | 東安橋 | 光祿寺署 | 南池子 |
| 鞞作作 | 外養狗處 | 門神庫 | 武備院署 |
| 恩豐倉 | 別羅斯文館 | 宣仁廟 | 凝和廟 |
| 園帝廟 | 驕河橋 | 小築亭 | 真武殿 |
| 御馬園 | 馬神廟 | 一等忠勇公身 | 嵩祝寺 |
| 法淵寺 | 智珠寺 | 吉安所 | 鐘鼓寺 |
| 五聖祠 | 興隆寺 | 華嚴寺 | 朱彝尊賜宅 |
| 三旗統領管領署 | 監造花炮處 | 景山官學 | 景山 |

稽察內務府衙門 白石橋

慎刑司署 慶豐司署

武英殿活字板處 管轄番役署

福佑寺 昭顯廟

掌內管領園防署 都虞司署

掌儀司署 真武廟

奉宸苑署 西苑

蕉園萬善殿 人字柳

瓊華島 永安寺

闡福寺 鐵涼香

真武殿 蠶池

琉璃作 永佑廟

巧機堂 壽明殿

二聖廟 慈雲寺

護城河

會計司署

萬壽興隆寺

官三倉

管理三旗納銀莊署

南花園

大液池

金鰲玉煉橋

先蠶壇

延壽菴

蘇升元宅地

大光明殿

火藥局

元都勝境

大高玄殿

營造司署

靜默寺

儀仗倉

王爺菴

瀛臺

養光殿

五龍亭

經板庫

天主堂

高士奇宅地

西安門

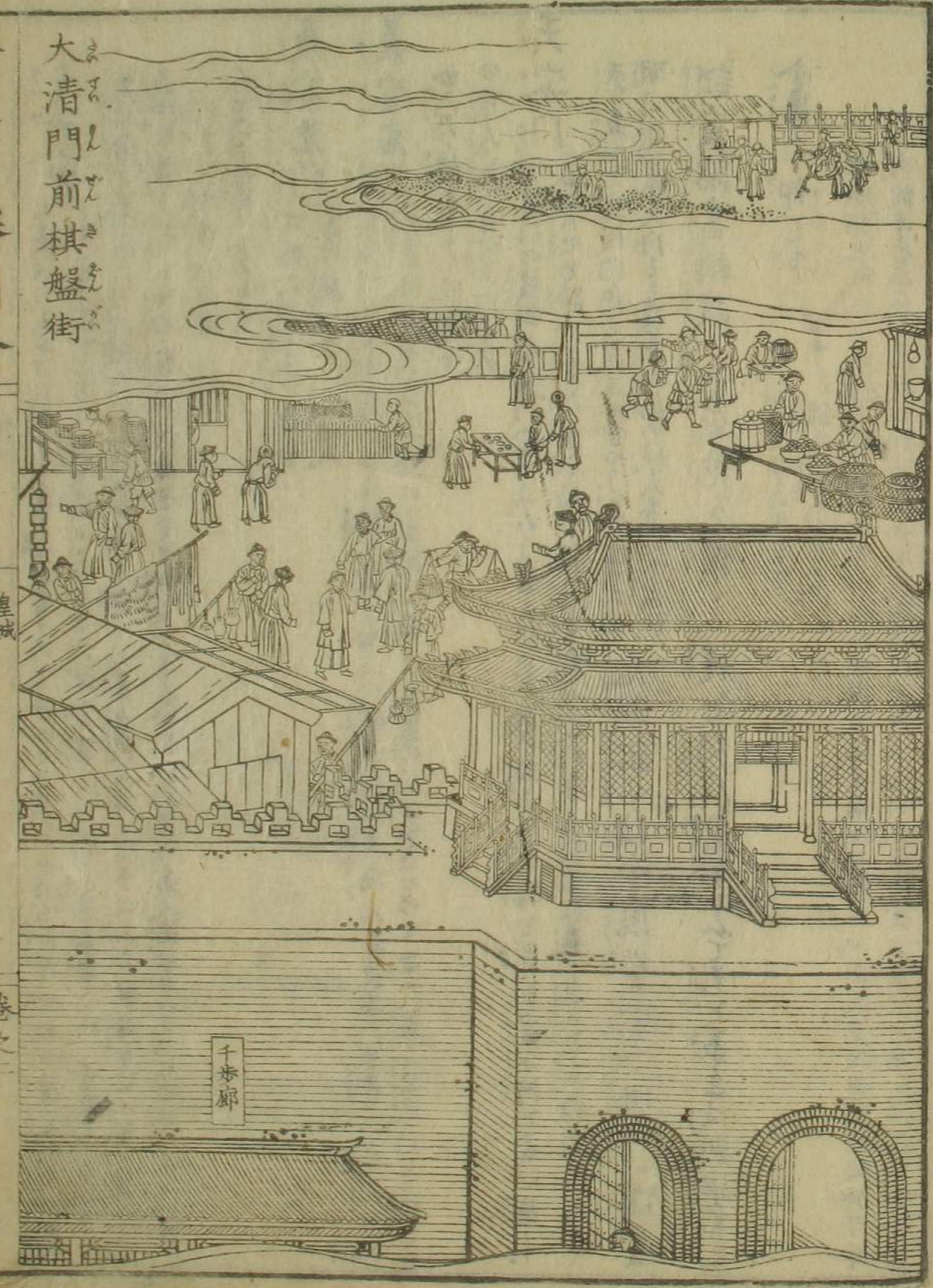
弘仁寺

虎城

教軍場

地安門

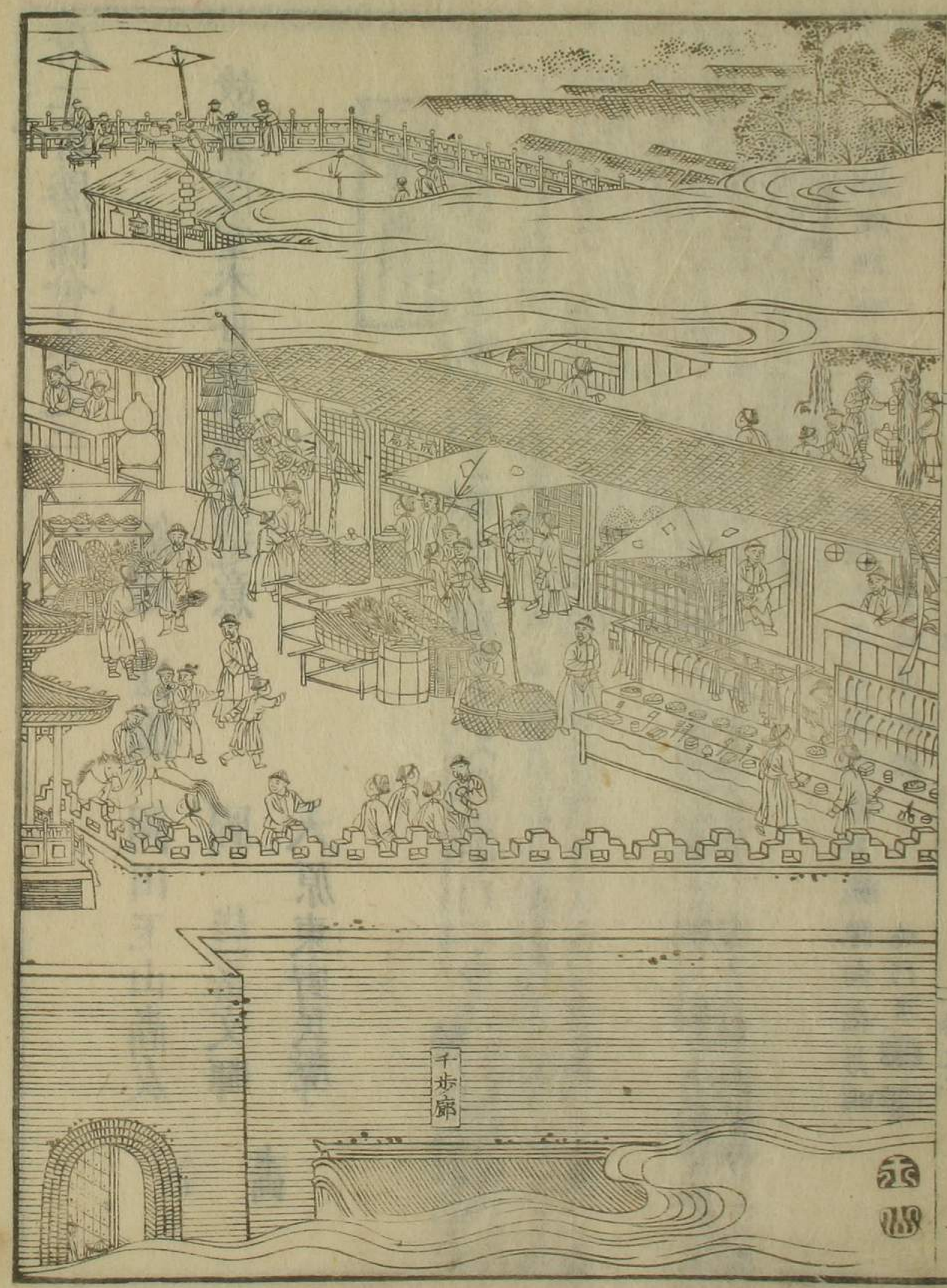
大清門前棋盤街



皇城

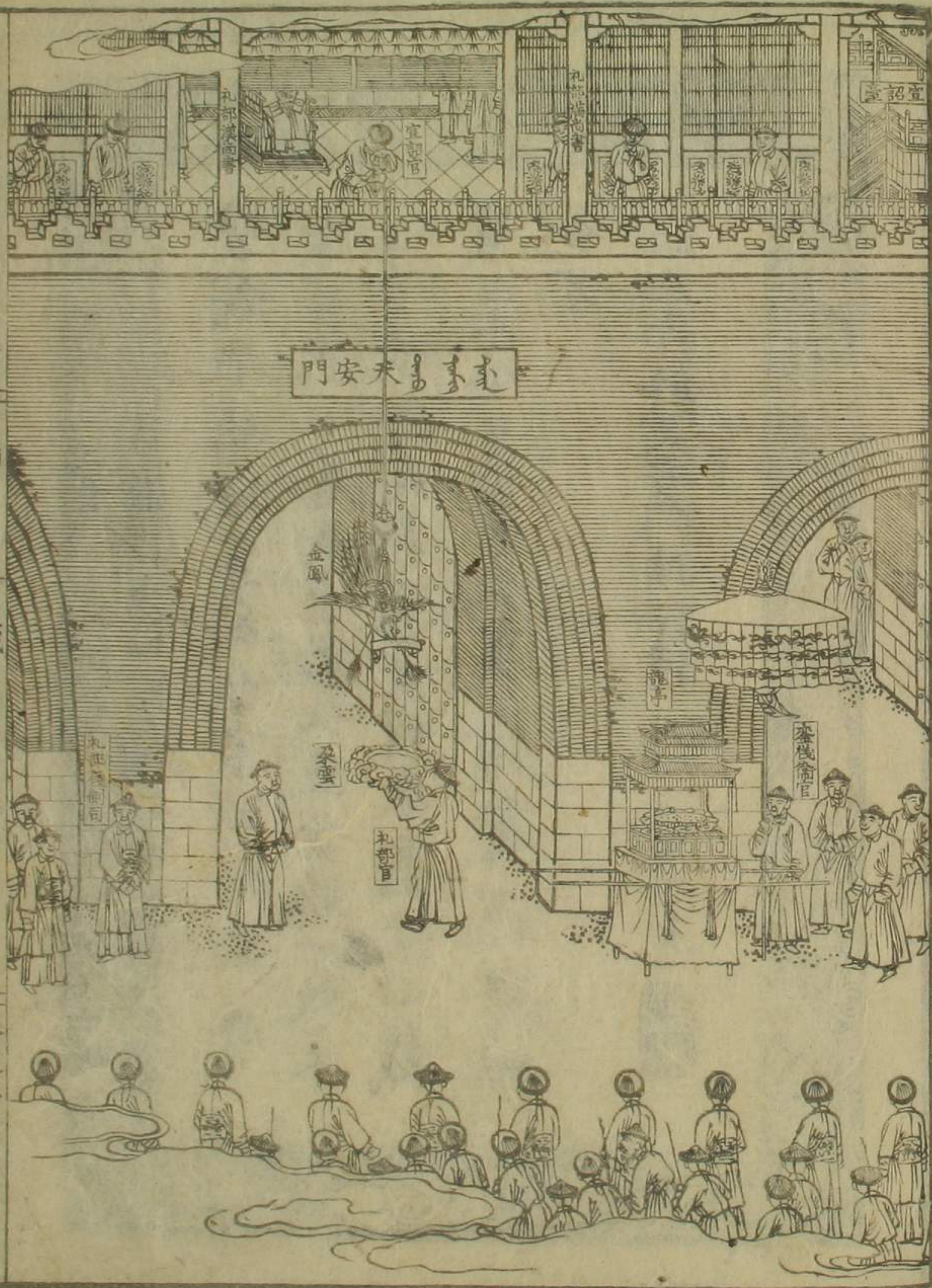
卷之二

十步廊

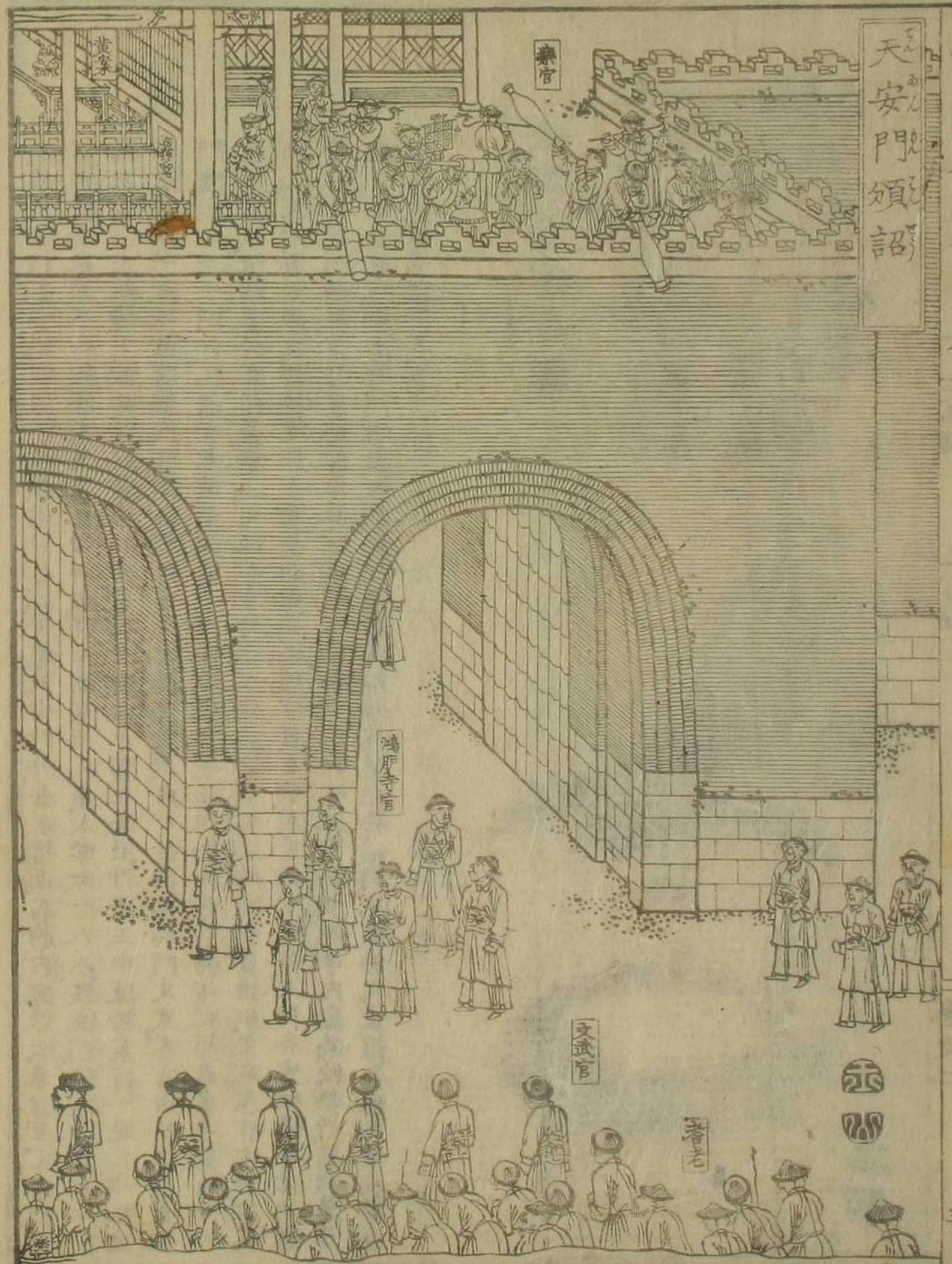


十步廊

卷之二



天安門頌詔



雙閣平明煙霧閉九重
須詔出層臺
播懸木鳳銜書舞伏立金鷄下
故來彩攢橫時天宇
濶黃封展盡聖心裁
策災本是賢良事
何處還尋杜谷才

右毛奇齡天安門頌詔詩

皆川愿



○右廟街門 天安門の内東 廡の正中より

○社稷街門 天安門の内西 廡の正中より

端門 天安門の後より門の制天安門と同一門内東西の兩廡各八間其北の東に廟在門あり西に社稷街門あり東より西に十二間の兩廡あり都察院寺府監等の諸官祔房あり其廡北の東に中書科直房あり西に中書科直房あり

中書科直房 午門の外西廡

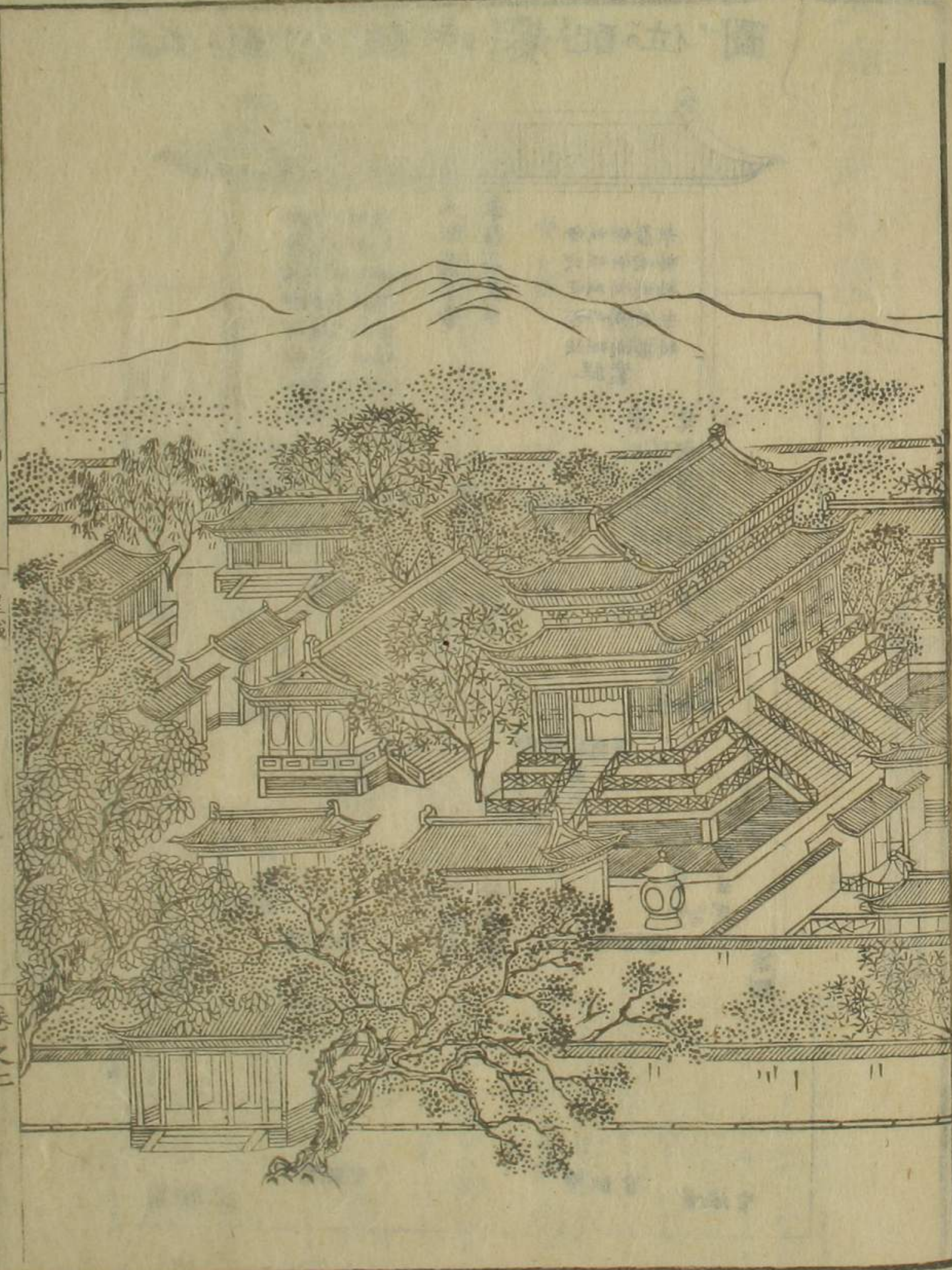
○六科給事中直房 午門の外西廡より東に

雍正二年始りて六科を以て都察院に隸以 吏科の北に刑部文書科の碑あり一通の

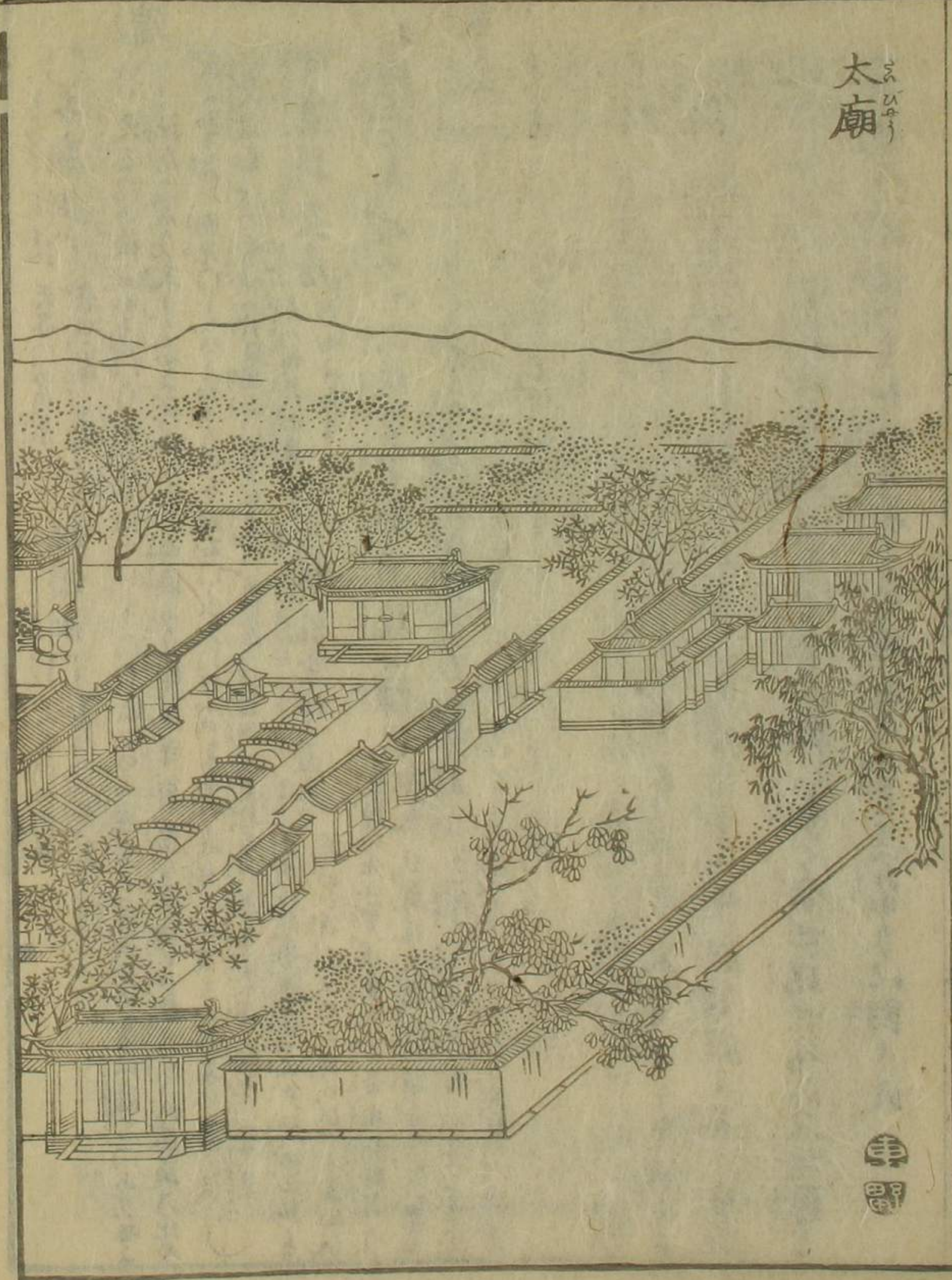
太廟 廟門の東あり南に廟門丹雘覆くは其北の瓦を以て衛に中書科直房あり周三百九十二間あり

○九歲暮大洽の日に王公二人各々入室官を率い中殿後殿を安んず

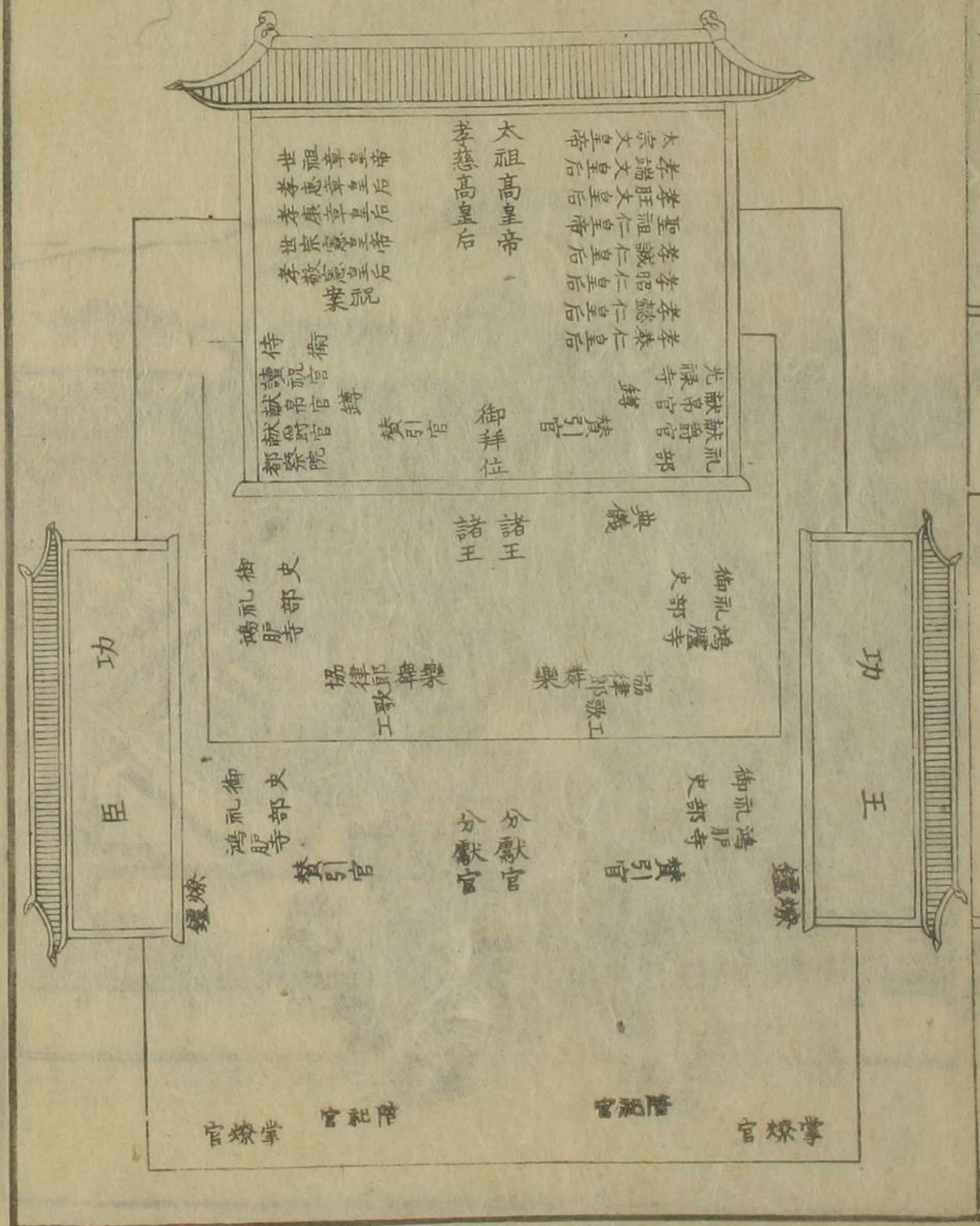
列祖暨列聖列后の祔位と若殿を後 是と合せ祀せ給ふ又時饗宴
中殿の祔位を世に奉じて祀廟の至り其ありに與り



太廟



太廟前殿時饗配位圖



太廟前殿時饗陳設圖



此陳設の圖は、唐書禮志に據りて、禮部の儀注に依りて、太廟の陳設を記す。其の儀注に、正位に、銅和羹、登大羹、銅和羹、登大羹、籩和羹、籩和羹、籩和羹、籩和羹、豆和羹、豆和羹、豆和羹、豆和羹、簋和羹、簋和羹、簋和羹、簋和羹、脰和羹、脰和羹、脰和羹、脰和羹、燭、香、燭、香、俎、鼎、とあり。此の圖は、禮部の儀注に依りて、太廟の陳設を記す。其の儀注に、正位に、銅和羹、登大羹、銅和羹、登大羹、籩和羹、籩和羹、籩和羹、籩和羹、豆和羹、豆和羹、豆和羹、豆和羹、簋和羹、簋和羹、簋和羹、簋和羹、脰和羹、脰和羹、脰和羹、脰和羹、燭、香、燭、香、俎、鼎、とあり。此の圖は、禮部の儀注に依りて、太廟の陳設を記す。其の儀注に、正位に、銅和羹、登大羹、銅和羹、登大羹、籩和羹、籩和羹、籩和羹、籩和羹、豆和羹、豆和羹、豆和羹、豆和羹、簋和羹、簋和羹、簋和羹、簋和羹、脰和羹、脰和羹、脰和羹、脰和羹、燭、香、燭、香、俎、鼎、とあり。

太廟陳設祭器

玉爵

通高五寸三分
分深二寸四分
分而柱高九分
分腹為藻紋
三足相距各一寸六分高
二寸一分



銅

範銅為之兩耳
及緣飾以金高
四寸一分深四
寸口徑五寸一
分底徑三寸三
分三足高一寸
三分用青色
兩耳為犧形口
繪藻紋次回紋
腹繪貝紋蓋高
二寸五分給藻
紋回紋雷紋上
有三峰高一寸
飾以雲足紋同



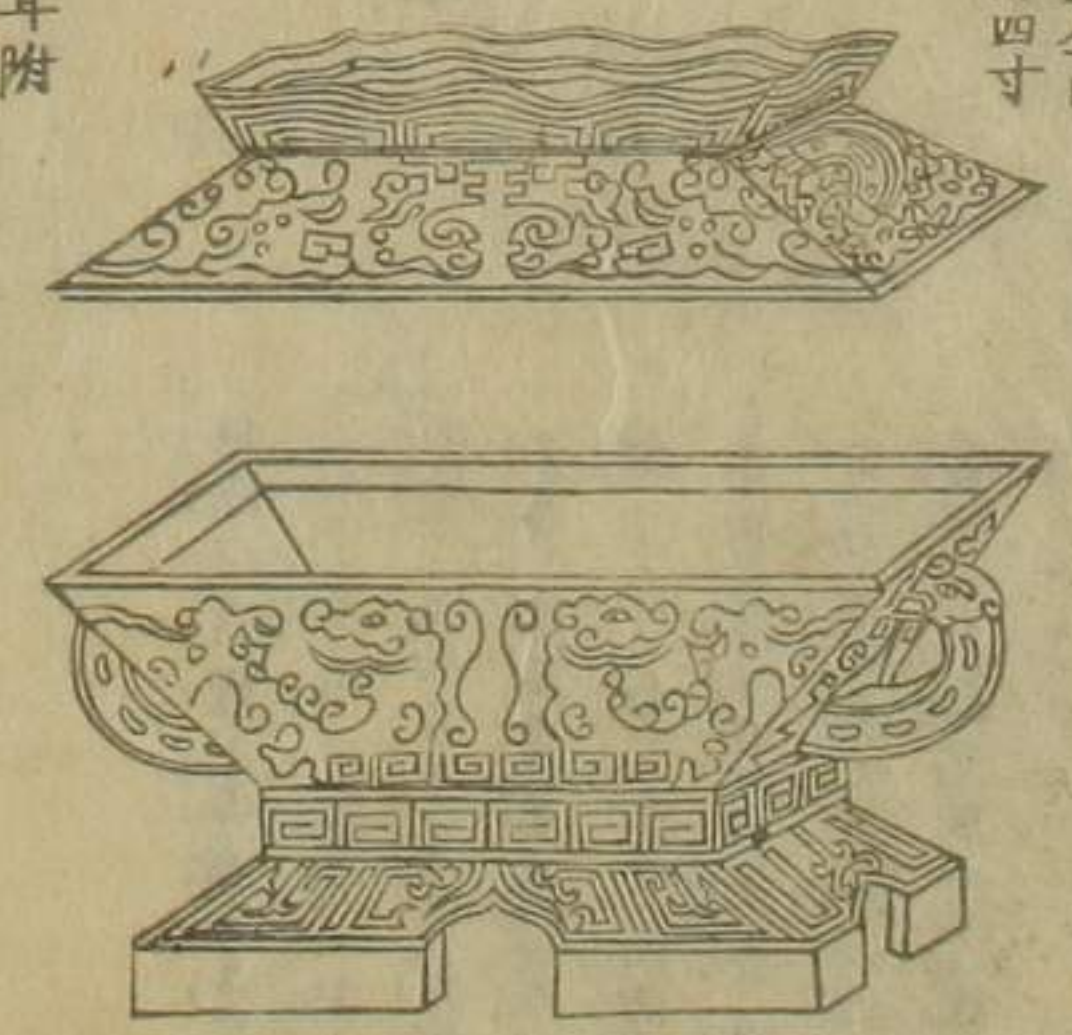
登

用黃色蓋通高六寸一分深二寸一分口徑五寸寸按圍六寸六分足分四寸四分口為回紋中為雷紋柱為雲紋足為雷雲紋蓋高一寸八分徑四寸五分項高四分上為星紋中為雷雲紋口亦回紋



簠

木質髹以漆塗金四面飾以玉通高四寸六分深二寸六分口縱六寸四分橫八寸底縱五寸一分橫六寸四分蓋高一寸四分口縱六寸四分口縱六寸四分有稜四周縱六寸四分橫八寸面為夔龍紋束為回紋足為雲紋兩耳附以夔龍蓋紋與器同



簋

木質髹以漆塗金四面飾以玉通高四寸二分深二寸一分口徑七寸二分底徑六寸八分蓋高一寸八分徑與口徑同上有稜四出高一寸一分口為回紋腹為金飯紋校為黻紋足為星紋兩耳為夔龍蓋紋與器同稜為雷雲紋頂周為回紋中為雲紋



篋

編竹為之以綳飾其頂及緣皆髹以漆黃色口繪雲紋通高五寸二分深九分口徑四寸四分足徑四寸一分蓋高一寸八分徑與口徑同頂高五分頂緣漆色與器同



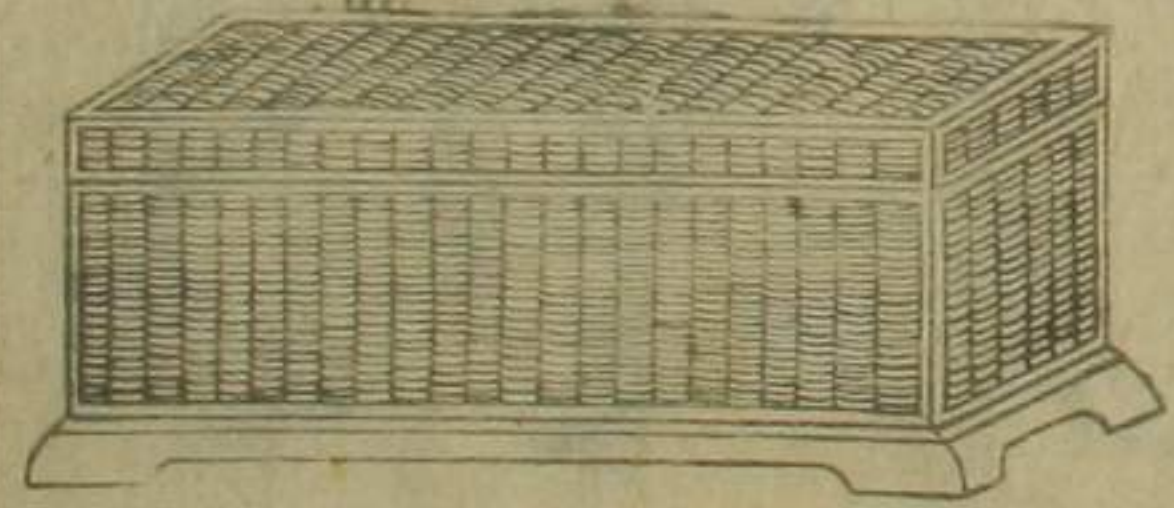
豆

木質髹以漆塗金三方飾以玉通高五寸五分深二寸口徑四寸九分校圍二寸足徑四寸七分蓋高二寸二分分徑與口徑同頂高五分腹為雷雲紋回紋校為黻紋金飯紋足為黻紋蓋為波紋回紋頂為綉紐高六分



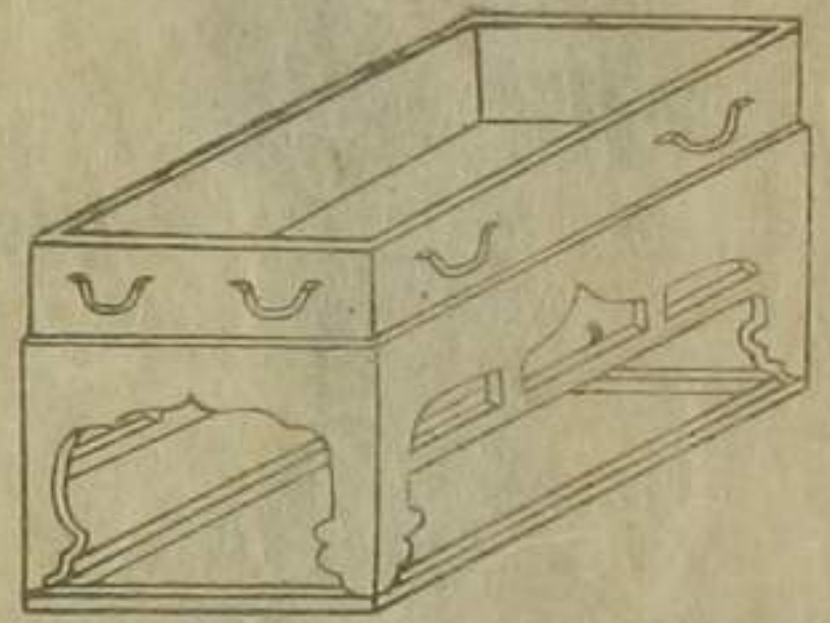
篚

編竹為之四周髹以漆黃色高五寸縱四寸九分橫二尺二寸五分足高一寸一分



俎

以木為之
聚以漆青
色中虛錫
裏四周各
銅環二四
足有耐鐵
二尺三寸
橫三尺二
寸通高二
尺三寸實
以特牲



犧尊

範銅為之作犧形尊其上高四
尺三寸
五分四
向有稜
為回紋
夔龍底
徑二寸
六分蓋
高一寸
一分徑
與口徑
同上為
垂花紋
下為夔龍紋高五寸一分長
八寸三分孟春時享用之



象尊
孟夏時
享用之



著尊
孟秋時
享用之



壺尊
孟冬時
享用之



以上制之大小花紋等略
之詳于大清禮器圖式

若殿西廡 若殿の左右あり各十有八間東廡の王公の位と祀御食
西廡の功臣の位と祀御食は西廡の南に棟後あり

中殿 殿九間堂と同 内は列聖列后の神倉龍と奉安
一室は天龍文皇帝崇文皇帝文宣皇帝文憲皇帝文昭皇帝文宣皇帝文憲皇帝文昭皇帝文宣皇帝文憲皇帝文昭皇帝

後殿 殿の制中 祧廟の神倉龍を奉安
直室より神位と安し右の一室は景祖翼皇帝翼皇帝の神位と安し

神庫 殿の北にあり 神厨 神庫の西にあり 宰牲亭 廟門の東南にあり

凡饗太廟之礼時饗之日恭奉後殿列祖列后神位於殿中宝座皆南嚮奉中殿列聖列后神位於前殿
宝座太祖位南嚮列聖以昭穆序東西嚮前殿皇帝恭詣行禮後殿遣官持事帝后同案皆牛一羊一豕

一簋二簋三簋十有二豆十有一饗一饗二各帛一登一釧一尊一玉爵三金一一金箸二帛共龍牲共
俎尊實酒疏布簋勺具東廡五案皆牛一羊一豕一釧一簋一簋一簋四豆四饗一饗二各帛一爵三共尊五帛各實於龍牲俎

尊三西廡九案皆羊一豕一釧一簋一簋一簋四豆四饗一饗二各帛一爵三共尊五帛各實於龍牲俎
尊酒簋勺具大饗前一日樂部設中和韶樂於前殿第一成階上分左右懸祭日壺儀衛陳法駕鹵簿於

七月十月の朔二初二初八初九初十初十一初十二初十三初十四初十五初十六初十七初十八初十九初二十初二十一初二十二初二十三初二十四初二十五初二十六初二十七初二十八初二十九初三十

京師

皇城

卷之二

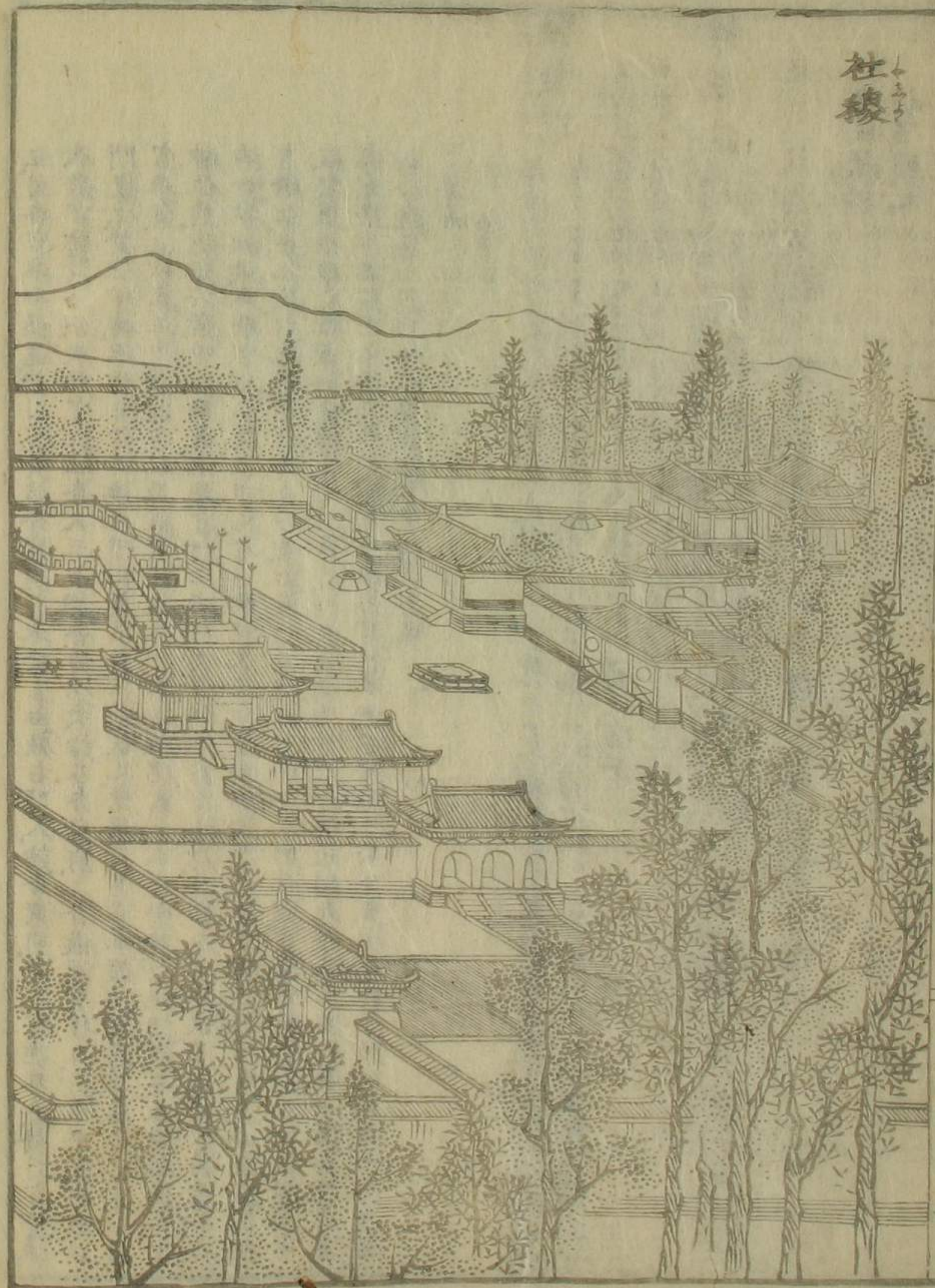
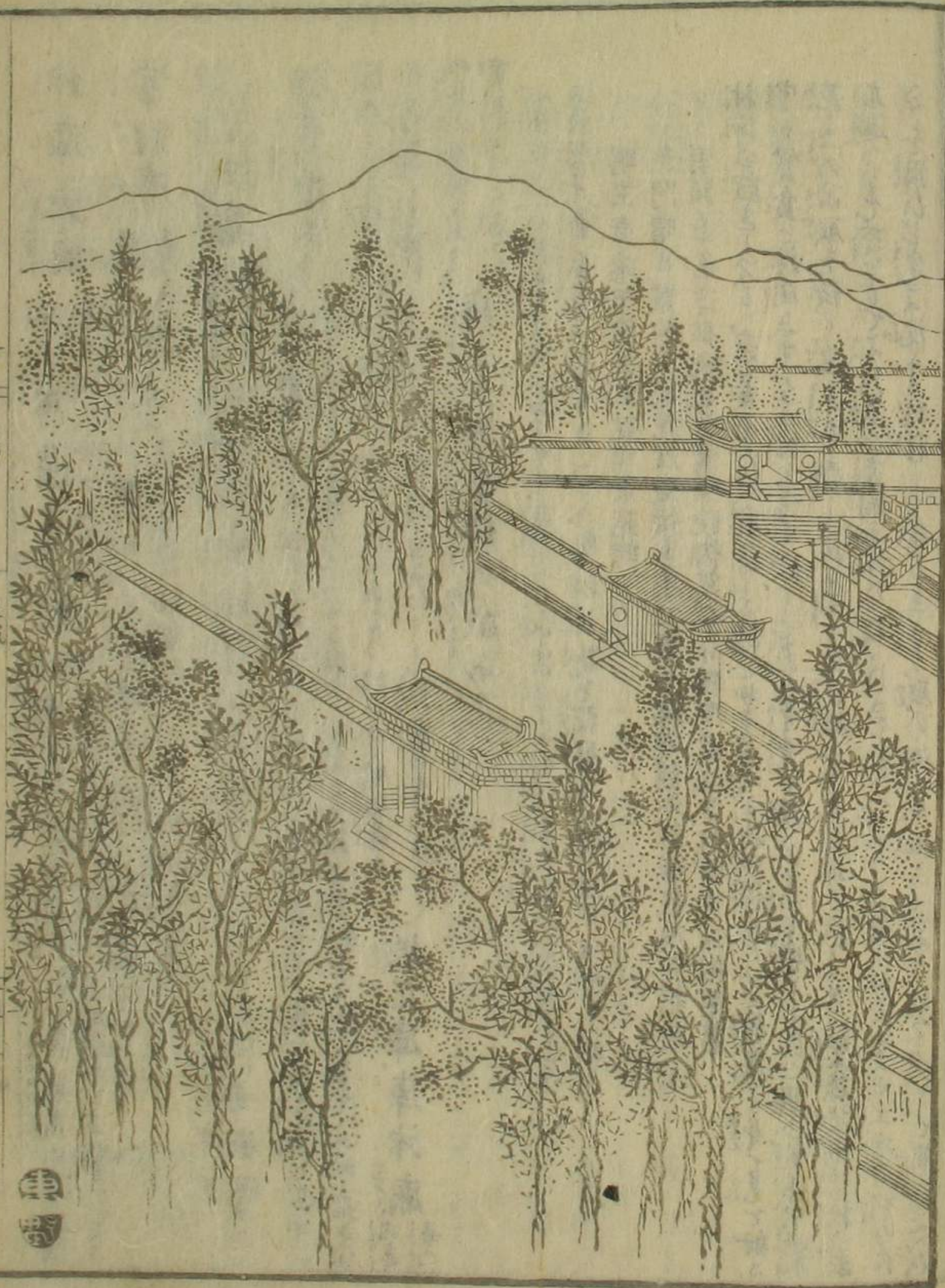
午門外金輦於太和門階下日出前四刻太常卿詣乾清門告時皇帝御祭服乘禮輿出宮內大臣侍衛前引後扈如常儀至太和門階下降輿乘輦駕發警蹕午門嚴鼓法駕函簿前導不陪祀王以下文武各官咸朝服跪送導迎鼓吹設而不作皇帝由太廟街門左門入至外垣南門外神路右降輦贊引大常卿一人恭導皇帝由太廟南門左門入至戰門帷次公一人率覺羅官詣神位安奉殿中室座王一人率宗室官詣中殿上香行禮恭詣神位安奉前殿座畢太常卿奏請行禮皇帝出帷次盥洗贊引太常卿恭導皇帝由戰門左門入陞左階入前殿左門就拜位前北嚮立太常贊禮郎引分獻官至階前夾甬通立鴻臚官引陪祀王公位殿外階上陪祀百官位階下左右序立均北面典儀官贊樂舞生登歌執事官各共通職武舞八佾進贊引官奏就位皇帝就拜位立迺迎神司香官各奉香盤進司樂官贊樂迎神樂奏貽平之章贊引官奏詣香案前恭導皇帝詣太祖高皇帝香案前司香官跪進香贊引官奏跪皇帝跪奏上香皇帝上炷香次三上辦香興以次詣列聖香案前上香儀同奏復位皇帝復位奏跪拜興皇帝行三跪九拜禮王公百官均隨行禮莫帛爵初獻禮宗室司帛官奉爵司爵官奉爵各詣列聖列后神位前奏敷平之章舞干戚之舞司帛官跪奠帛三叩司爵官立獻爵奠正中皆退兩廡分獻官上香執事生奠帛獻爵各如儀司祝至祝案前跪三叩奉祝版跪案左樂暫止皇帝跪群臣皆跪司祝讀祝畢奉祝版詣太祖神位前跪安於案三叩退樂作皇帝率群臣行三拜禮興樂止武功之舞退文舞八佾進行亞獻禮奏敷平之章舞羽籥之舞司爵官獻爵奠於左儀如初獻行終獻禮奏紹平之章司爵官獻爵奠於右儀如亞獻兩廡畢獻儀如初樂止文德之舞退太常官贊賜福胙光祿卿二人就東案奉福胙進至太祖位前拱舉降立於皇帝拜位之右侍衛二人進立於左皇帝跪左右執事官咸跪右官進福酒皇帝受爵拱舉授左官進胙受胙亦如之三拜興率群臣行三跪九拜禮徹饌奏光平之章徹饌畢太常官跪告禮成於神三叩退舉還官樂奏入平之章皇帝率群臣行三跪九拜禮有司奉祝次帛次香恭送燎所皇帝轉立拜位旁西嚮候祀帛過復位樂作祝帛燎半奏禮成恭導皇帝由戰門左門出先是於皇帝入戰門帷次時太常贊禮郎二人引後殿承祭官至殿垣門右東面立俟皇帝入戰門贊引官引後殿承祭官入右門升自右階至殿外中階拜位前北面立典儀官贊執事官各共通職贊引官贊就位引承祭官就拜位

立司香官奉香盤進贊引官贊詣香案前引承祭官由殿右門入詣香案前司香官跪奉香贊引官贊跪承祭官跪贊上香承祭官上炷香次三上辦香興以次詣各香案前上香儀同贊復位引承祭官出殿右門復位贊跪叩興承祭官行三跪九叩禮莫帛爵初獻禮司帛官奉爵詣案前跪奠帛三叩司爵官奉爵立獻爵奠正中皆退司祝至祝案前跪三叩奉祝版跪案左承祭官跪司祝讀祝畢奉祝版詣正中神位前跪安於案叩如初退承祭官行三叩禮次亞獻司爵官獻爵奠於左次終獻司爵官獻爵奠於右均如初獻儀承祭官行三跪九叩禮有司奉祝次帛次香恭送燎所承祭官轉立西旁東面候過復位祝帛燎半告禮成引承祭官仍降自西階由戰門右門出王公二人率宗室覺羅官恭詣前殿神位還御中殿寢室後殿神位還御後殿寢室上香行禮如前儀皇帝至外垣南門外神路右陞禮輿去駕由薄前導導迎樂作奏祐平之章皇帝回盥王公從各官以次退不陪祀王公百官朝服於午門外跪迎午門尚鐘王公隨駕入至內金水橋恭候皇帝還宮各退

○歲暮大禱日之禮以繁略之

社稷壇 闕右門之西也北之向也壇之制方一丈二尺高三尺三寸四分之三又陛階出於壇北仍階向石於壇上廣八尺高六尺方位也稱之為土壇也壇之北有土壇方七尺二寸四分也土壇之北有土壇方七尺二寸四分也土壇之北有土壇方七尺二寸四分也

祭社稷禮以繁略之



神庫 神厨

俱内儀の西南あり。

壇垣

階二百八十尺内外あり。丹廡處より北に三門あり。西南の三方に各一門あり。

宰牲亭

西門の外あり。

正門

壇の北門外東山の隅あり。正門一左右門あり。東南に社稷街門東北に即社元門あり。

皇史宬

内南儀の南あり。

列聖の實錄暨玉牒を蔵する所。乾隆帝御製の詩並碑あり。

詩並碑あり

明の嘉靖十七年秋七月命して皇史宬を重修。殿の西に建金匱石室と其中に皇朝の史を依て又

皇史宬

皇史宬

皇史宬

皇史宬

皇史宬

皇史宬

皇史宬

皇史宬

皇史宬

皇史宬

皇史宬

皇史宬

皇史宬

皇史宬

皇史宬

皇史宬

皇史宬

飛龍橋

内南儀あり。玉河を跨る。明の危虹橋の遺址あり。皇史宬の西觀心殿射義所とて

飛龍橋

飛龍橋

飛龍橋

飛龍橋

飛龍橋

飛龍橋

飛龍橋

飛龍橋

飛龍橋

飛龍橋

飛龍橋

飛龍橋

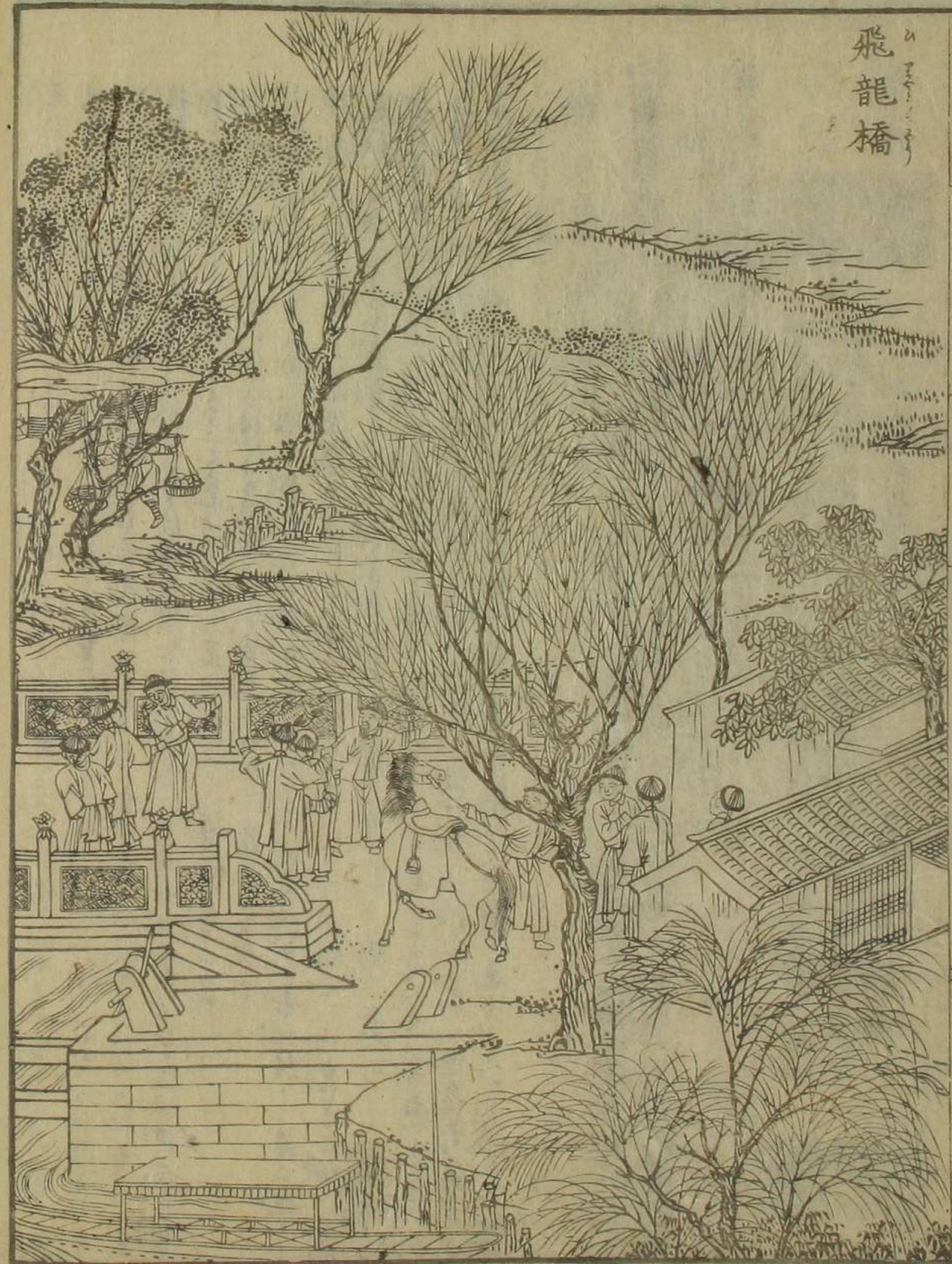
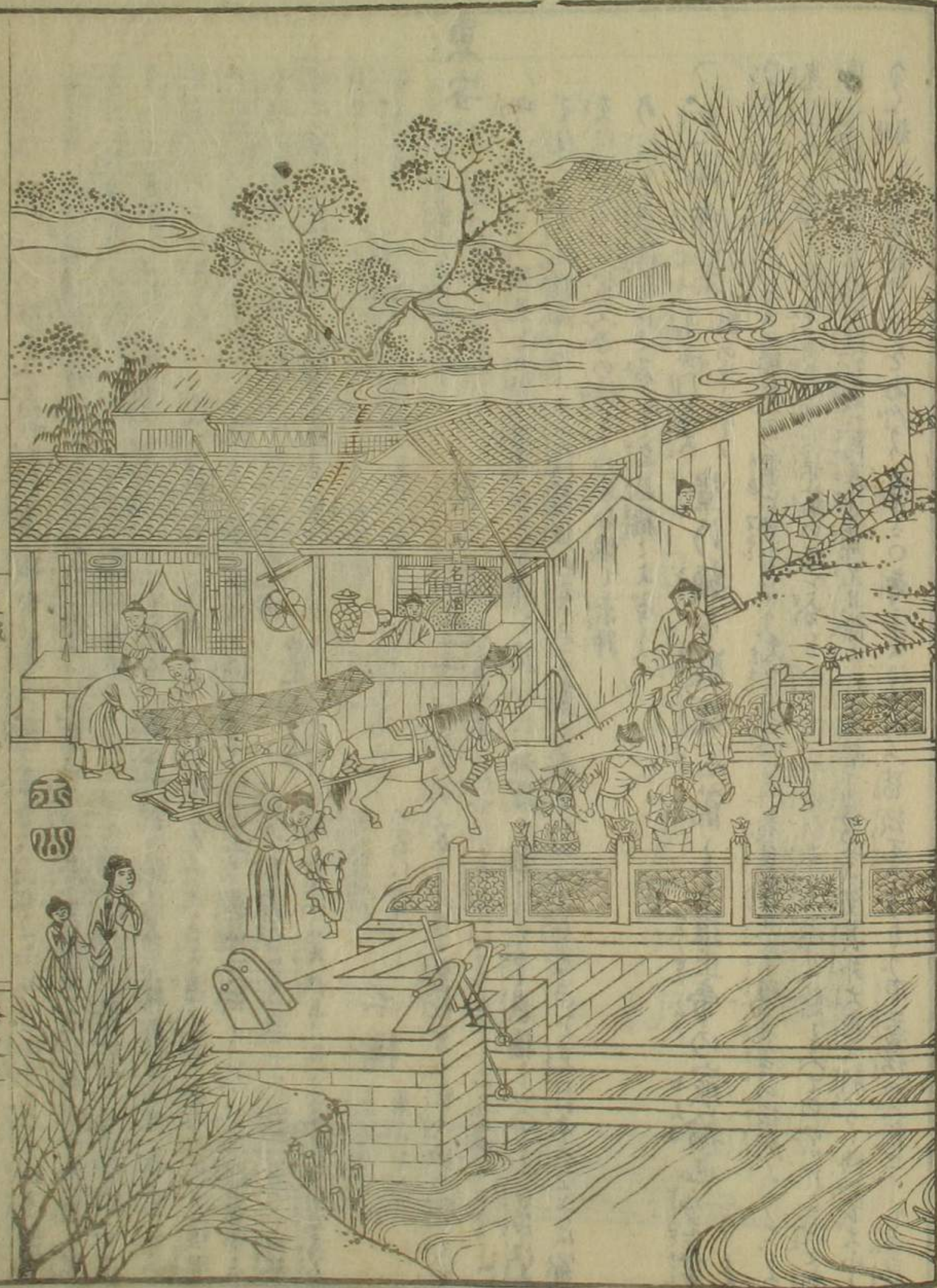
飛龍橋

飛龍橋

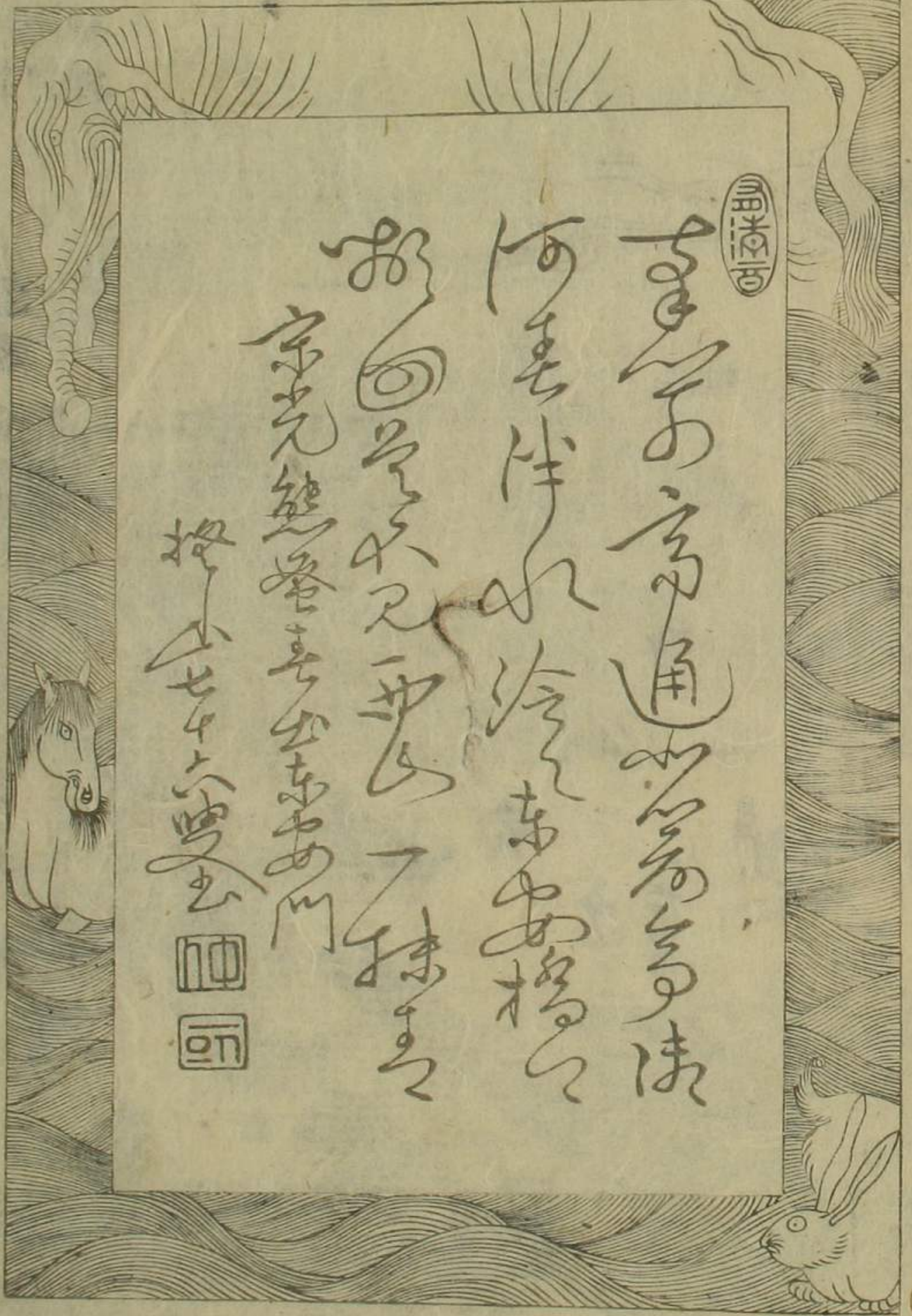
飛龍橋



鯨海遙涵一水長清波深處石為梁平鋪碧甃連馳道倒浮銀河入苑墻
晴綠乍添垂柳色春流時泛落花香微茫迥隔蓬萊島不放飛塵入建章
明朱維京度飛虹橋詩
荒井公廡書



飛龍橋の北三の坊あり。飛龍橋の額あり。其額が書なり。此北は山なり。山下の洞を額を
 秀岩と云ふ。礎道と云ふ。此の洞は上は乾運殿あり。左右は慶雲亭。御所なり。二あり。小石と云ふ。果
 とら。後藤花子の。○普度寺。慶雲亭の北あり。明の南院。普度寺の遺址なり。康熙年間
 へけの三壁のてく。○普度寺。慶雲亭の北あり。明の南院。普度寺の遺址なり。康熙年間
 子。普度寺の額を賜ふ。○圓通庵。普度寺の南あり。圓通庵の遺址なり。内は遺甲
 引。若くは。○普度寺。普度寺の南あり。圓通庵の遺址なり。内は遺甲
 即。瑪哈唱喇。親王邸。入。○普度寺。普度寺の南あり。圓通庵の遺址なり。内は遺甲
 像を。其後。○普度寺。普度寺の南あり。圓通庵の遺址なり。内は遺甲
 蓋。○普度寺。普度寺の南あり。圓通庵の遺址なり。内は遺甲
 牽。○普度寺。普度寺の南あり。圓通庵の遺址なり。内は遺甲
 東安門。○普度寺。普度寺の南あり。圓通庵の遺址なり。内は遺甲
 此。○普度寺。普度寺の南あり。圓通庵の遺址なり。内は遺甲
 是。○普度寺。普度寺の南あり。圓通庵の遺址なり。内は遺甲
 り。○普度寺。普度寺の南あり。圓通庵の遺址なり。内は遺甲
 ○光祿寺署。○普度寺。普度寺の南あり。圓通庵の遺址なり。内は遺甲
 肉。○普度寺。普度寺の南あり。圓通庵の遺址なり。内は遺甲
 都。○普度寺。普度寺の南あり。圓通庵の遺址なり。内は遺甲

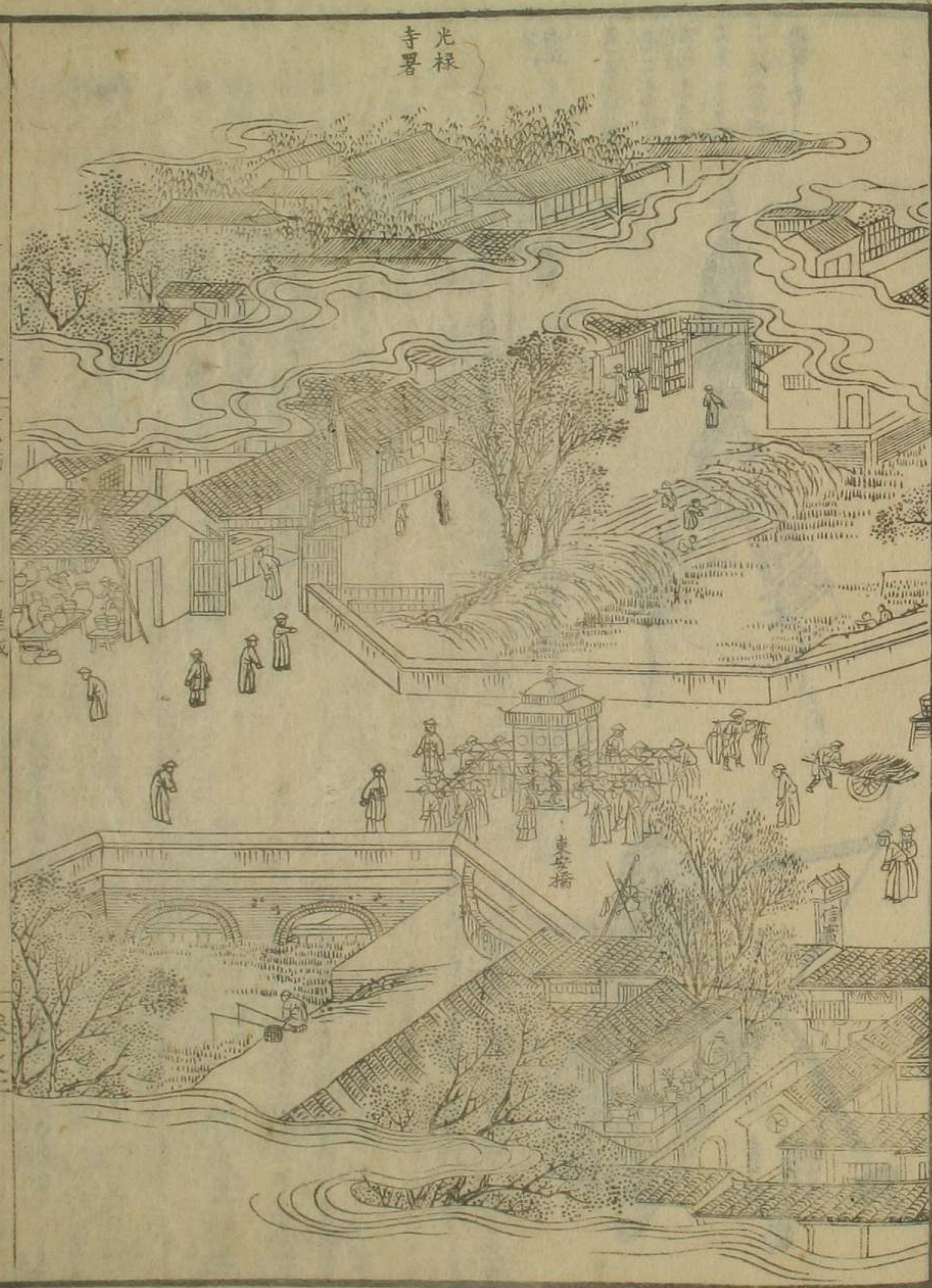


皇土名勝圖會
 京師
 皇城
 卷之二

皇土名勝圖會
 京師
 皇城
 卷之二

皇土名勝圖會
 京師
 皇城
 卷之二

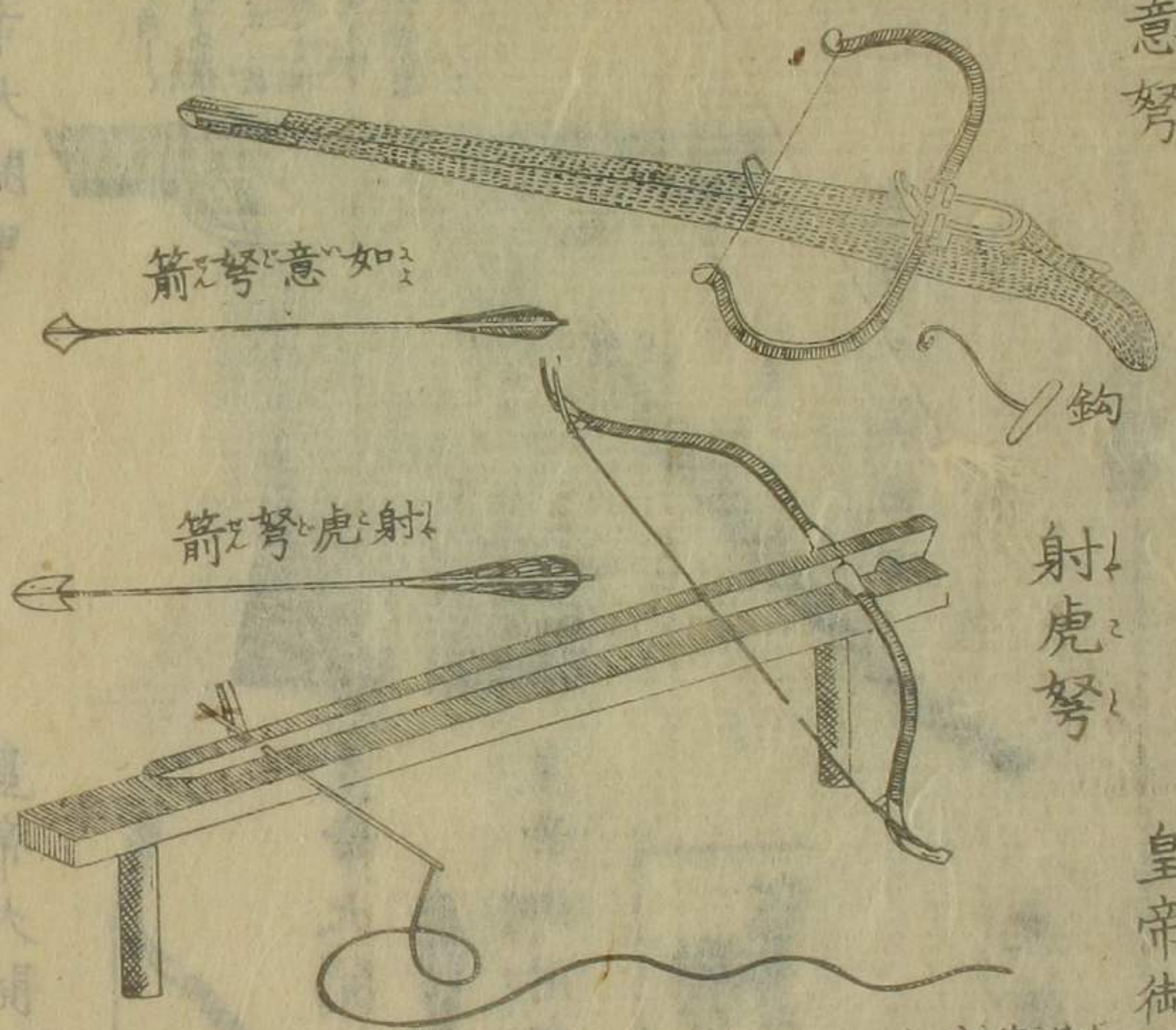
皇土名勝圖會
 京師
 皇城
 卷之二



東安門
東安橋



如意弩

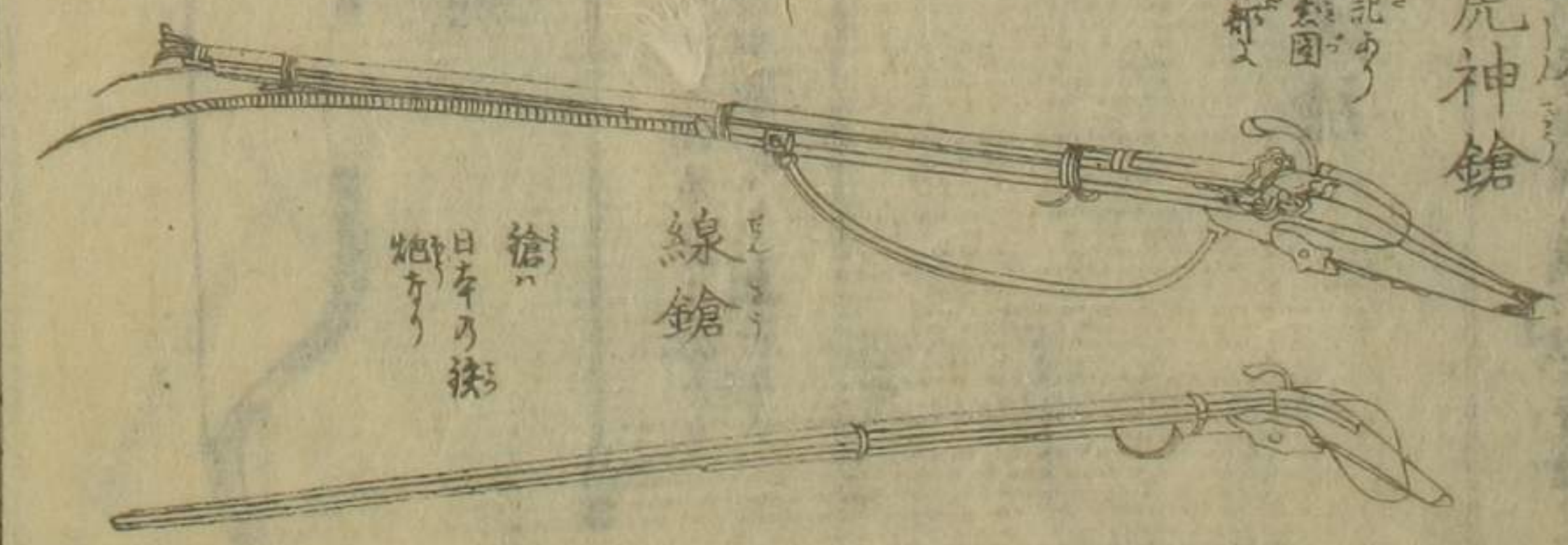


射虎弩

箭弩意如

箭弩虎射

皇帝御用虎神鎗

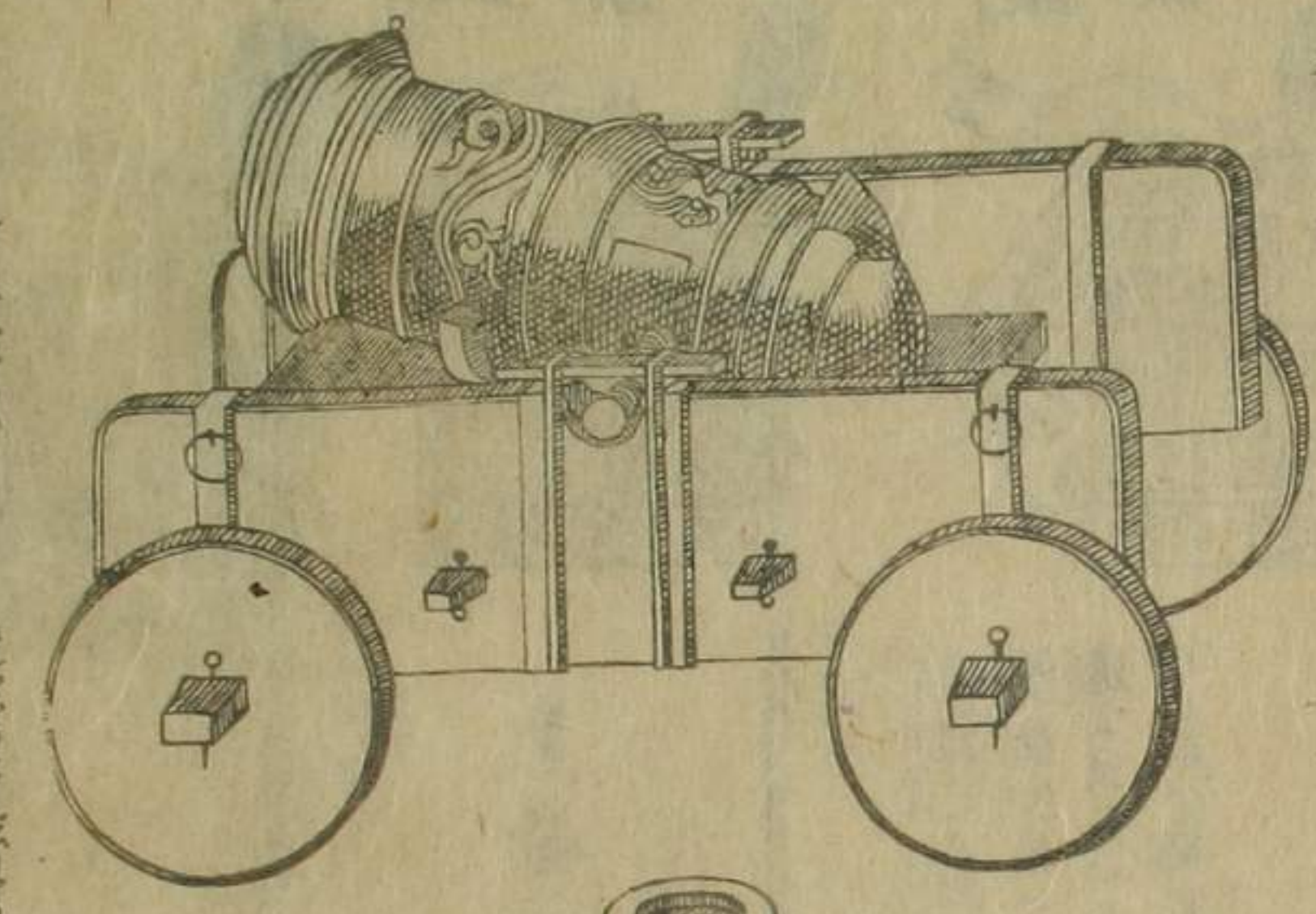


御製の記あり
審み松本園
式森崎都文
あり

線鎗

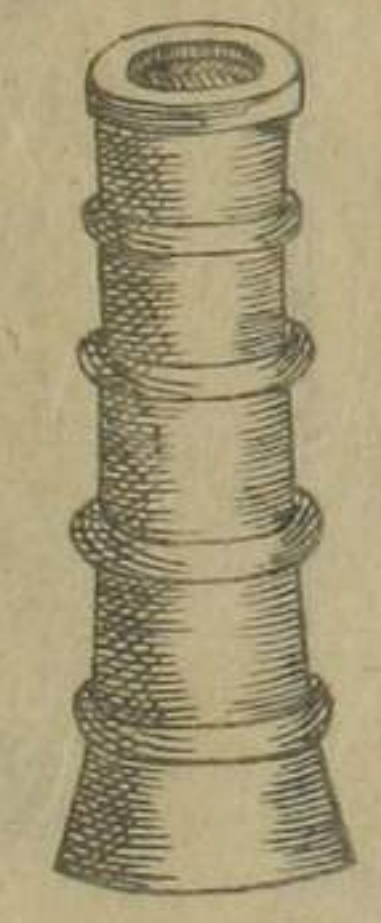
信
日本
の
銃

康熙御製威遠將軍礮

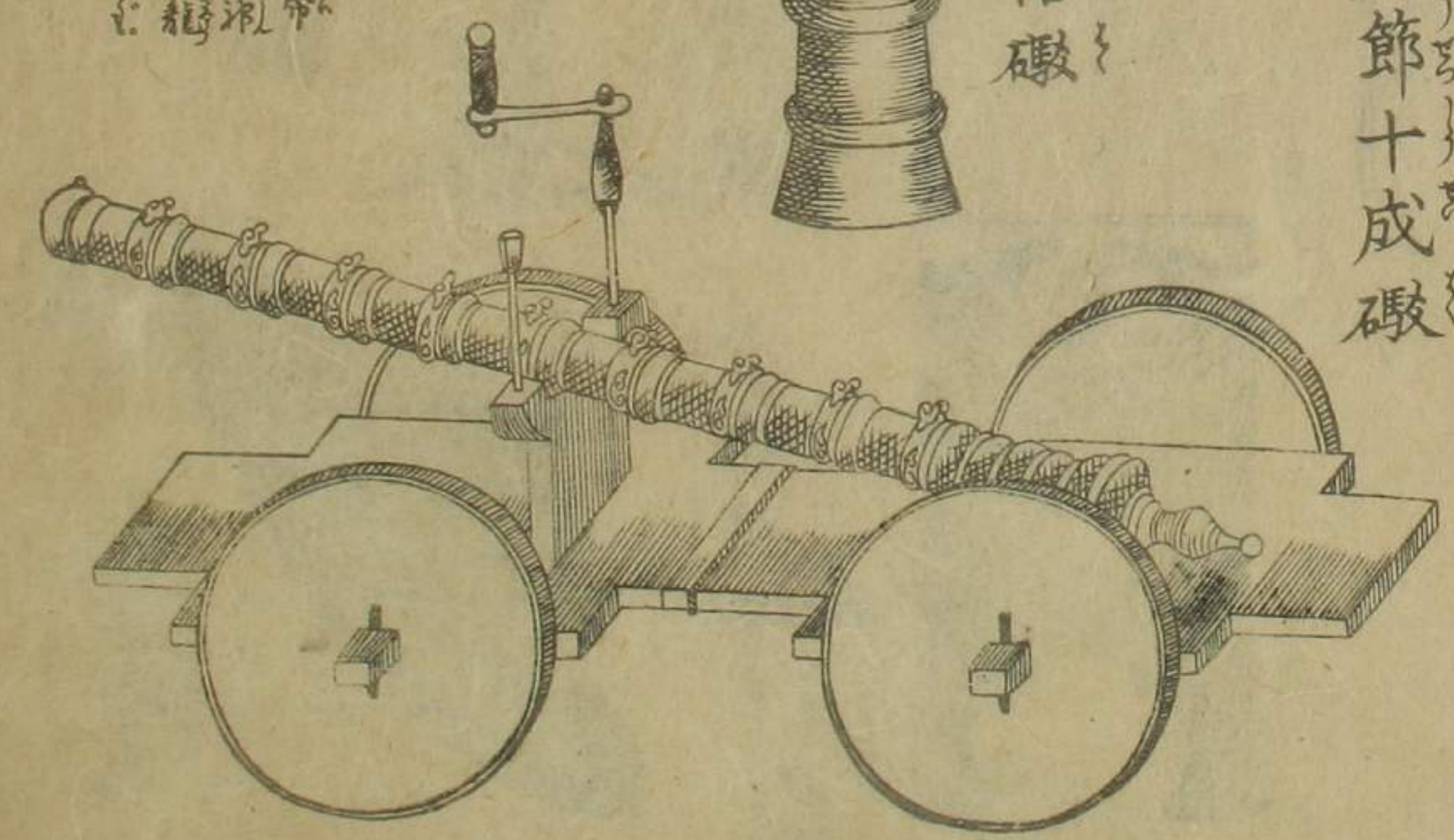


康熙御製之礮其形甚大
全龍形制其礮身
乃所製方寸其奈米威
威遠將軍礮功軍礮
威遠將軍礮功軍礮
威遠將軍礮功軍礮

行營信礮



九節十成礮



皇帝行營内城旗



皇帝行營外旌門纛



外旌門纛入りあり赤い纛而
西に纛紅南に正纛の二纛と
處ふ月いかに正紅纛は解と
てこれを制は

藤牌



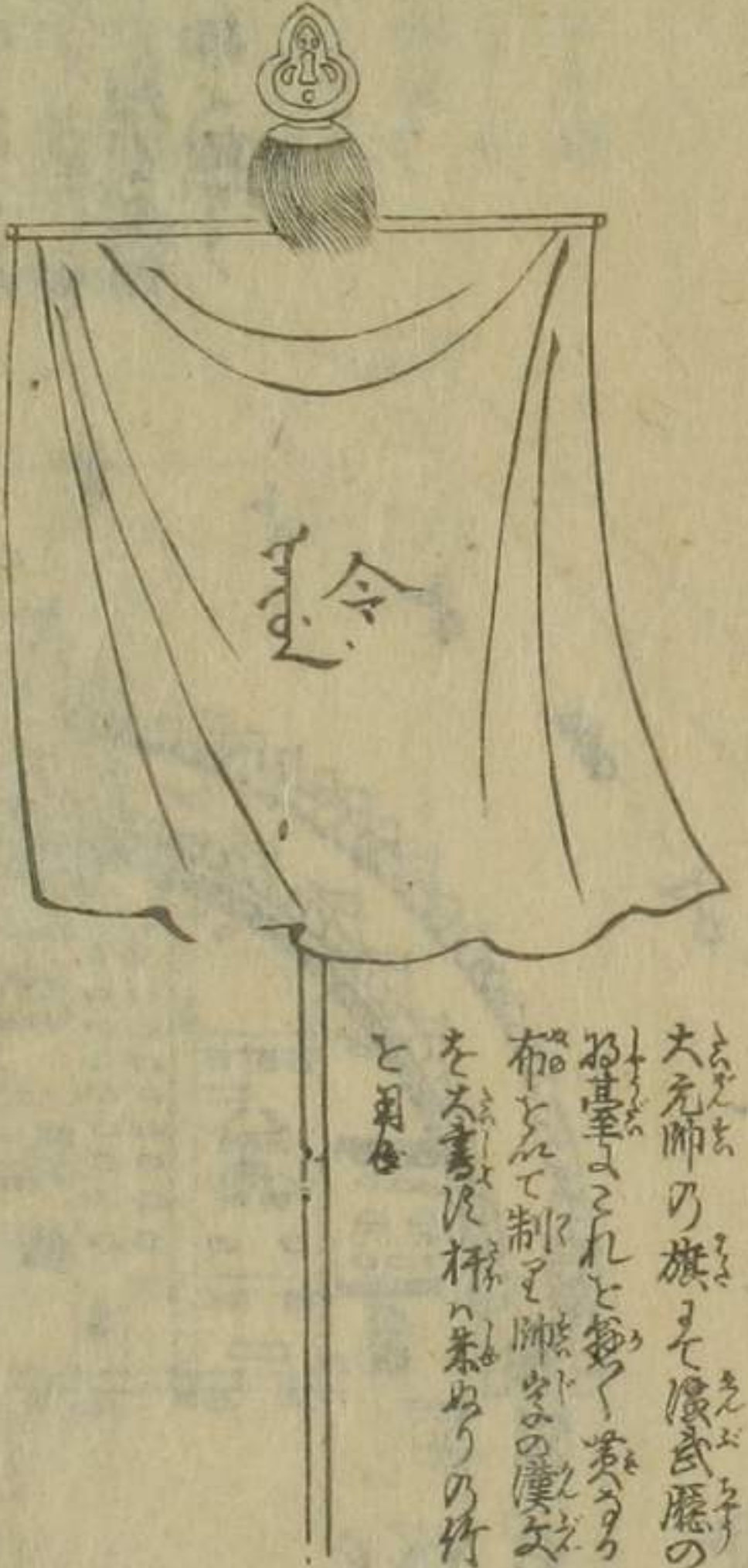
藤牌の形を編
くこれを制は

虎頭牌



虎頭牌の形を編
くこれを制は

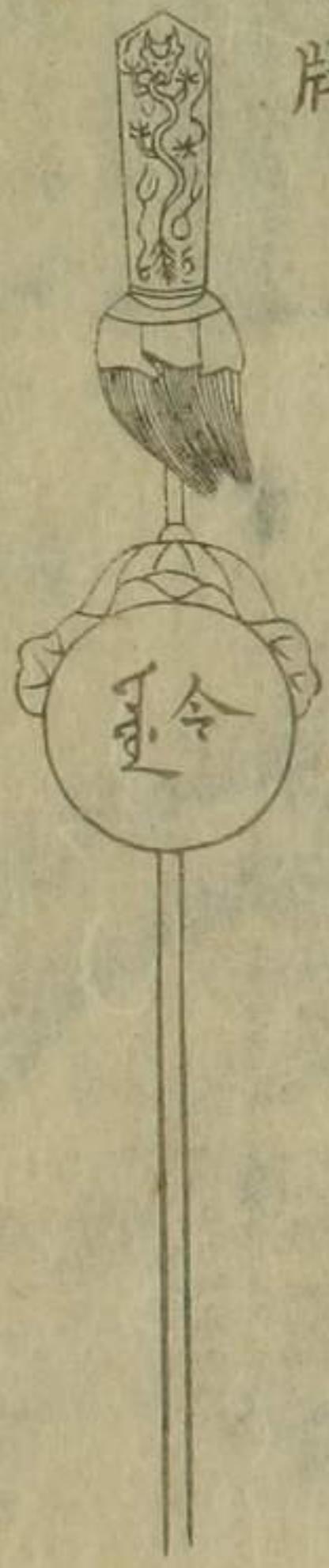
王命旗



緑營大帥旗

大元帥の旗を緑營大帥の
旗とすこれと稱す其の
布を以て制す其の旗文
を大書は標は赤なり其の
と用は

王命牌

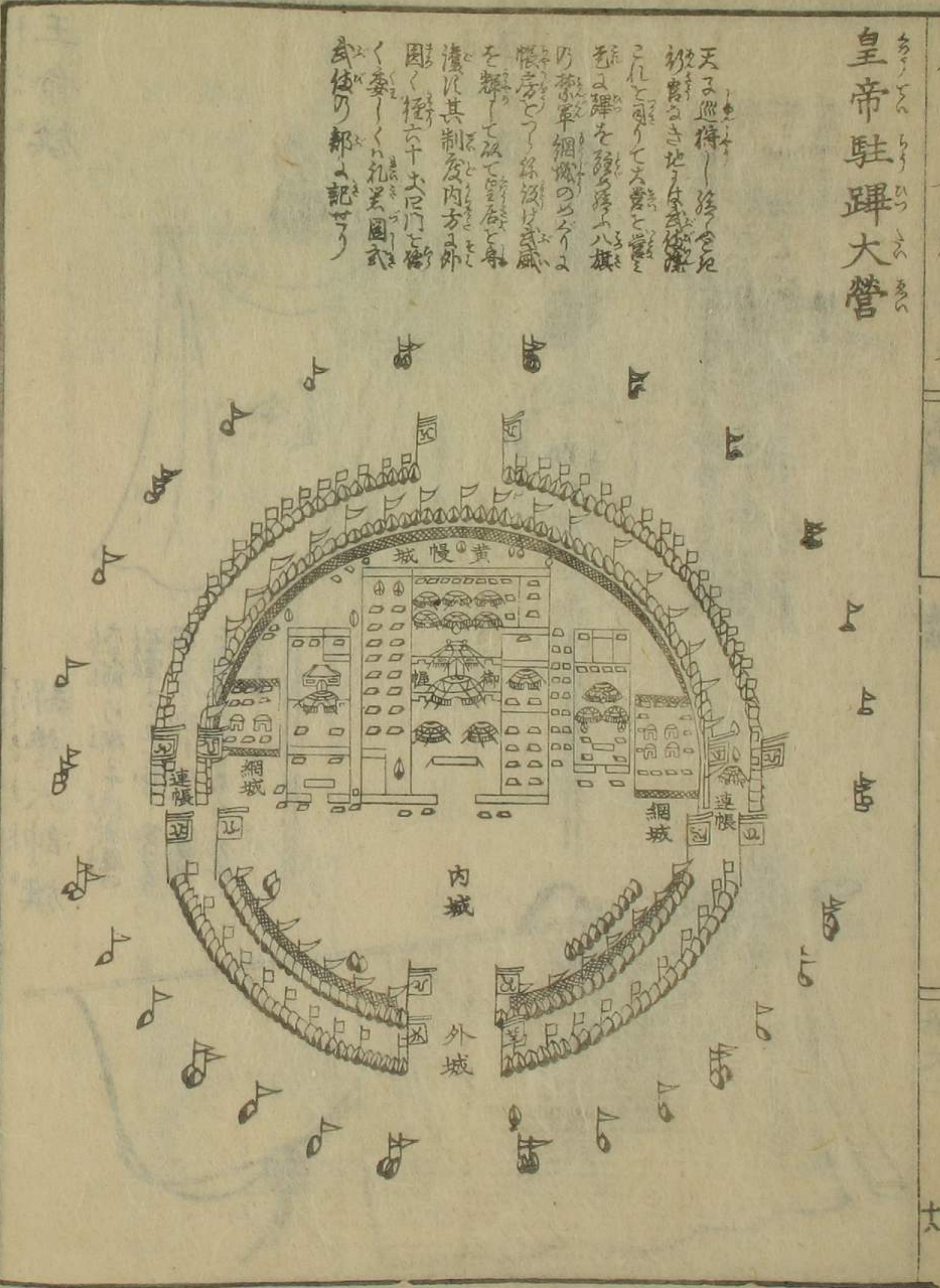


王命旗牌とも總督兵巡撫提督等の乃其真
領ら得て兵丁と稱す其の旗の旗文を
制す其の旗文を以て其の國に於て其の
國文を以て其の



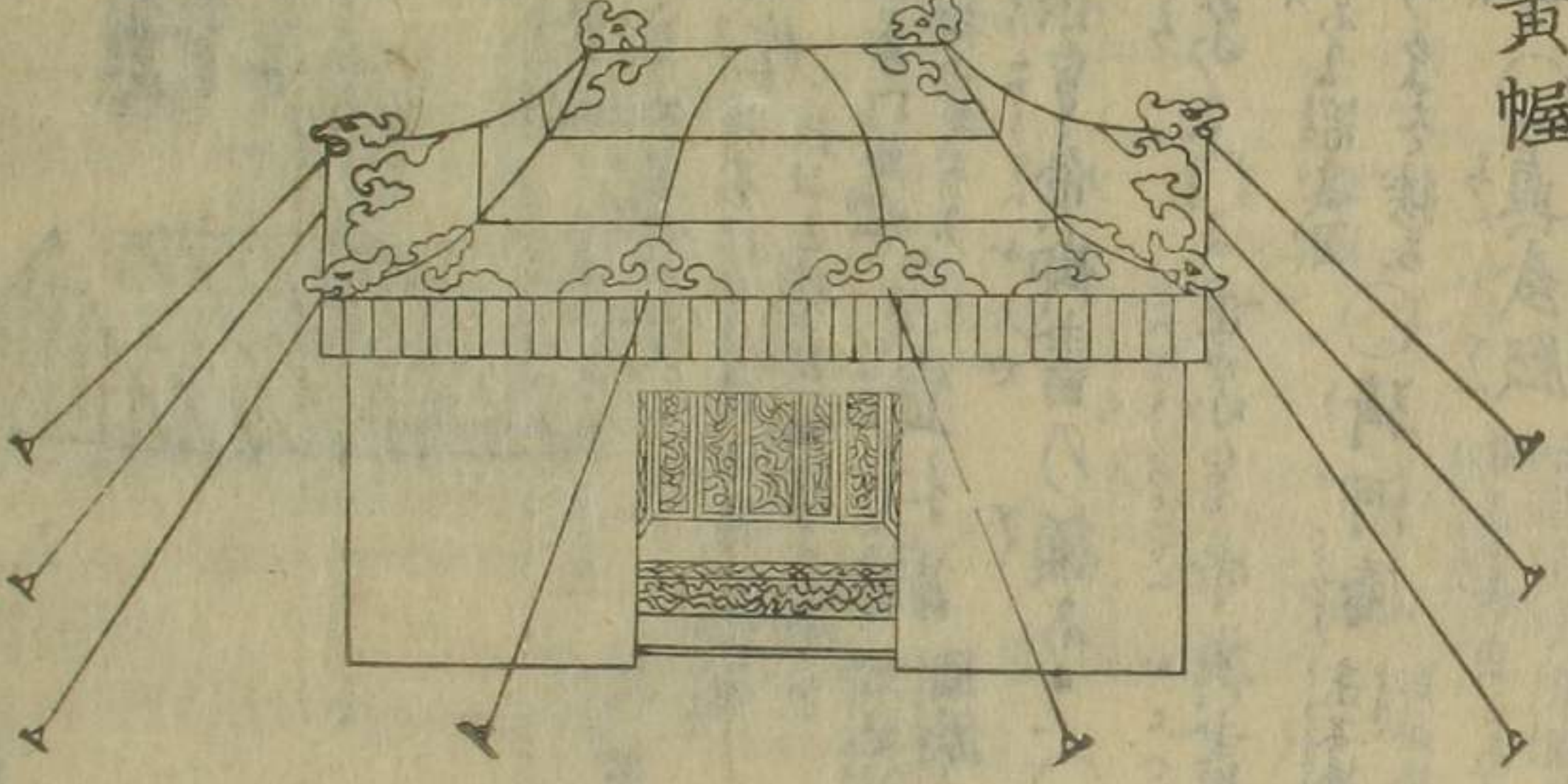
皇帝駐蹕大營

天子巡狩一終を死
初遊さき地は武居
これと仰りて大營と
名は蹕を蹕と云ふ八
乃率軍細城のちり
帳房てつは深き武
を懸てはて野合と
漢に其制度内方外
固く樹六十丈の門
く委しくこれ武居
武居の都記す



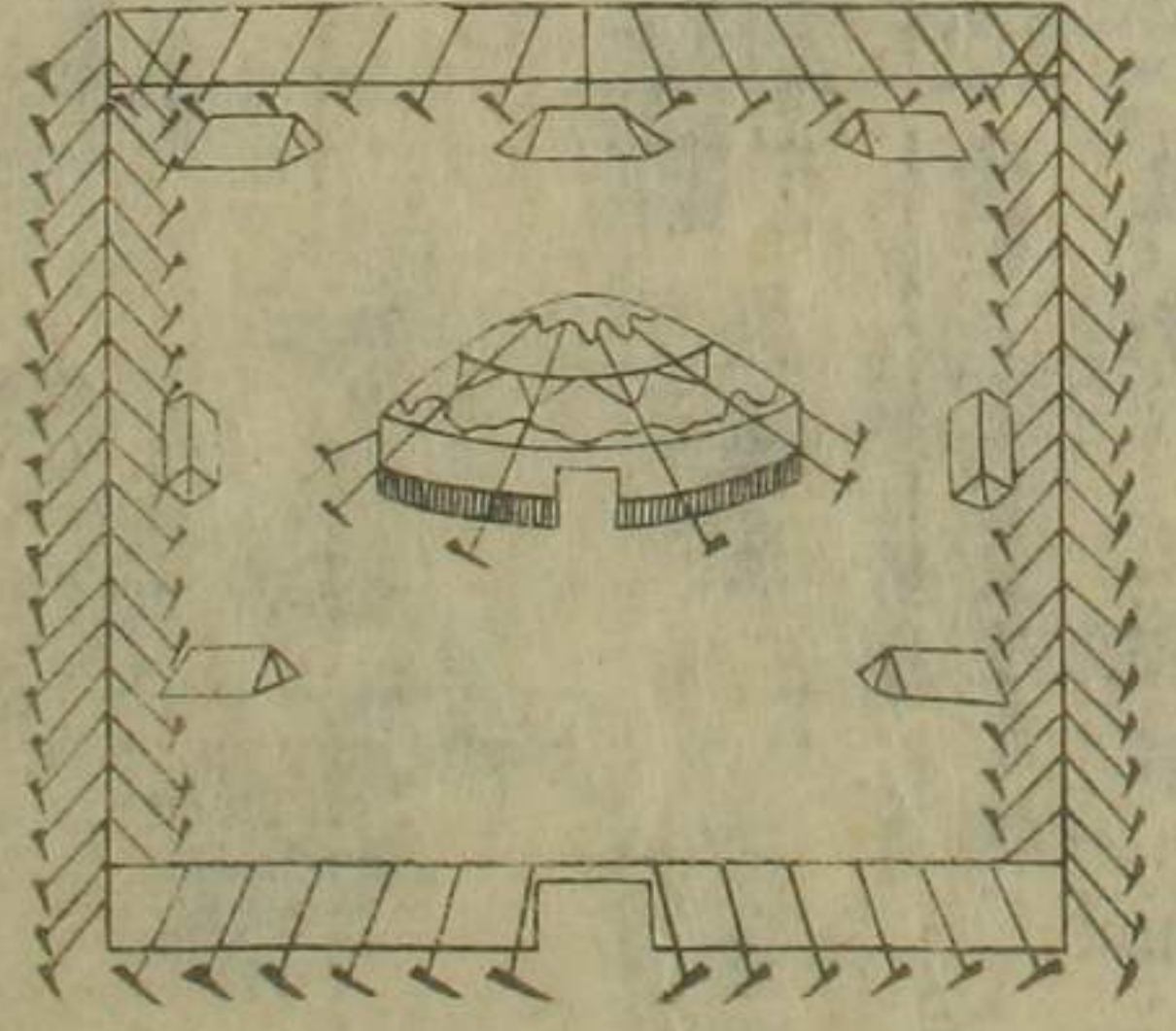
皇帝大閱黃幄

大閱は天子の御
座と黄幄の中は
くみ凱旋賜宴
黄幄と云ふ其細
美布を名て幄
一丈九尺二寸横二丈
又三丈二尺五寸
座のまゝ二尺五寸
八尺横七尺五寸
黄幄の扉と云ふ
紅纒帳又細
の帳幕の器具
を説く



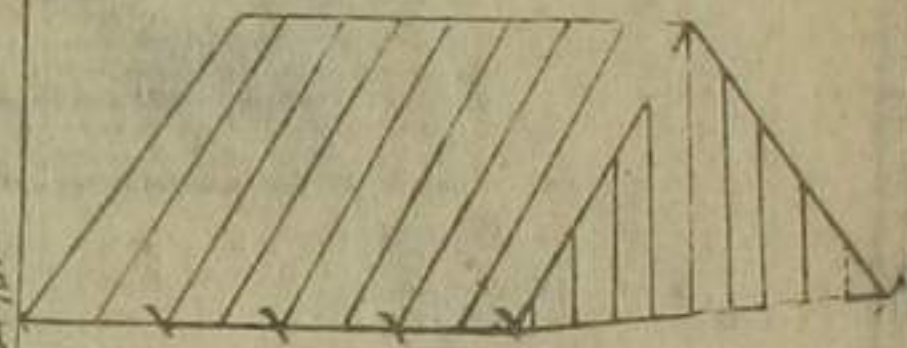
皇帝停蹕頓營

天子巡狩一終入府の休
後横客二大帳帳網帳と云
中は御座と云ふ其
乃掌るを云ふ



職官帳房

武職の官人六宮の
管のしつうは帳房と
役けて玉座とて覆
を蓋布とせしむ
制也



兵丁帳房

兵卒の宿る所なり
竹布をきてまき
他也



蓋官兼蓋と執て柳しきまの御座の
外甲庫 東華門外北
外南鞍庫 日石

日所 熟皮作 日石にあり、騎河樓と加封
○ 恩豊倉 東華門外北圓房あり、
内監人等食石の本と捨入

斯文館 東華門外北
○ 宣仁廟 北池街暖
園殿あり、
○ 凝和廟 北池街騎河
樓の南あり、
○ 關帝廟 騎河樓街厨思加

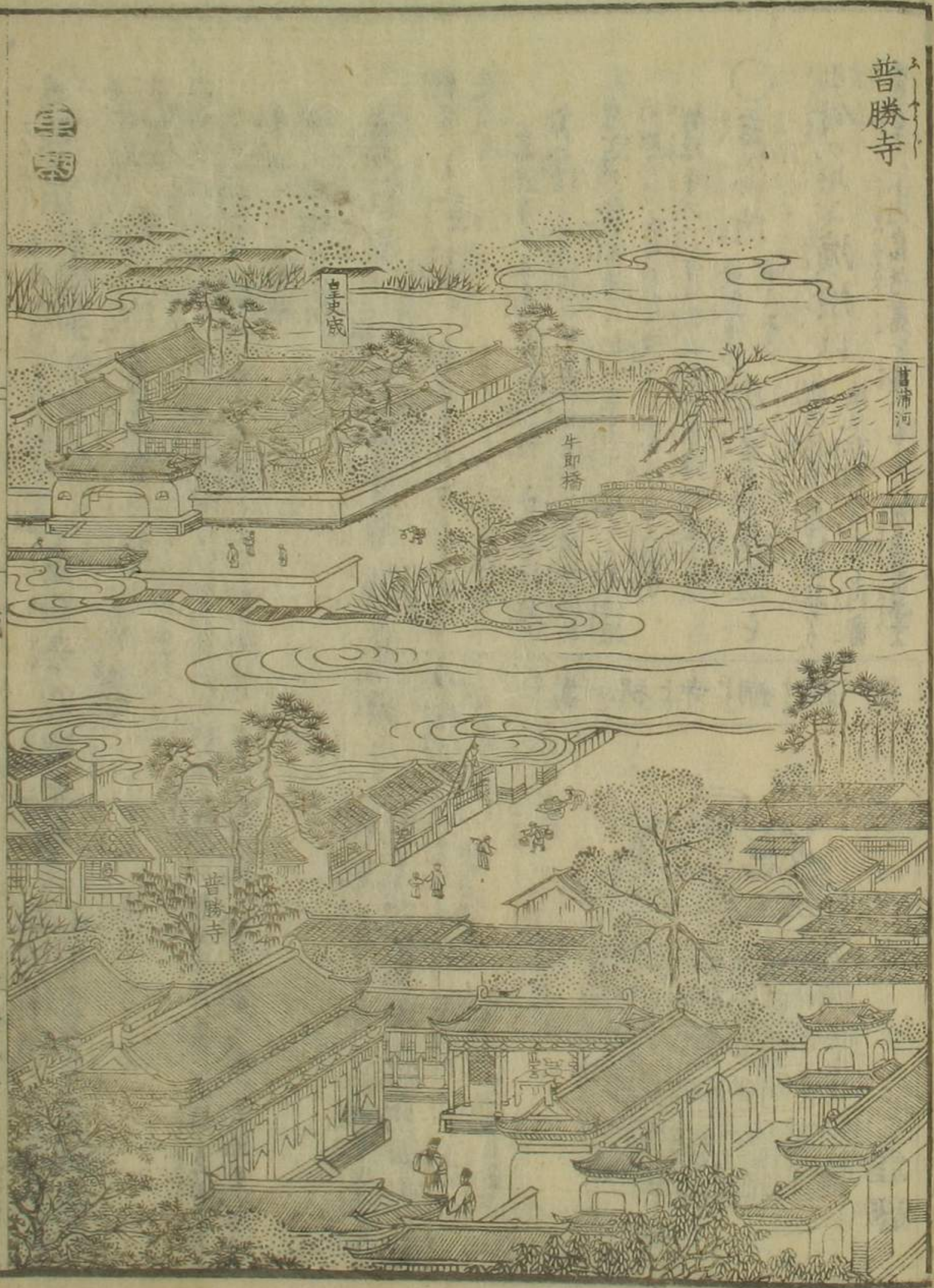
て雲津とあり、門は世宗皇帝御書の額あり、
○ 騎河橋 東華橋の中心あり、燕史云、車あり、橋と云、
○ 北着亭 ○ 真武殿 御馬園の南あり、地と銀閣と名く、即明の
御馬監表車欄が舊地なり、天啓三年の碑也、
○ 御馬園 銀閣あり、

○ 御馬園の南あり、地と銀閣と名く、即明の
御馬監表車欄が舊地なり、天啓三年の碑也、

○ 御馬園 銀閣あり、

○ 御馬園 銀閣あり、

普勝寺



馬津廟 馬津廟街より明の御馬 康熙帝の御書あり 廟内大佛一尊あり 上の正徳十一年の刻あり 小佛一尊あり

○一等忠勇公第 馬津廟街のありあり

○明の代馬津廟の北に北花房あり 北花房の小河に小龍あり 其長二尺許あり 其首を以て奉る 附に天徳寺あり

○高祝寺 王眼女の 乾隆帝御書の額あり 額に 高祝寺のありあり 附に 高祝寺のありあり

○法淵寺 高祝寺のありあり 附に 高祝寺のありあり

○智珠寺 高祝寺のありあり 附に 高祝寺のありあり

○吉安所 德教寺のありあり 附に 德教寺のありあり

高祝寺銅鐘圖



○五聖祠 酒殿局の南にありあり 附に 酒殿局のありあり

○隆教寺 後醍醐天皇のありあり 附に 後醍醐天皇のありあり

○華嚴寺 内藏院のありあり 附に 内藏院のありあり

○本葬尊賜宅 景山の北にありあり 附に 景山のありあり

○監造花炮處 地安門南の西にありあり 附に 地安門のありあり

黄封内膳傳供給
白蠟名香拈束修辛
苦何須識了字生兒
弥月即封侯
右
查副琛雜咏詩
華亭武温其寓

○監造花炮處 地安門南の西にありあり 附に 地安門のありあり

朱竹地賜宅

講直華光殿
居移履道坊
經營倚將作
宛轉繞宮墻
對酒非無月
攤書亦有牀
承恩還自晒
報國祗文章

朱彝尊作

公廉書



朱竹地

五經紛綸抽腹笥布

韞麻屨見天子歸來

著書以沒齒千秋之

名在青史

錢唐龔翔麟拜題

界浦里榮書



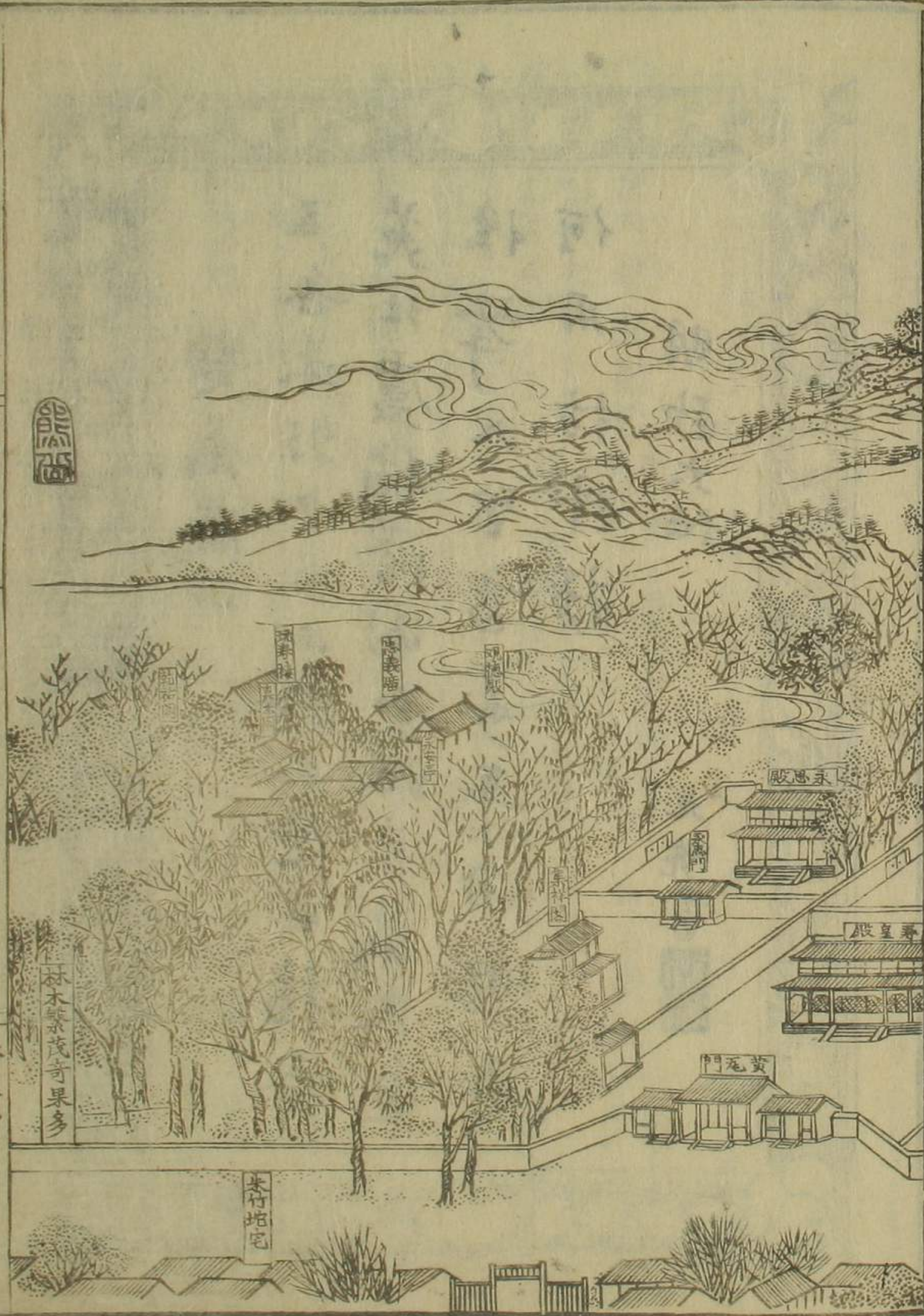
竹地先生之像

景山 北よりあり 大内の後山一と萬歳山とあり

景山 北よりあり 大内の後山一と萬歳山とあり 園垣二里ありと百餘丈五の峯ありと云ふ 亭ありて佛像と供らん山旁翼らるる 康熙皇帝の 御製あり

北門を供らん 乾清帝御製あり 殿の東に集賢園あり 西北に真武殿あり 護國寺あり

義廟 觀徳殿の東にあり 園帝之馬の像あり 北上門 景山の正門也 武門と稱す

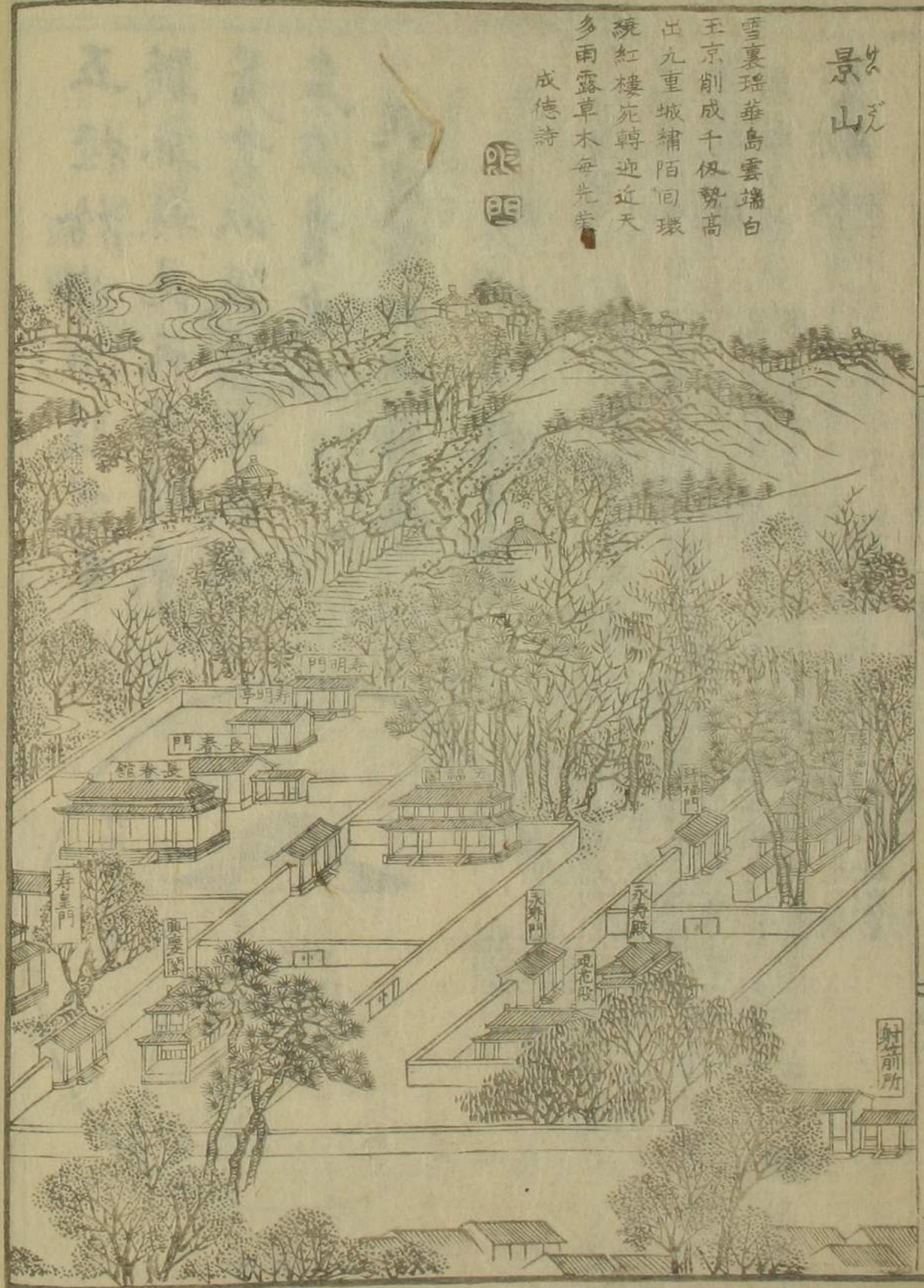


景山

雪裏瑤華島雲端白
 玉京削成千仞勢高
 出九重城補陌回環
 繞紅樓苑轉近天
 多雨露草木每先榮

成德詩

景山

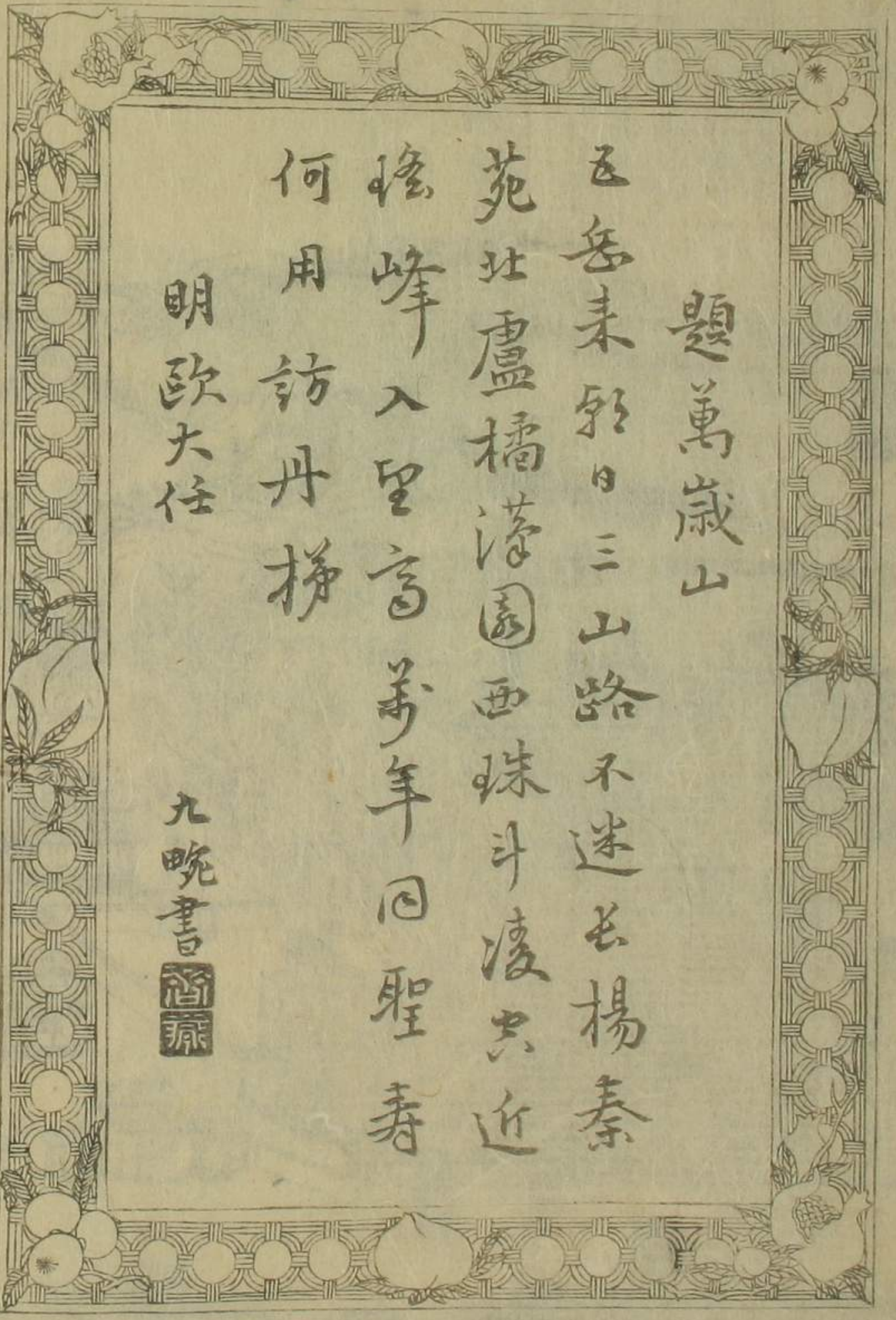


題萬歲山

五岳未彰日三山路不迷長楊秦苑北盧橘海園西珠斗凌杳近
嵒峰入望高華年回聖壽
何用訪丹梯

明政大任

九晚書



○厚載門の南紫禁城を過て煤山ありこれと本萬歲山より其高較千仞衆本其北と號す
其下皆石炭と聚て閉城不虞の剛也ゆへに
○萬歲山の元は寛慶地あり村者の不くは親德殿の東南に近きと云ふなり
内は牡丹芍薬多し其が大石壁あり其の基を奇なり
○麟儀堂の明代萬歲山の西に樹あり其樹餘は減聖板と號す僅に其三分と露露久其高古物あり

稽察内務府衙門

景山西門の路北より都察院
御史二人其のを稽察

白石橋

中門の魏の朝日あり
明の嘉靖に十年萬法家

護城河

紫禁城と繞る川あり北南より
内宮監向石橋

大高玄殿

紫禁城の東北上西門の外と建て此東極
西にあり

帝御書の扁額あり

明の嘉靖中より建清の雍正乾隆
兩次重修と云ふなり

慎刑司署

西華門の外長街路西あり内府の刑罰を掌る
○九内府に屬する若輩と犯す其刑

慶豊司署

日不のり牛羊の厩と號す○九内三園と西華門の外に設く外三園と號す
○九内三園と西華門の外に設く外三園と號す

朱穆泰の羊二十と羊八千張を以て外牛羊群と没く牛三万羊二十万と羊八千張を以て外牛羊群と没く羊百有十と没け群毎羊又百と以て率を以て養育すは牛群五と没け群毎羊八千張と牛八千張と牛九千張と羊を以て奉先殿及び皇極殿並に崇徳殿の儀禮なるの祀は儀羊と供し皇極殿の儀禮は儀牛と供し崇徳殿の儀禮は儀羊と供し

○會計司署

西華門外北長街路北あり内府の戸地畝積收の事を掌る○九京畿盛京暨

○營造司署

日不見の工他の事、軍、勅、祭と掌る○九車駕出入の附、園、街、道、橋、門、宮、殿、廟、壇、壇、壁、垣、を修造し、公廨、館、廩、器、物、等、を造作し、春の季、は、神、中、内、溝、渠、を疏

○武英殿活字板處

日不見の武英殿を掌る○九、製、板、及、を、不、不、と、扱、り、出、ん

○管轄番役署

日不見あり九、番、と、死、人、監、び、逃、走、せ、る、大、監、を、掌、り、捕、獲、し、今、の、儀、也

○萬壽興隆寺

西華門北長街路西あり明の兵仗局也 康熙三十九年勅して建康熙帝宸翰の額あり

○韓熙奇

日不見あり明代 康熙五十二年重建以康熙帝の

○御書額あり

○後祐寺 西華門外北長街路北あり 雍正元年建康熙皇帝大成功徳

○佛とと牌と奉安

佛殿の内、た、た、奉、安、せ、り、乾、隆、帝、御、製、の、文、集、と、佛、の、聖、は、坐、坐、と、後、

○頭廟

日不見あり雍正十年勅 雍正帝御書額あり 凡、水、雲、津、の、廟、を、掌、り、外、を、雷、澤、廟、と、

○三倉

西華門外北長街路北あり九内廷成時津とあり及び奉先殿の倉あり

○堂内管領關防署

西華門外路南あり 都虞司署 西華門外北長街路北あり

○夜署

西華門外南長街路北あり

○掌儀司署

西華門外南長街路北あり内府の典

○真武廟

西華門外南長街路北あり

○南花園

西華門外南長街路北あり

○管轄三旗納根

西華門外南長街路北あり

○儀仗倉

西華門外北

○御書額あり

雍正元年建康熙皇帝大成功徳

○佛とと牌と奉安

佛殿の内、た、た、奉、安、せ、り、乾、隆、帝、御、製、の、文、集、と、佛、の、聖、は、坐、坐、と、後、

○頭廟

日不見あり雍正十年勅 雍正帝御書額あり 凡、水、雲、津、の、廟、を、掌、り、外、を、雷、澤、廟、と、

○三倉

西華門外北長街路北あり九内廷成時津とあり及び奉先殿の倉あり

○堂内管領關防署

西華門外路南あり 都虞司署 西華門外北長街路北あり

○夜署

西華門外南長街路北あり

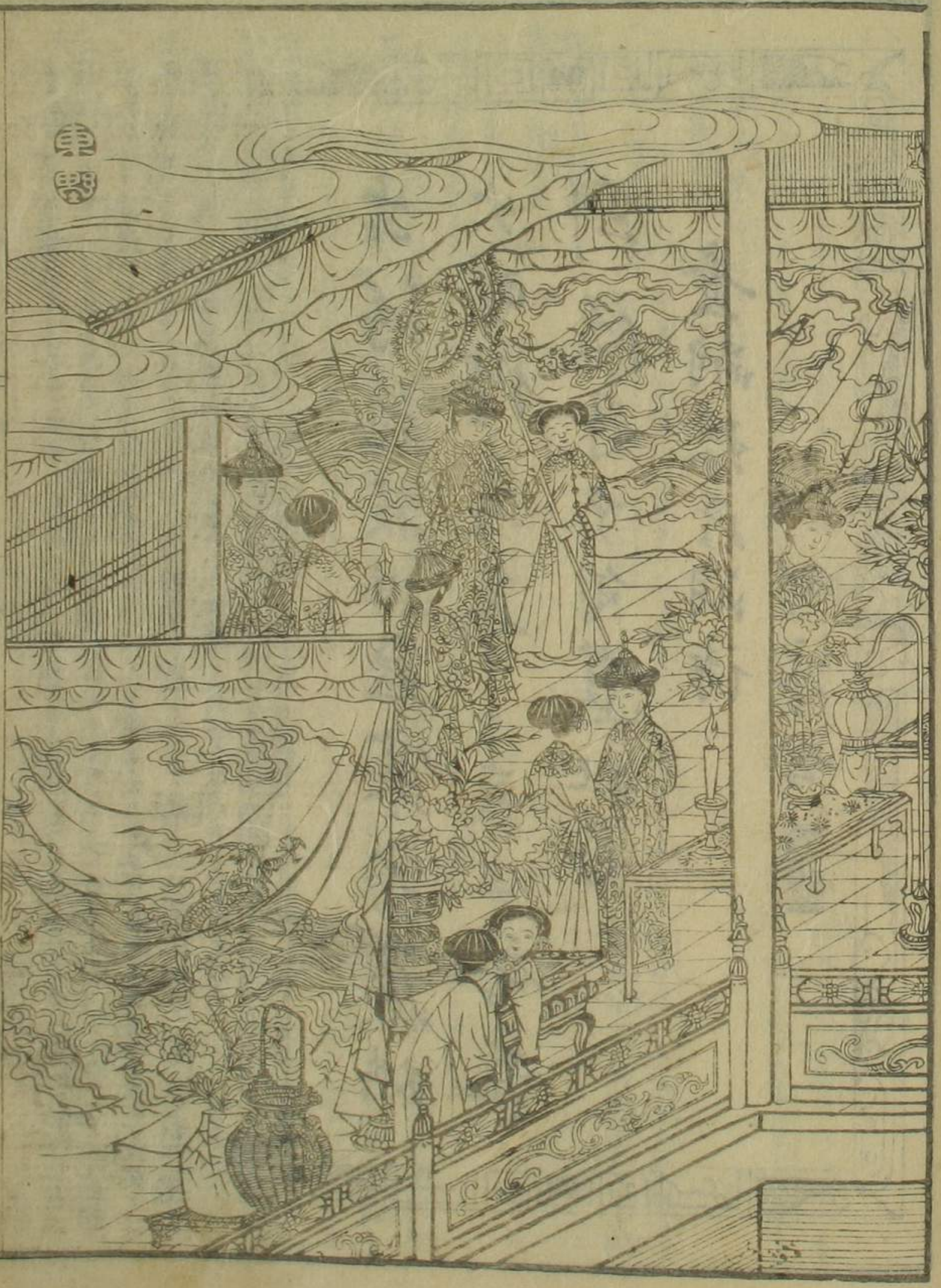
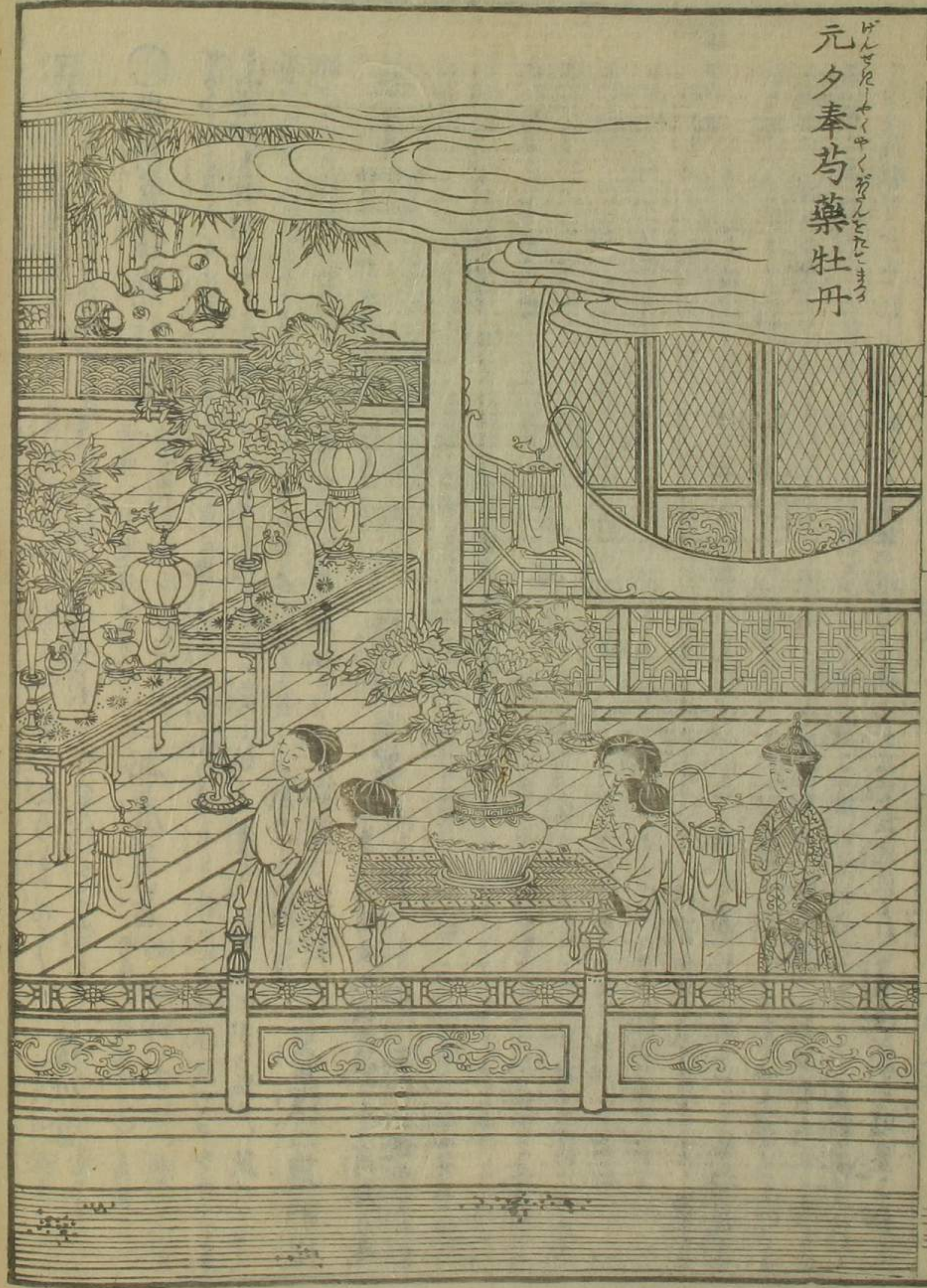
○真武廟

西華門外南長街路北あり

○南花園

西華門外南長街路北あり

元夕奉芍藥牡丹
げんざつしやくくわんとたんぼ

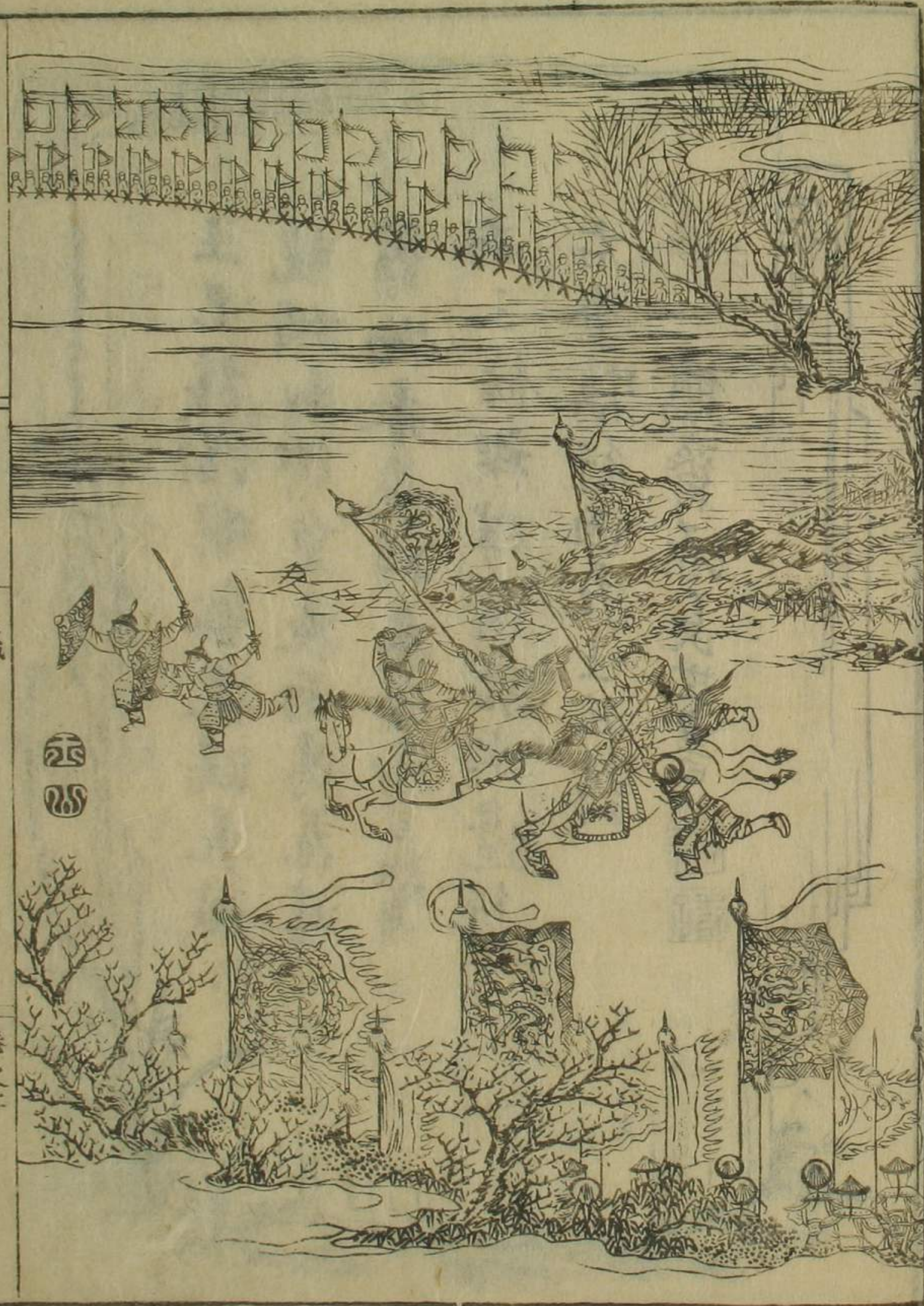


東門

京師

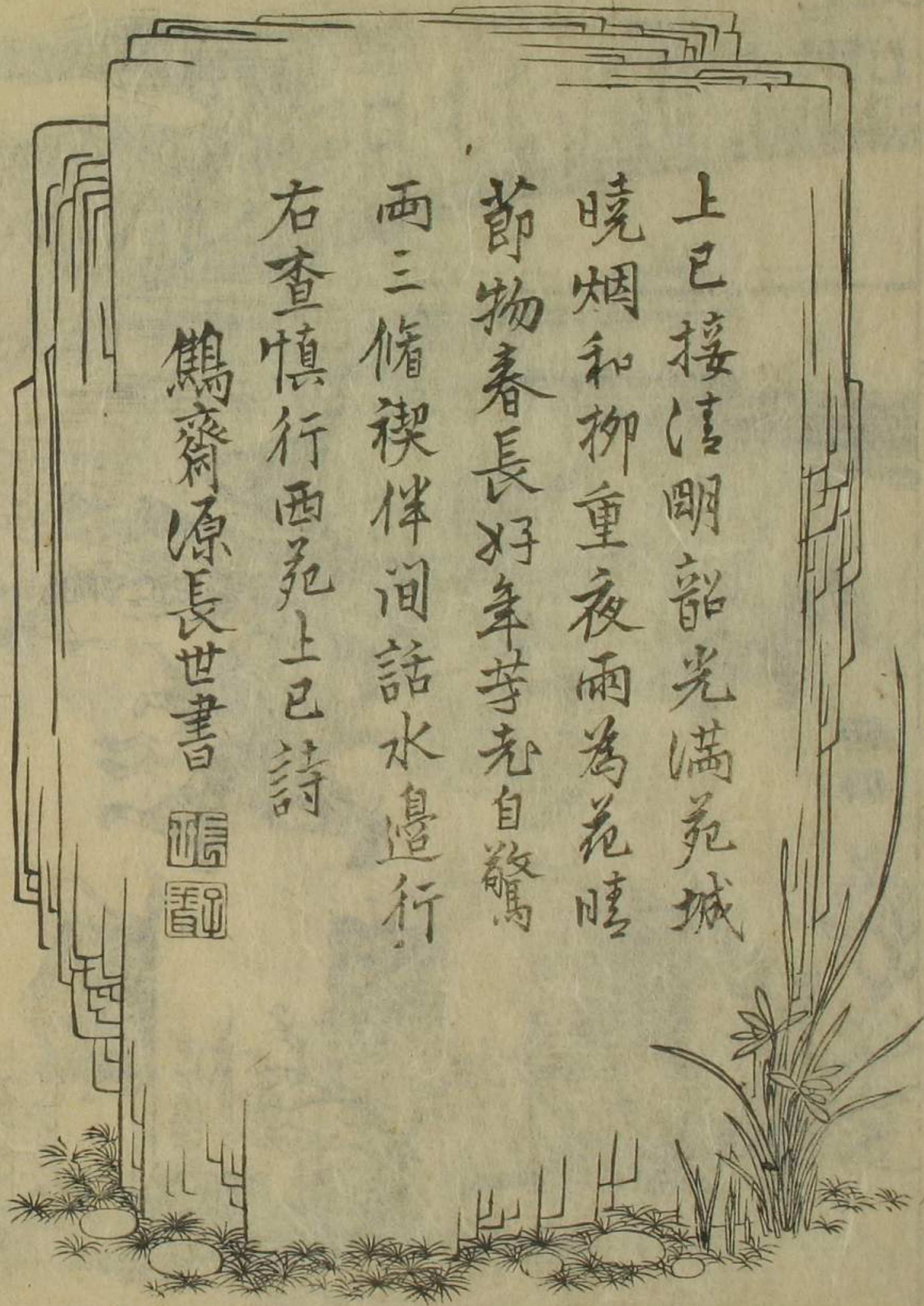
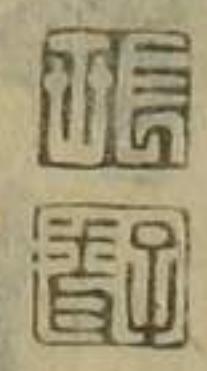
皇城

唐土

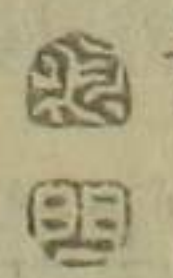


上已接清明韶光滿苑城
曉烟和柳重夜雨為花晴
節物春長好年芳老自驚
西三脩禊伴閒話水邊行
右查慎行西苑上巳詩

鷓齋源長世書

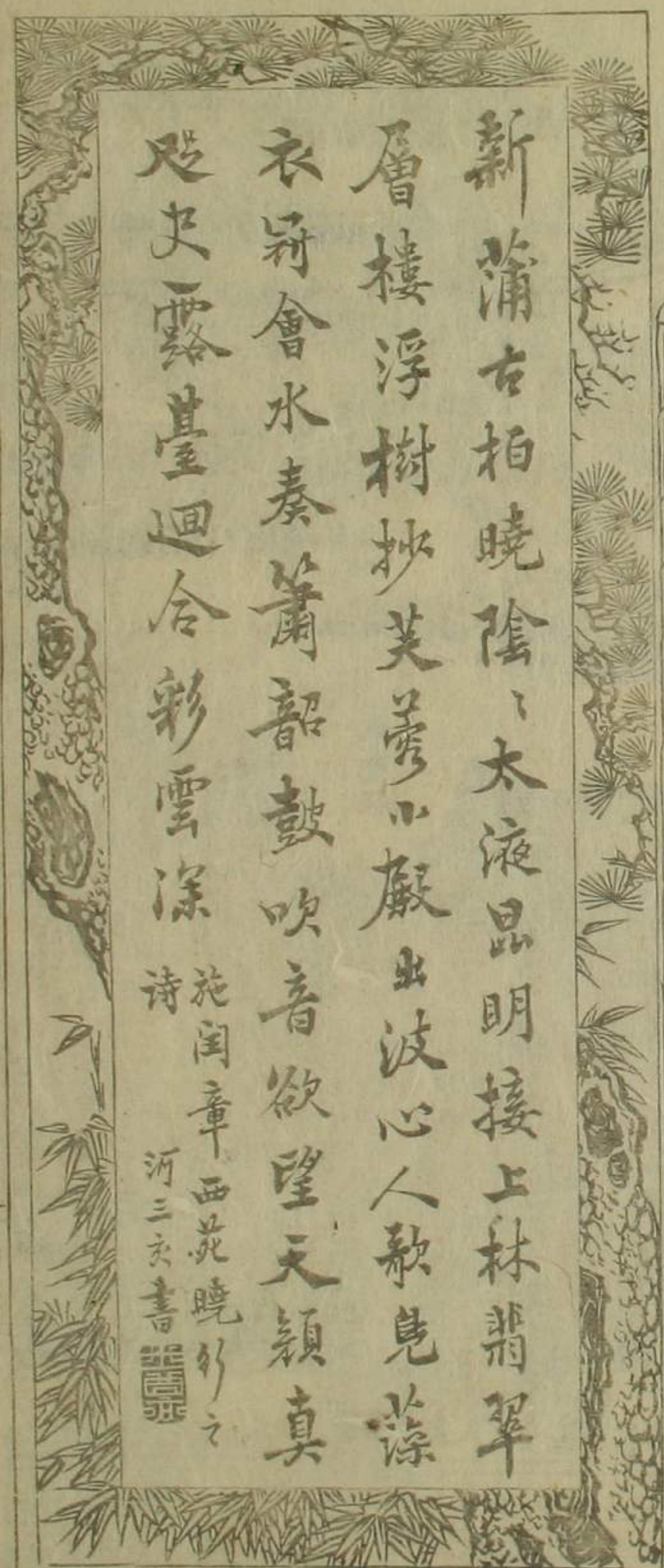


徐乾學西苑詩丹禁暗開晝漏遲上林春水綠逶
迤金隄柳弱龍媒下玉殿花深雉尾移淑氣暗通
三島月和風先拂萬年枝 宸遊扈蹕宜春苑多
是天街燈火時 荒鳴門書



新蒲古柏曉陰、太液昆明接上林翡翠
層樓浮樹抄芙蓉小殿出波心人歌見藻
衣冠會水奏蕭韶鼓吹音欲望天顏真
咫尺露臺迴合彩雲深

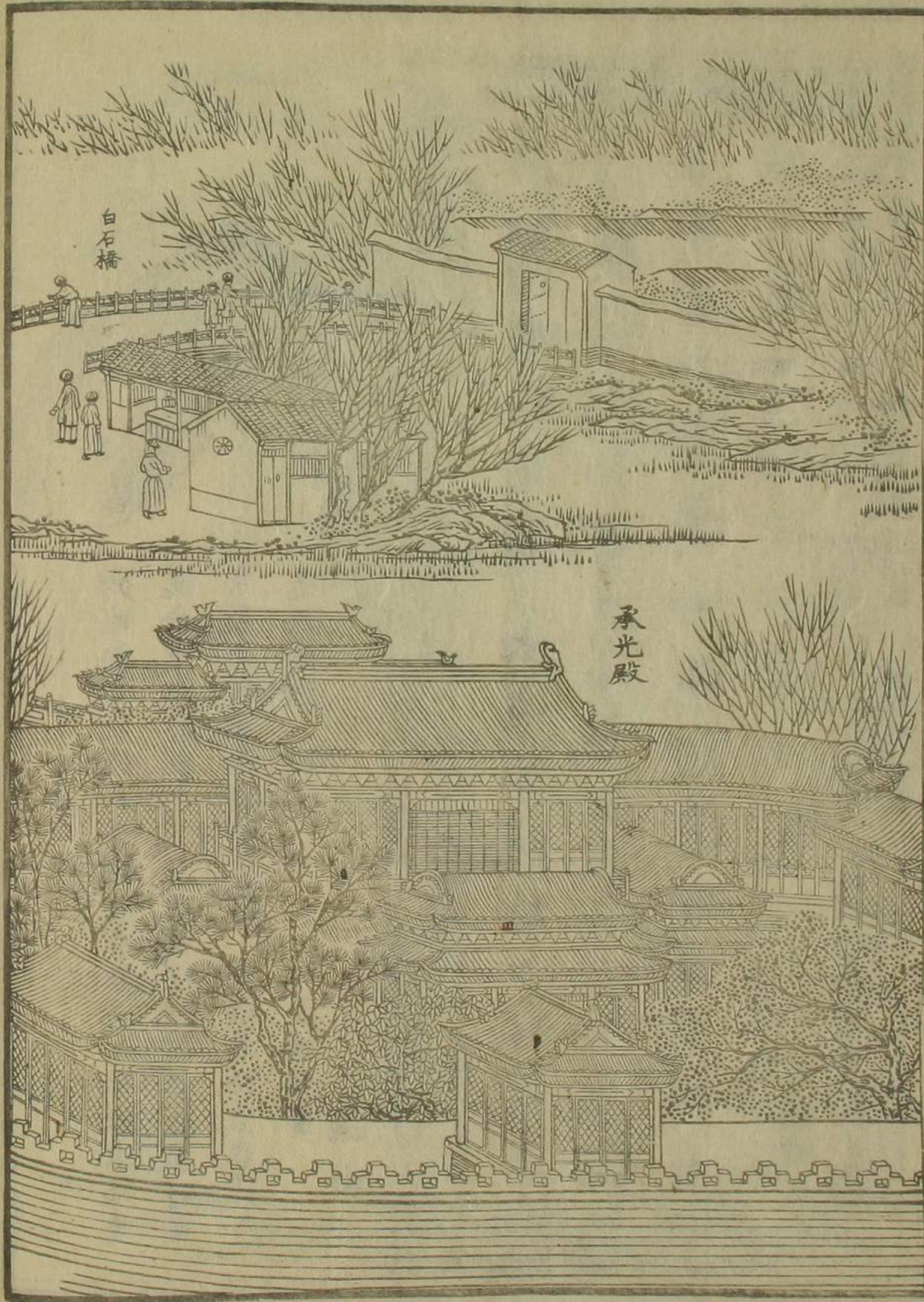
苑園章西苑曉外之
詩 河三友書

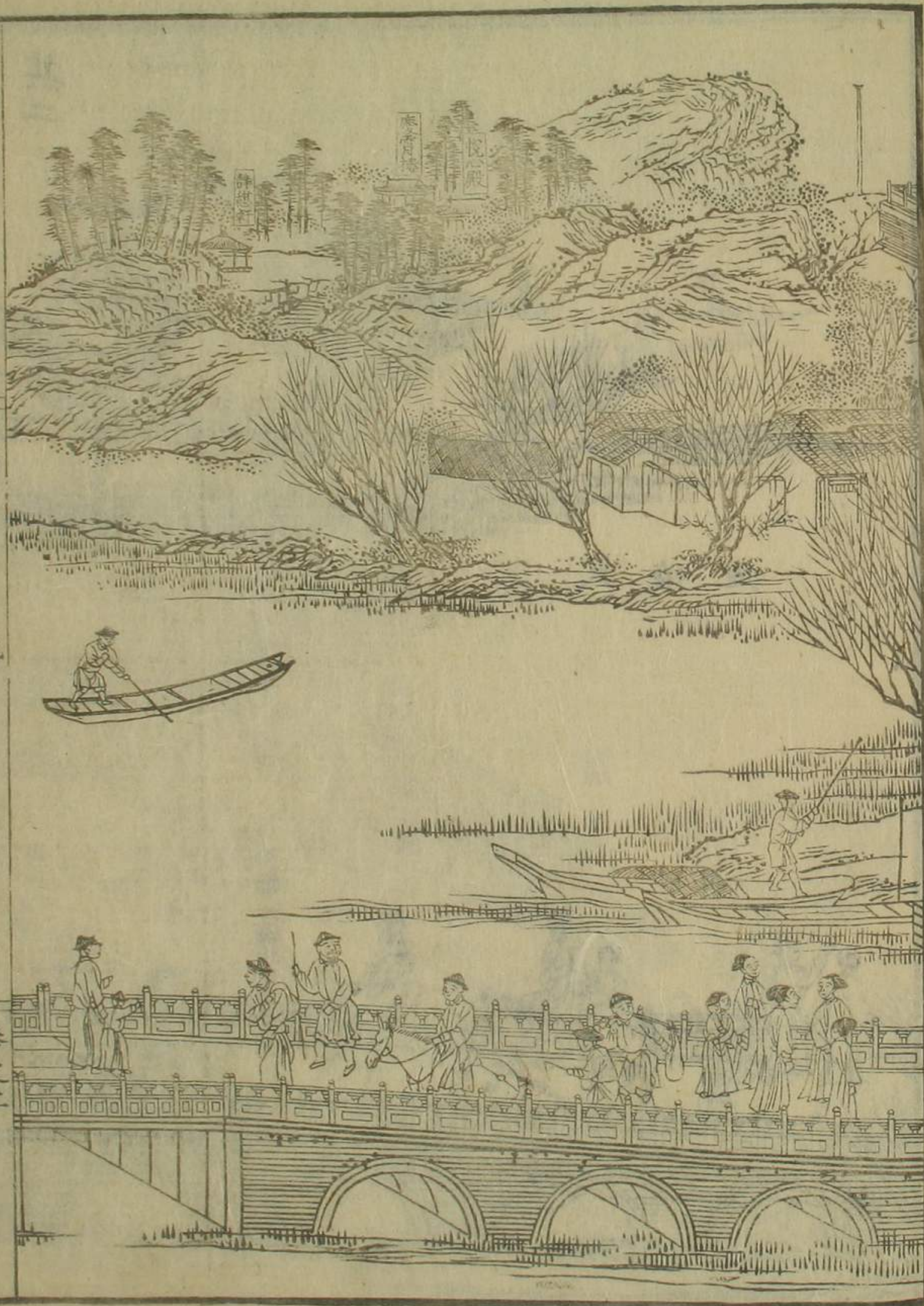




承

四



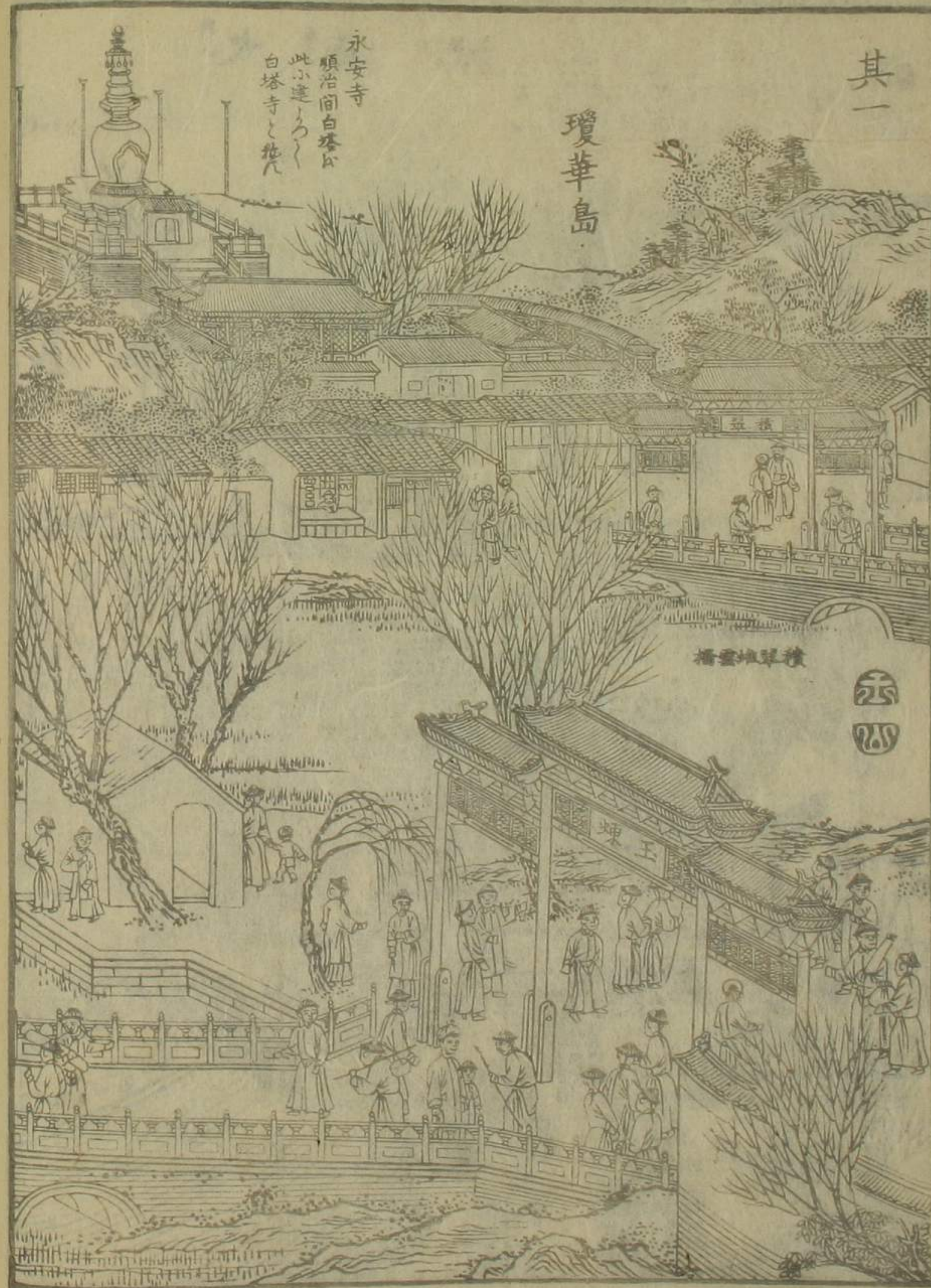


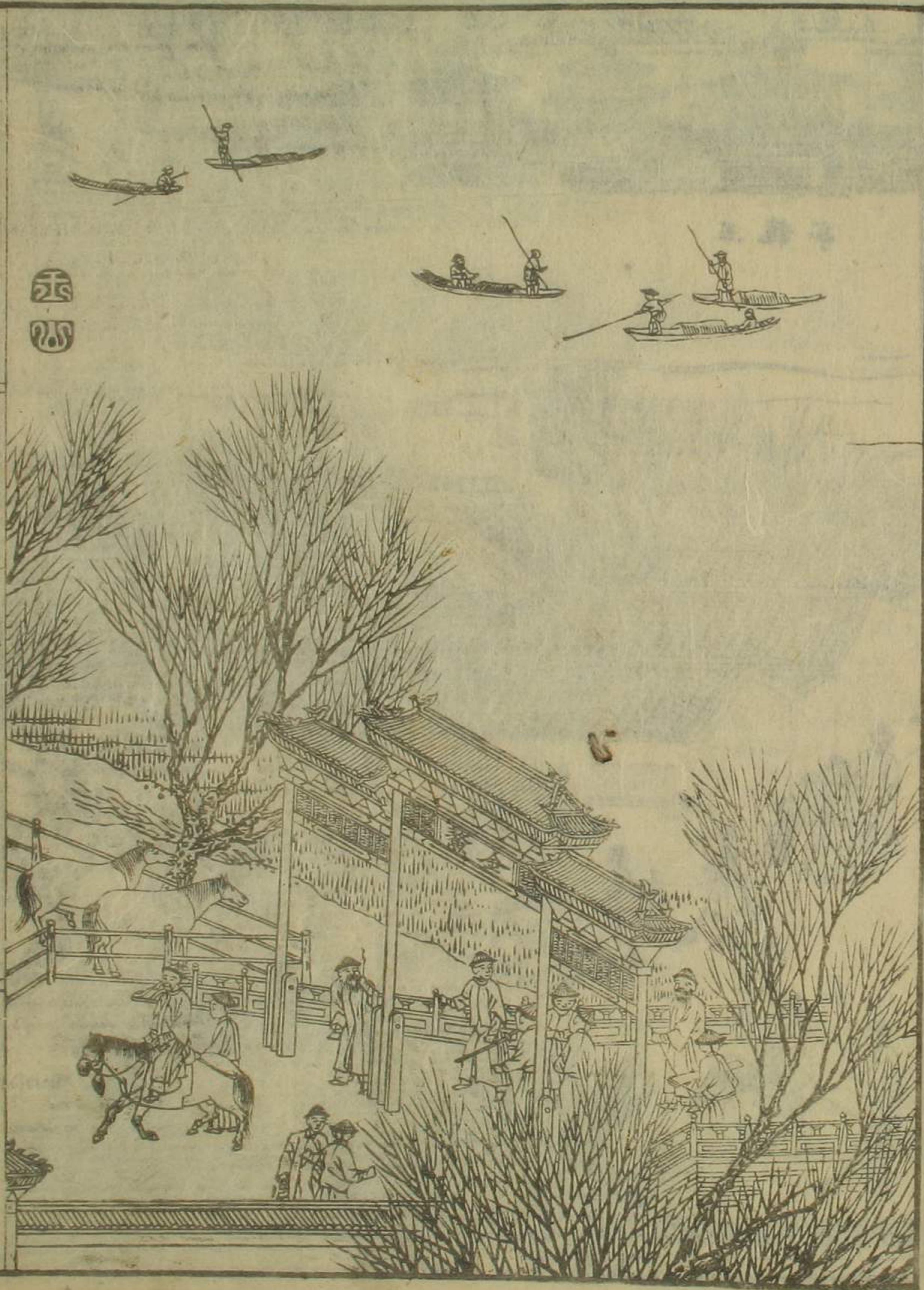
瓊華島

永安寺
順治間白塔
此心達
白塔寺之花

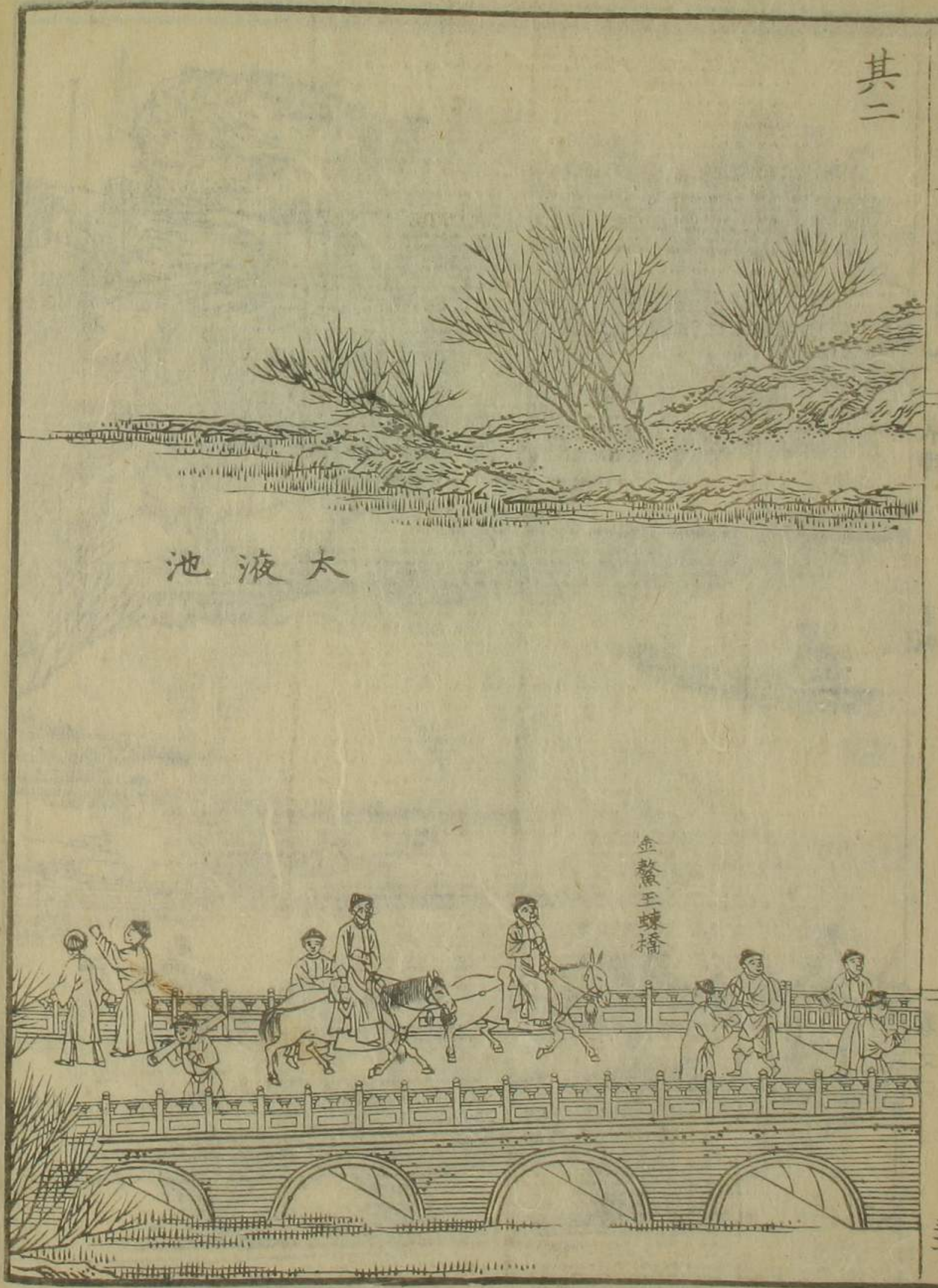
播雲地翠樓

六四



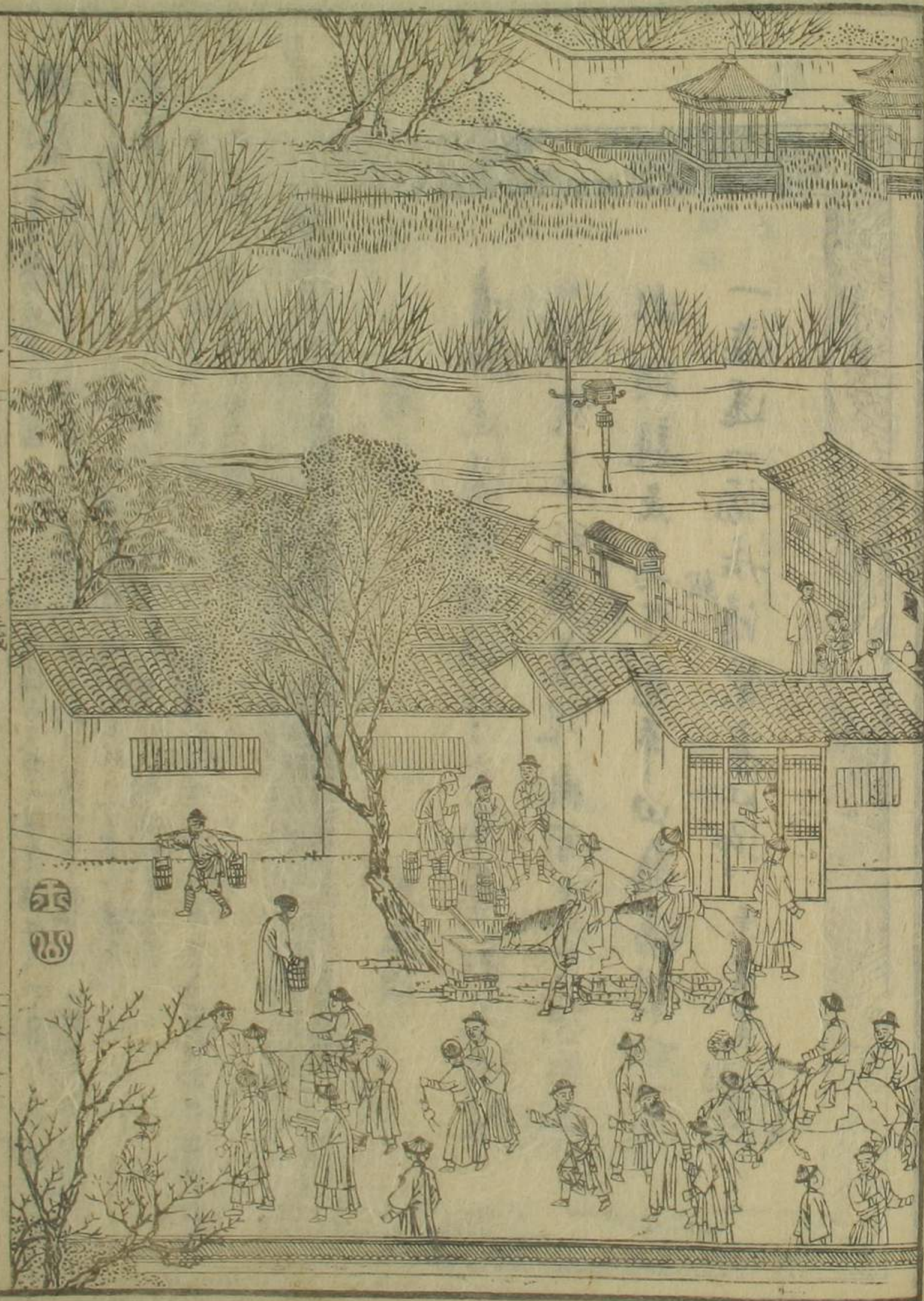


玉
四

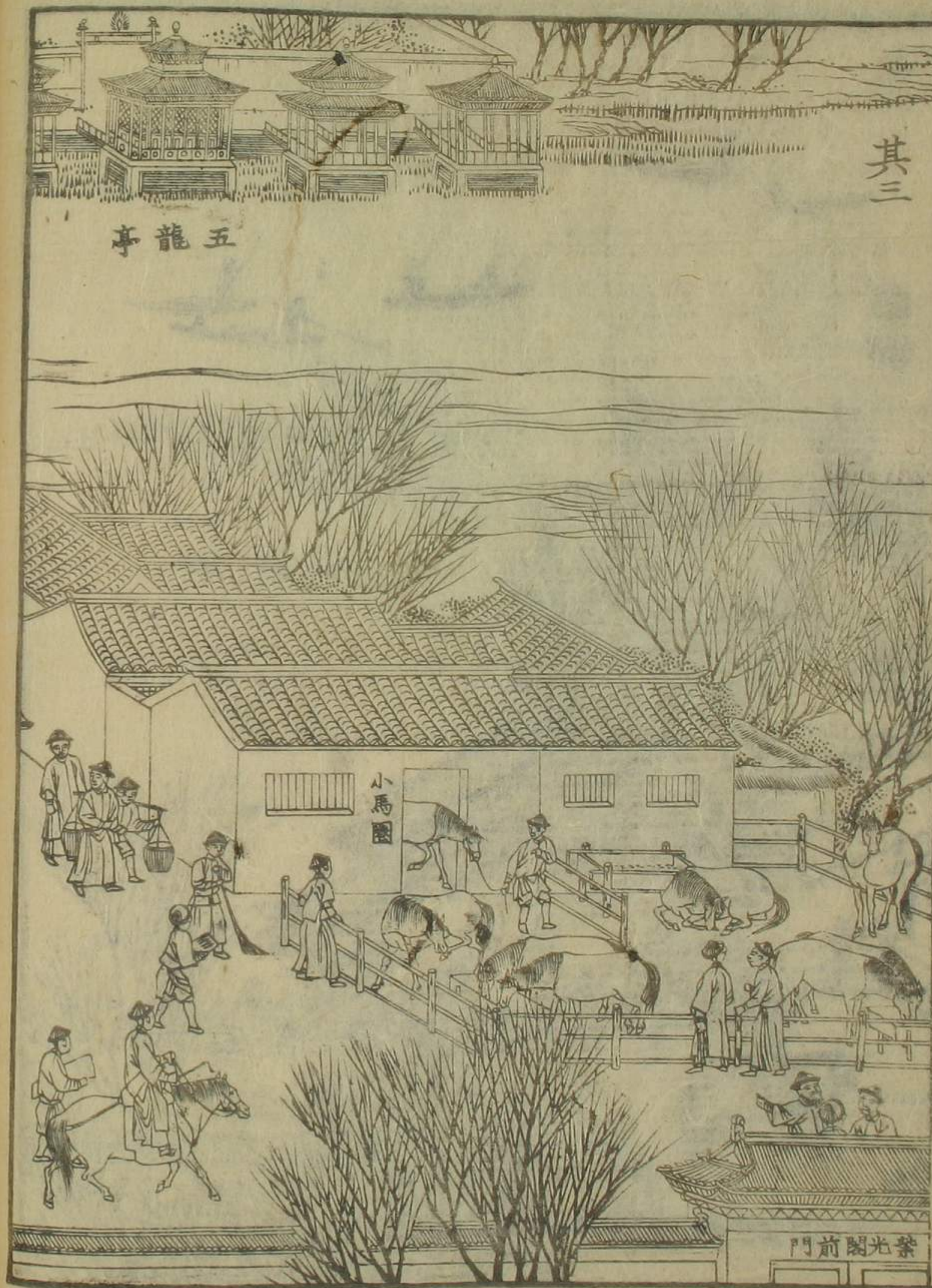


大液池

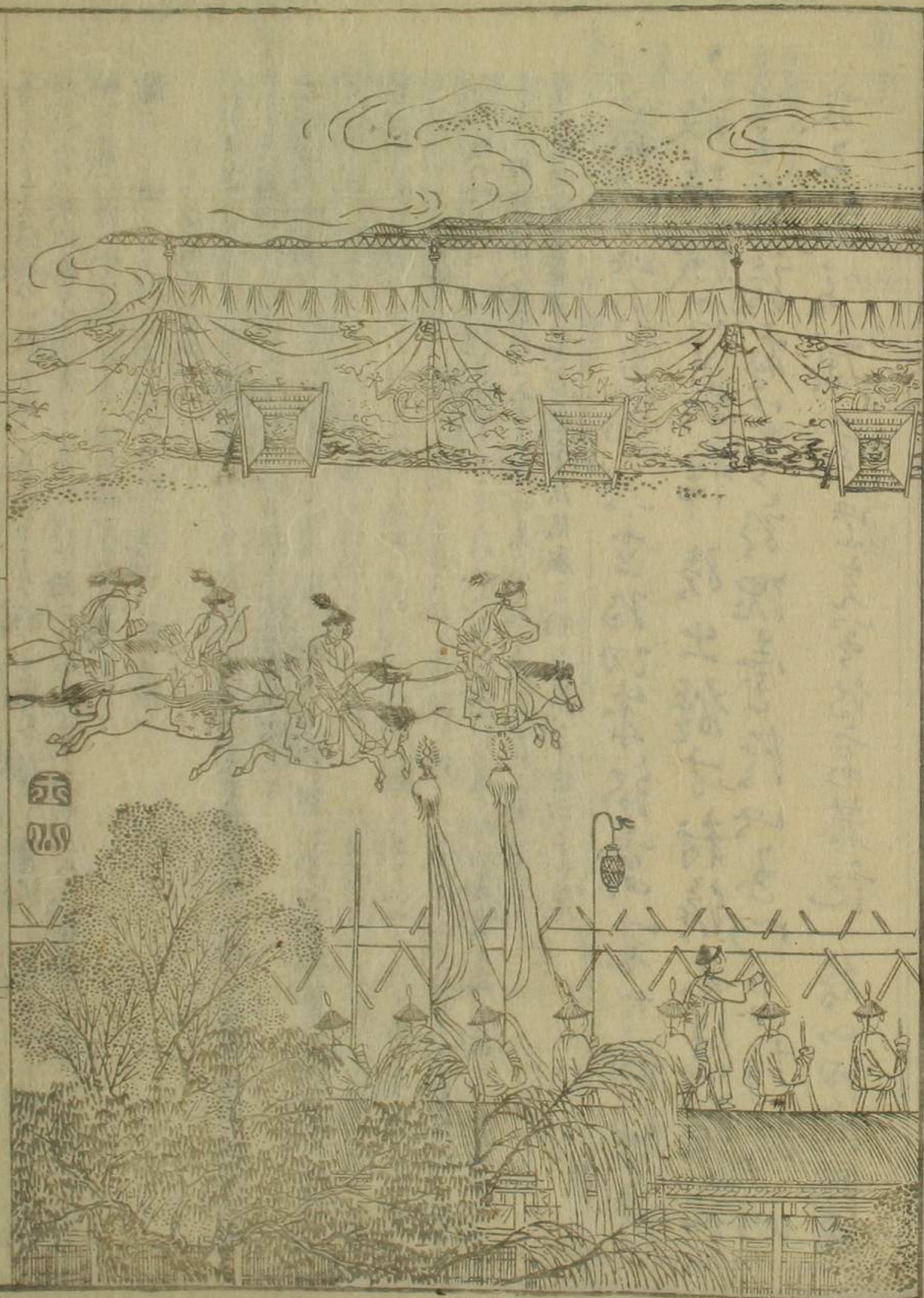
金鰲王蟻橋



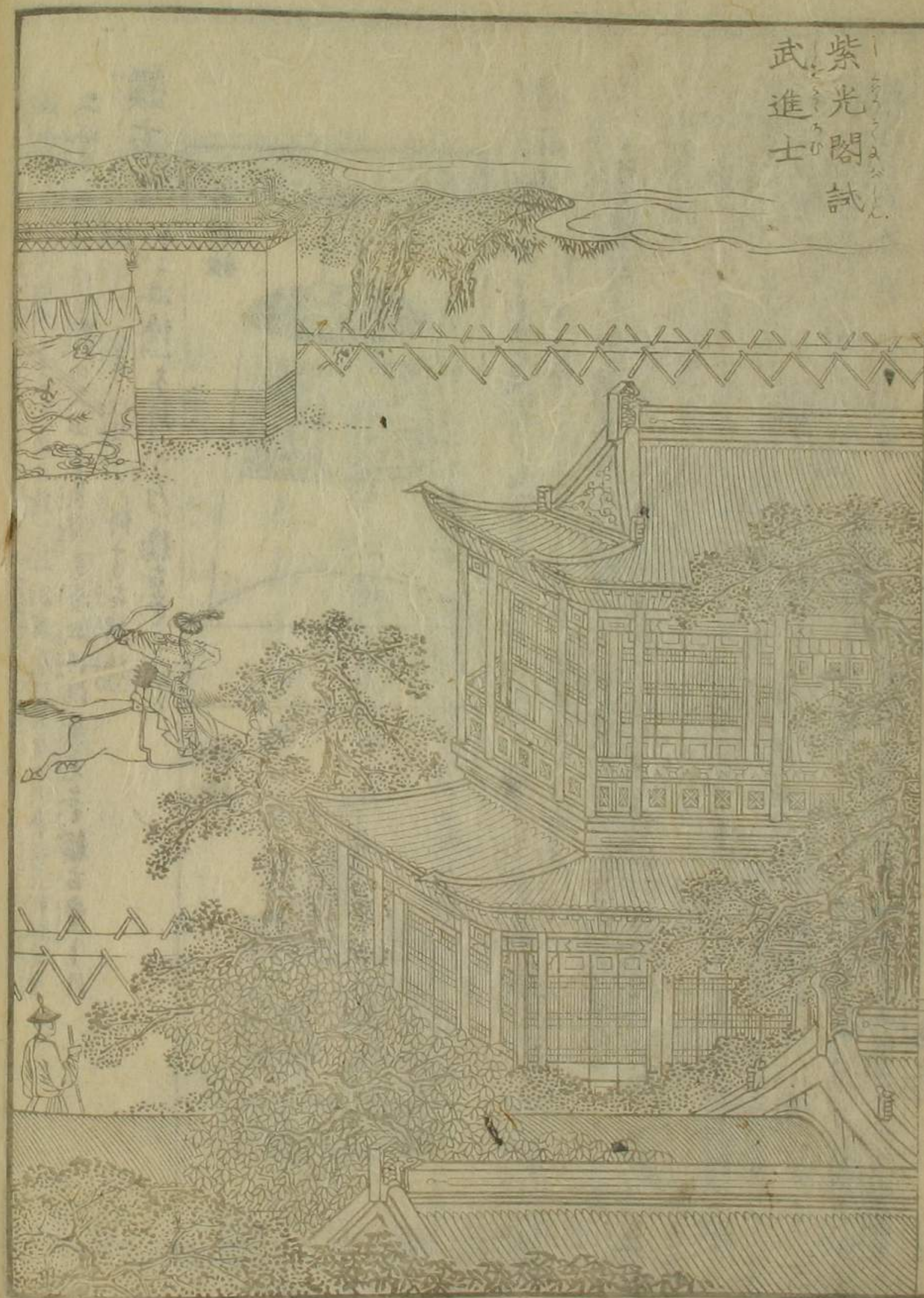
五龍亭



紫光閣前門



紫光閣試
武進士



墓ありと云圓頂の小殿を徹り墓の下より鈔の廟を搦し極級して其下と雖も其廟の
池道あり明の武宗皇帝を祀るを以て社と圓のなりん其墓とらり後其墓と廢して其下の紫粉
園と建門外に金鼓の坊あり明の神天多事と稱し
龍舟を圓りし向馬の勇士を以て龍舟と稱し

明文徵明平臺詩

日上宮墻飛紫埃先皇開武有層臺下方馳道依城盡東面飛軒映水開雲傍綺院常不散
鳥窺仙仗去還來金華待詔多頭白欲賦長楊愧不才

唐匡中校の初三日上三旗りて向御衛を集りて村と搦り康熙帝御制の詩に隊自花園入鏢
後柳外分とらるる勢ありて村と搦り後正復勝と稱し其廟と廢して其下の紫粉園の
園と稱し又其の園と稱し又此紫粉園の初三日上三旗りて向御衛を集りて村と搦り康熙帝御制の詩
あり後功長平人の詞長小命し其廟と廢して其下の紫粉園の初三日上三旗りて向御衛を集りて村と搦り
あり時應宮の園の北より丙甲の多金川を依りて其廟と廢して其下の紫粉園の初三日上三旗りて向御衛を
獲る石の寶壽殿殿の廟を武成殿と稱し其廟と廢して其下の紫粉園の初三日上三旗りて向御衛を

觀崎山を搦りて其廟と廢して其下の紫粉園の初三日上三旗りて向御衛を集りて村と搦り
收絶域を竹俤出雄才村後不讓班超
寺あり後唐の初三日上三旗りて向御衛を集りて村と搦り
交々叙叙康寧山を搦りて其廟と廢して其下の紫粉園の初三日上三旗りて向御衛を

尊藏紫光閣得勝靈燾之圖

御製尊藏得勝

靈燾於紫光閣詩以紀事

亭鄧靖金牙威宣載旆燧烽消洱海德表結旌

爰開高閣以圖形並弄

靈旂為守器原夫一麾區閣外彌文不侈

禍機七宿炳

壇中壯志初傳曉鼓方過和連而壓陣千山風鶴騰

聲更驅旆屬以揮軍百部沙虫掃跡昔也緬幸

程乃斗逐是森羅今馬耀裝鄂弓逾其英特

彼龍堆遠矣非惟銅柱齊標而虎紐累然合與

金符同謹使此電霜生色非徒充武庫之儲還

將日月承 廢永隸奉常之掌

麟閣圖形例紫光大師

靈燾並尊藏拾樞伊古資

神佑功績從今紀太常信是元戎萬慮固肯忘

力効疆場持盈知足懷

乾旄敢復佳兵恃盛疆

乾隆庚辰孟春

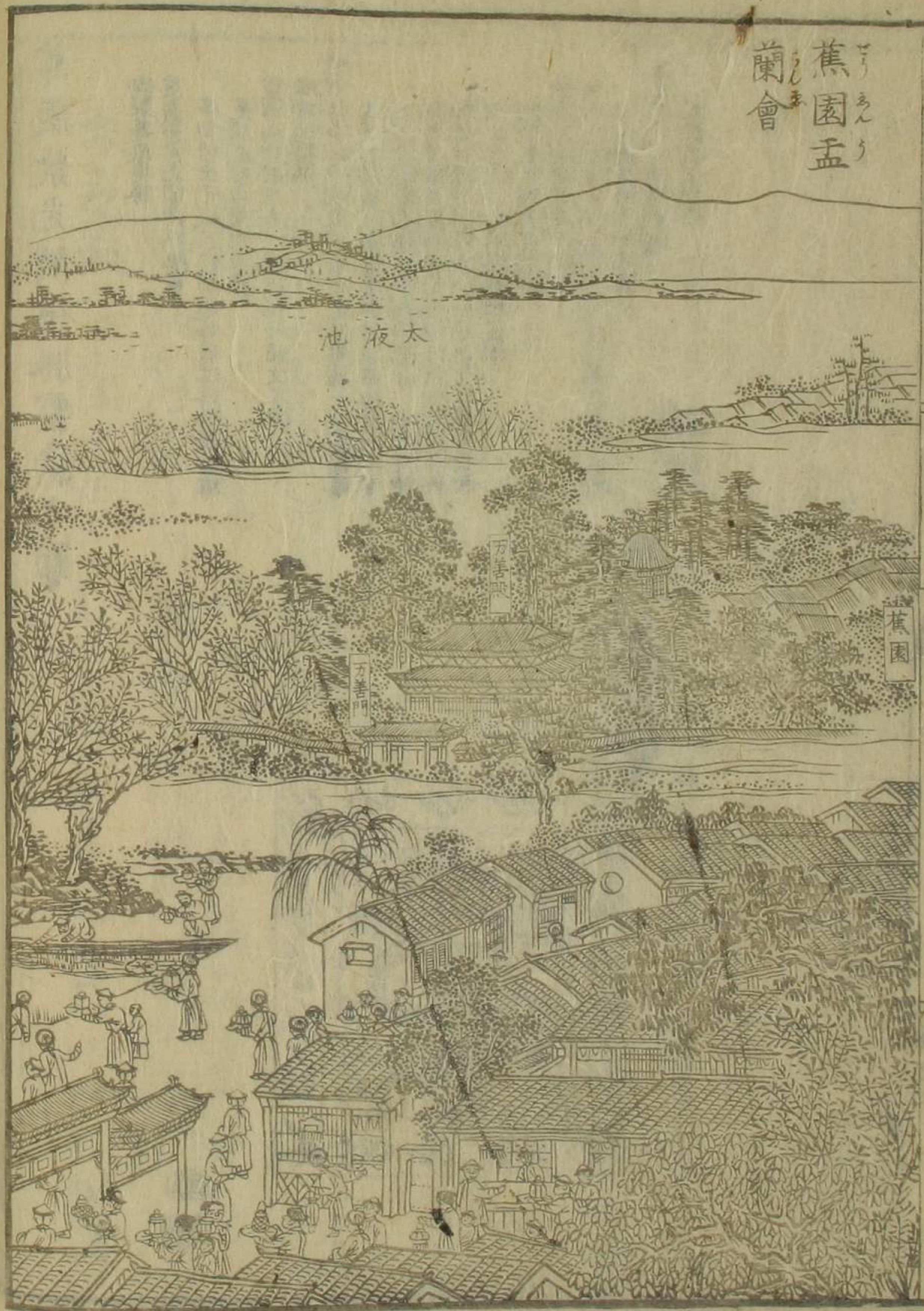




萬歲山

西

蕉園孟
蘭會

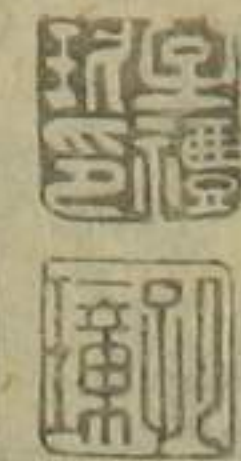


池液太

蕉園

蕉園 西苑門より東岸と橋を北より蕉園と云ふ松栢堂を築きとせむと云ふ蕉園の中
 蕉園 蕉園の東に松栢堂あり。萬善殿 智願の四址り
 南苑門の内より殿の後、空号殿あり。園蓋の聖殿と稱し、東に延祥殿あり。西に集賢殿あり。園
 本内監の堂より順治の同殿あり。佛像を供し、内監の老なる者と稱せり。此に下は地修
 下は又本徳玉林の二橋あり。應じて云ふ。此に下は居屋あり。萬善殿あり。七月十八日此に西園蓋を修す。
 系師の民其目の著る項より荷系と稱し、應じて云ふ。此に下は居屋あり。萬善殿あり。七月十八日此に西園蓋を修す。
 南八廡基あり。北に系師山と稱し、應じて云ふ。此に下は居屋あり。萬善殿あり。七月十八日此に西園蓋を修す。
 系師門の西より水埭あり。水中に水雲樹あり。水雲樹と云ふ。此に下は居屋あり。萬善殿あり。七月十八日此に西園蓋を修す。
 秋凡り此にあり。萬善殿あり。水雲樹の北に金鼓堂あり。萬善殿あり。七月十八日此に西園蓋を修す。

接旌芭蕉色 演絲滿御園
 羊 臨便康安去 雨燕蜂綠結
 芙蓉 汪馬交薜荔 翻詞林
 野 頌頌此子重承恩
 嘯 慶道南蕉園詩
 葛波書



人字柳 在廣池の畔、一株の柳樹あり。乾漉り而暴風あり。大なる枝を吹折て地
 散せし枝、根とせし。緑の枝、柳と稱し、且其葉をうら人の髪に似たり。人字柳と稱す。
 人字柳 乾漉り而暴風あり。大なる枝を吹折て地散せし枝、根とせし。緑の枝、柳と稱し、且其葉をうら人の髪に似たり。人字柳と稱す。



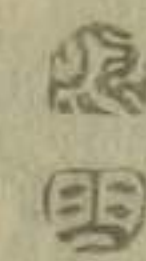
金鼓堂玉樓橋

在廣池の東、金鼓堂あり。玉樓橋あり。此に下は居屋あり。萬善殿あり。七月十八日此に西園蓋を修す。

義光殿 會慶寺後醍醐天皇の御成道御所也其殿之北有神池也
 義光殿 即義光殿也其殿之北有神池也
 義光殿 即義光殿也其殿之北有神池也
 義光殿 即義光殿也其殿之北有神池也
 義光殿 即義光殿也其殿之北有神池也
 義光殿 即義光殿也其殿之北有神池也
 義光殿 即義光殿也其殿之北有神池也
 義光殿 即義光殿也其殿之北有神池也
 義光殿 即義光殿也其殿之北有神池也
 義光殿 即義光殿也其殿之北有神池也
 義光殿 即義光殿也其殿之北有神池也

王甕之圖

輻辮録云王甕玉甕五有白章
 隨其形別為魚獸出沒波濤之
 狀其大可時酒三十餘石徑四
 尺五寸高二尺圍一丈五尺
 至元二年告成勅置廣寒殿



永安寺

樓華推雲橋 即永安寺也其殿之北有神池也
 樓華推雲橋 即永安寺也其殿之北有神池也
 樓華推雲橋 即永安寺也其殿之北有神池也
 樓華推雲橋 即永安寺也其殿之北有神池也
 樓華推雲橋 即永安寺也其殿之北有神池也
 樓華推雲橋 即永安寺也其殿之北有神池也
 樓華推雲橋 即永安寺也其殿之北有神池也
 樓華推雲橋 即永安寺也其殿之北有神池也
 樓華推雲橋 即永安寺也其殿之北有神池也
 樓華推雲橋 即永安寺也其殿之北有神池也
 樓華推雲橋 即永安寺也其殿之北有神池也

樓華島之南面

永安寺の門を入て法輪殿あり又其殿下階階亭あり
 又其殿下階階亭あり又其殿下階階亭あり
 又其殿下階階亭あり又其殿下階階亭あり
 又其殿下階階亭あり又其殿下階階亭あり
 又其殿下階階亭あり又其殿下階階亭あり
 又其殿下階階亭あり又其殿下階階亭あり
 又其殿下階階亭あり又其殿下階階亭あり
 又其殿下階階亭あり又其殿下階階亭あり
 又其殿下階階亭あり又其殿下階階亭あり
 又其殿下階階亭あり又其殿下階階亭あり
 又其殿下階階亭あり又其殿下階階亭あり

意遠亭あり其亭より西に望むと其殿之北有神池也
 帝御制白塔塔院及び白塔院と云々
 順光殿あり其殿之北有神池也
 順光殿あり其殿之北有神池也
 順光殿あり其殿之北有神池也
 順光殿あり其殿之北有神池也
 順光殿あり其殿之北有神池也
 順光殿あり其殿之北有神池也
 順光殿あり其殿之北有神池也
 順光殿あり其殿之北有神池也
 順光殿あり其殿之北有神池也
 順光殿あり其殿之北有神池也
 順光殿あり其殿之北有神池也

曾向日邊明

此詩の説云極其甚明昭明觀り
 此詩の説云極其甚明昭明觀り
 此詩の説云極其甚明昭明觀り
 此詩の説云極其甚明昭明觀り
 此詩の説云極其甚明昭明觀り
 此詩の説云極其甚明昭明觀り
 此詩の説云極其甚明昭明觀り
 此詩の説云極其甚明昭明觀り
 此詩の説云極其甚明昭明觀り
 此詩の説云極其甚明昭明觀り
 此詩の説云極其甚明昭明觀り
 此詩の説云極其甚明昭明觀り

瓊華島之西面

慶雲樓の西に石を築き一房あり
 慶雲樓の西に石を築き一房あり
 慶雲樓の西に石を築き一房あり
 慶雲樓の西に石を築き一房あり
 慶雲樓の西に石を築き一房あり
 慶雲樓の西に石を築き一房あり
 慶雲樓の西に石を築き一房あり
 慶雲樓の西に石を築き一房あり
 慶雲樓の西に石を築き一房あり
 慶雲樓の西に石を築き一房あり
 慶雲樓の西に石を築き一房あり
 慶雲樓の西に石を築き一房あり

瓊華島之北面

園古樓より北へてまじれば則邀山亭... 瓊華島之北面 園古樓より北へてまじれば則邀山亭... 瓊華島之北面 園古樓より北へてまじれば則邀山亭...

瓊華島之東面

石燈より山径より看畫樓あり... 瓊華島之東面 石燈より山径より看畫樓あり...

五龍亭

先慈壇

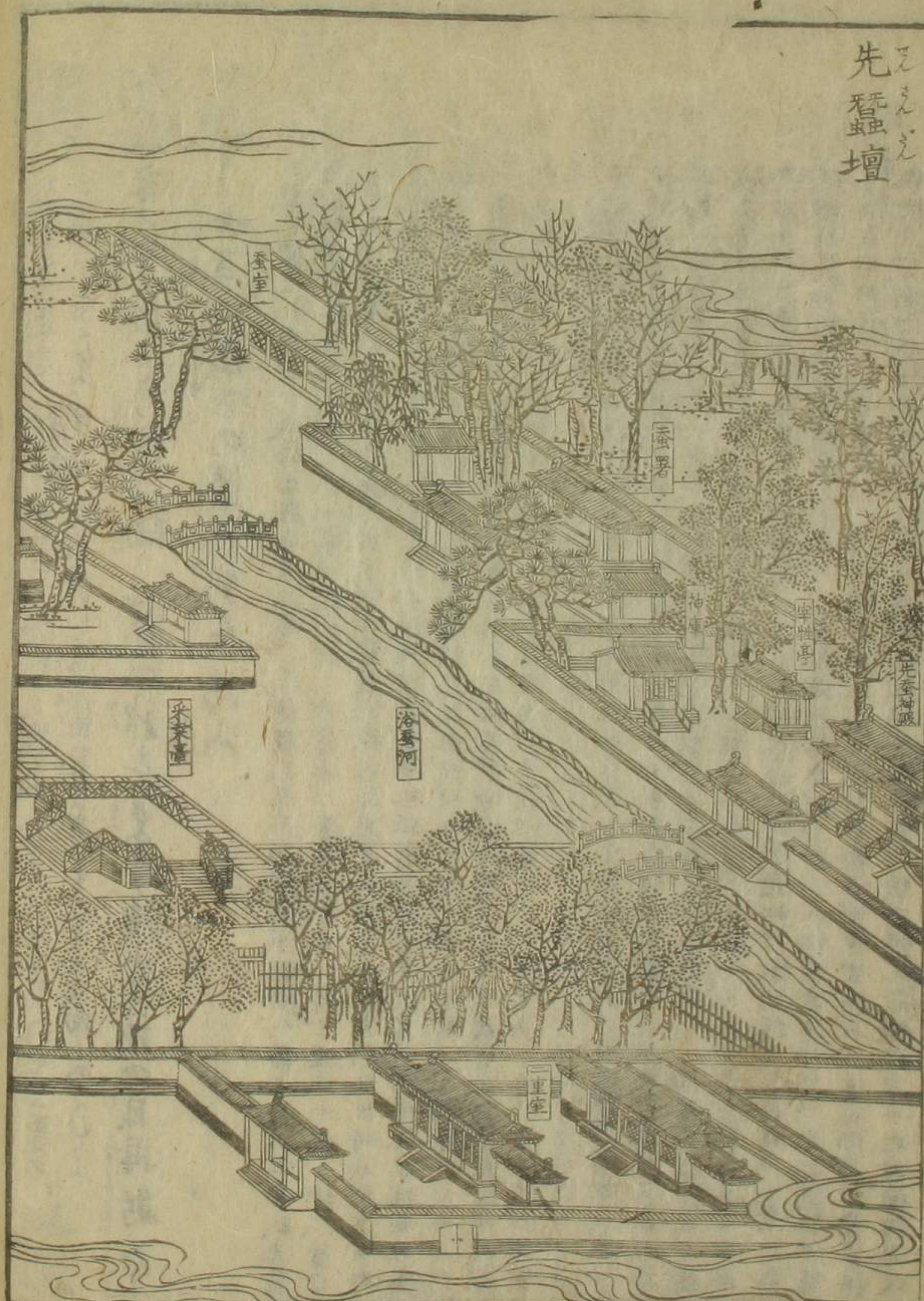
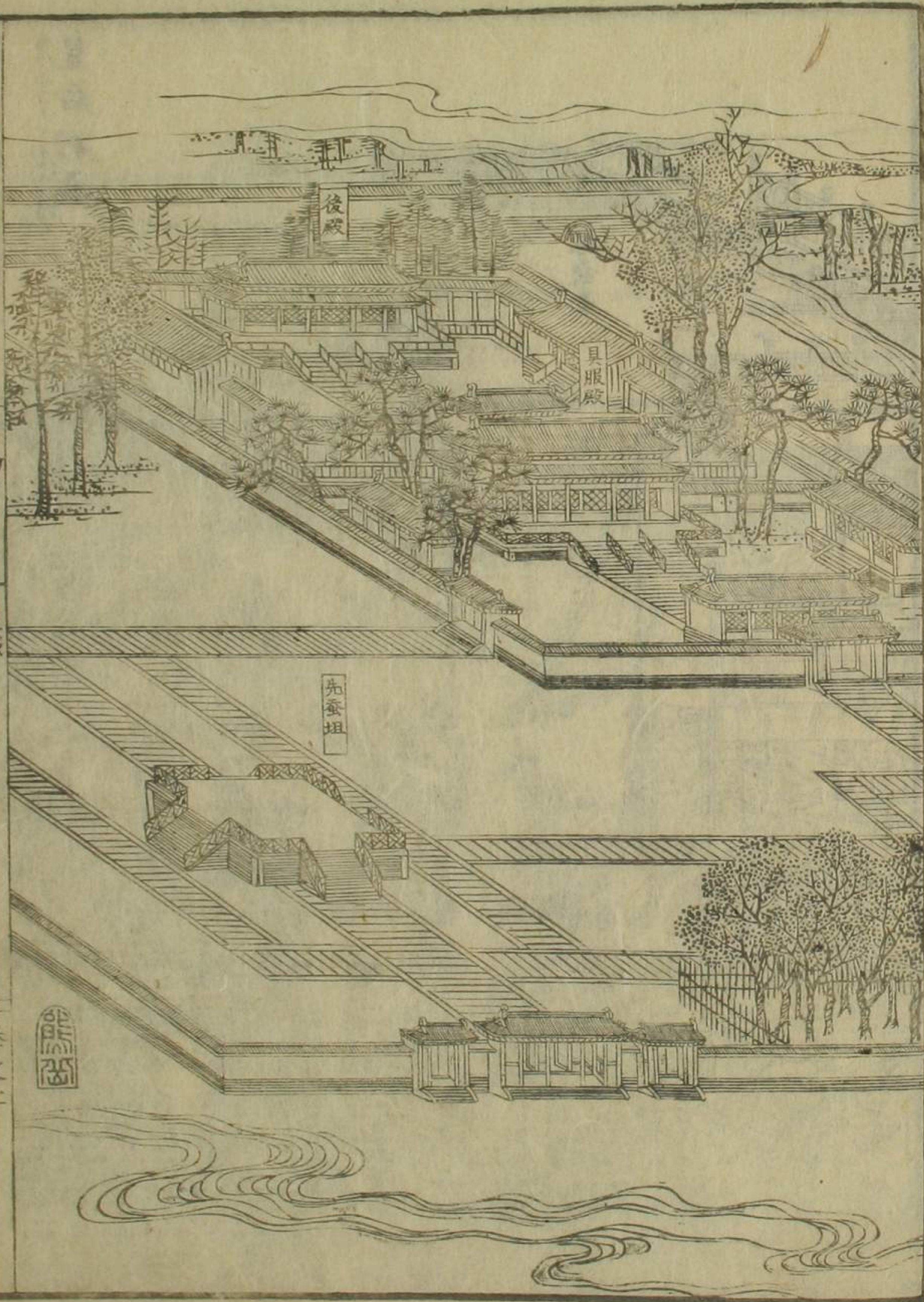
先慈壇 西苑北の隅あり其壇の制方より南より... 五龍亭 亭あり明の湖を渡池の北に殿樓亭軒多く建...

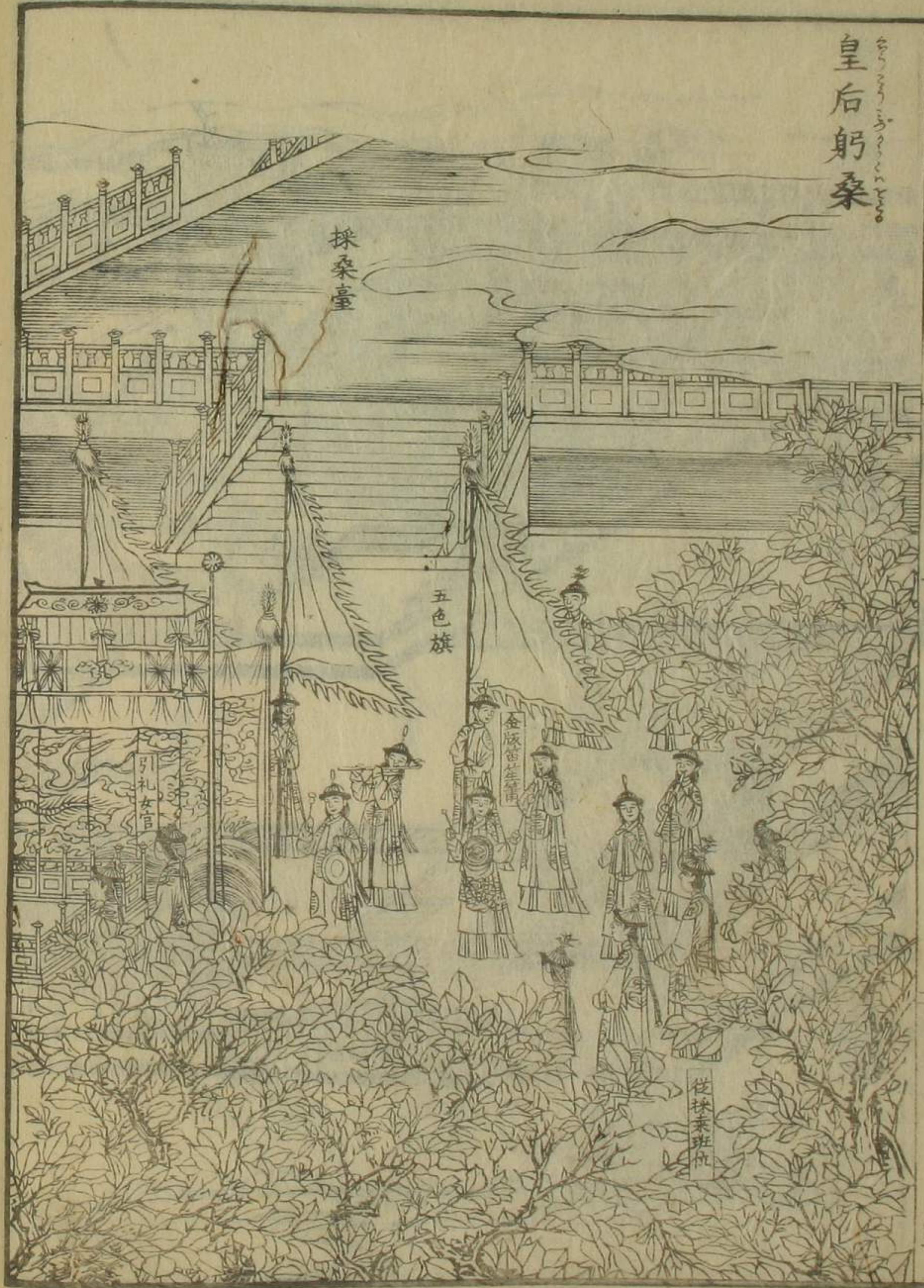
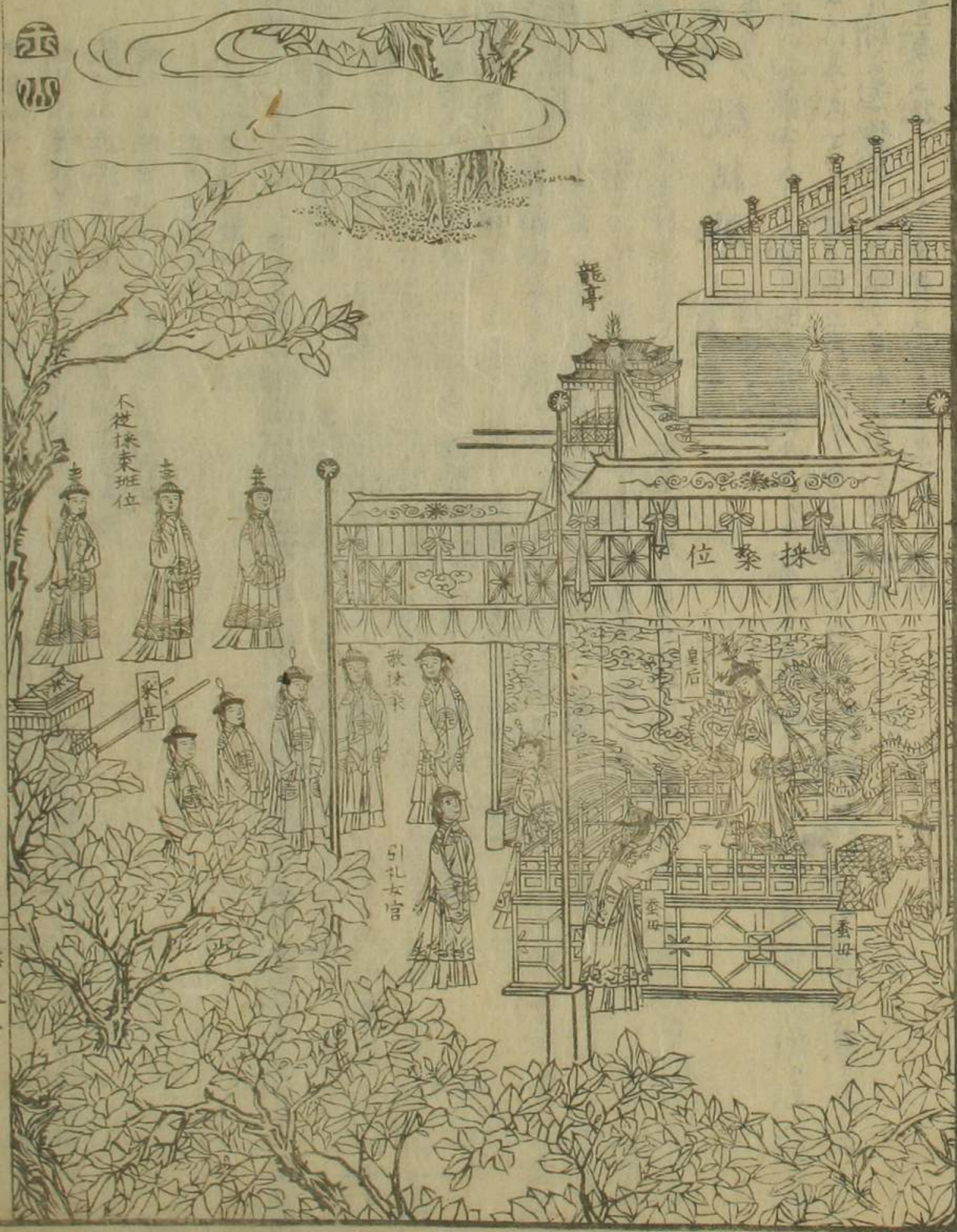
禮堂

禮堂 園古六十丈西南隅の隅にあり門三九右の小門を西北の... 禮堂 園古六十丈西南隅の隅にあり門三九右の小門を西北の...

季春吉己皇后の壇

季春吉己皇后の壇 壇は諸の禮の礼を多し其次の日再躬奉... 凡禮先慈之礼為壇一成於西苑之東北歲以季春吉己皇后躬親蠶事...





○真武殿

羊房交る迄西酒場宿舎あり

明の時金枝玉葉橋の西、玉照宮あり。世宗帝嘉靖に十三年萬壽宮災はりて去りて無宮
とす。其後、明の世宗帝萬曆の同、進尺三百餘人と云ふ。玉照宮は雜劇と云ふ
又玉照宮と額あり。其後、明の世宗帝萬曆の同、進尺三百餘人と云ふ。玉照宮は雜劇と云ふ
又玉照宮と額あり。其後、明の世宗帝萬曆の同、進尺三百餘人と云ふ。玉照宮は雜劇と云ふ
又玉照宮と額あり。其後、明の世宗帝萬曆の同、進尺三百餘人と云ふ。玉照宮は雜劇と云ふ

○雙池

聖門街の東南あり。聖門街あり

○禁沖元宅地

元後唐高祖の舊邸あり

終身去宿病、後家妻と蓋、歡歌、平分翠色瀛臺柳、依舊晴光太液波、深院自驅塵翳少、廣庭偏受月明多、那知天上蓬萊島、長作人間安樂窩

○天主堂

○琉璃作

○永佑廟

西門内街、文廟の西あり。雍正九年

○文光明殿

永佑廟の西、文光明殿あり

地なり。嘉靖年間、建雍正乾隆年間、而改寺後、乾隆帝御書の扁額あり。而寺は三聖殿、三聖殿
慈佑殿、慈佑殿あり。乾隆帝御書の扁額あり。○文光明殿の地、乾隆帝御書の扁額あり。其後、文光明殿
其の元、圓殿あり。高と教、文を撰りて、文光明殿と稱し、中より殿と大極殿と云ふ。其後、文光明殿
皆と云ふ。其の元、圓殿あり。高と教、文を撰りて、文光明殿と稱し、中より殿と大極殿と云ふ。其後、文光明殿
○高士奇

賜居西苑自城北移家詩
客中陋巷為家久、忽訝恩輝住苑西、牛背馱書
千卷重擔頭、桃樹兩株齊、門前金碧瞻天閣、屋
內、鸞龍有御題、仲蔚蓬蒿十年事、一枝偏借上
林棲

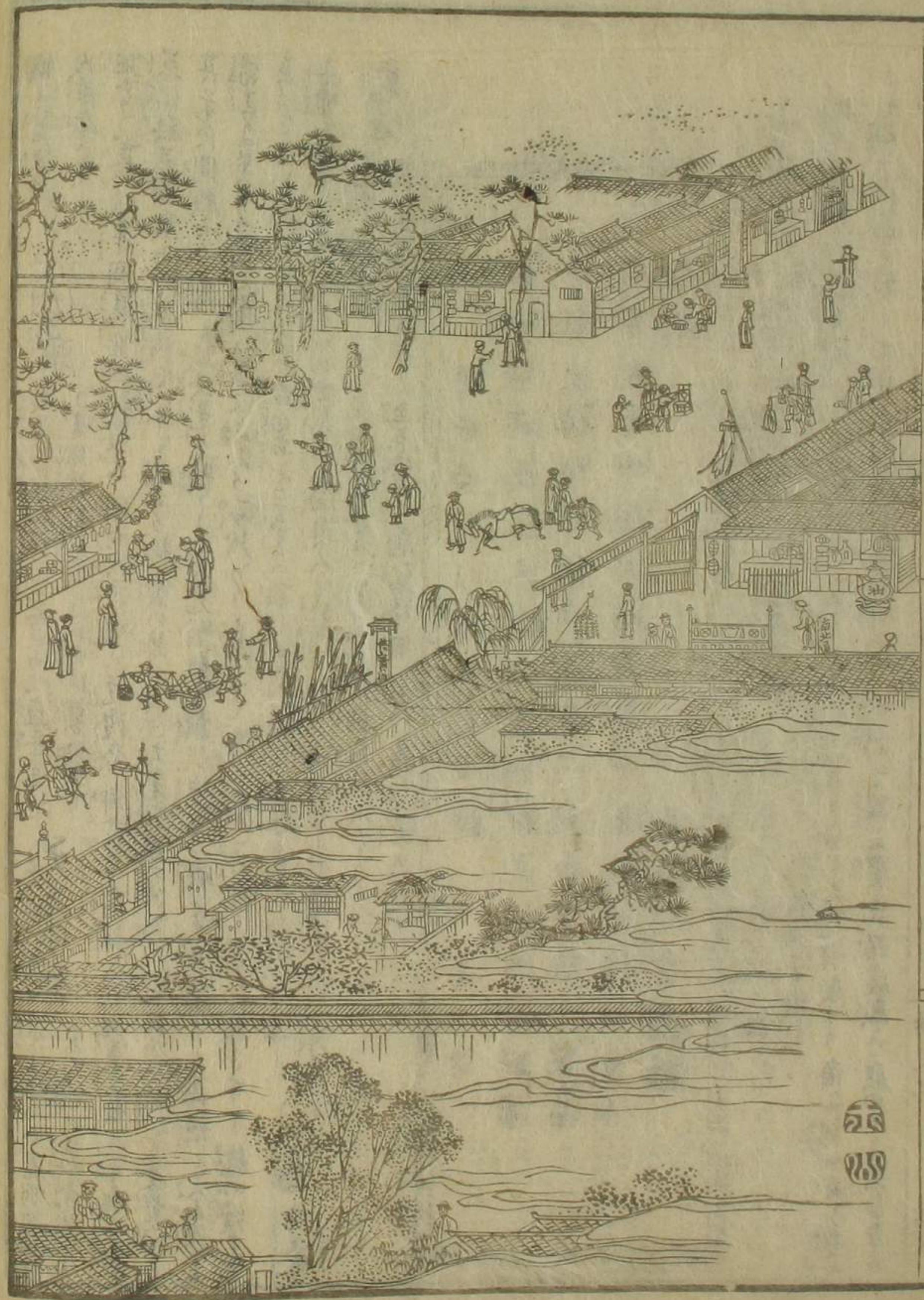
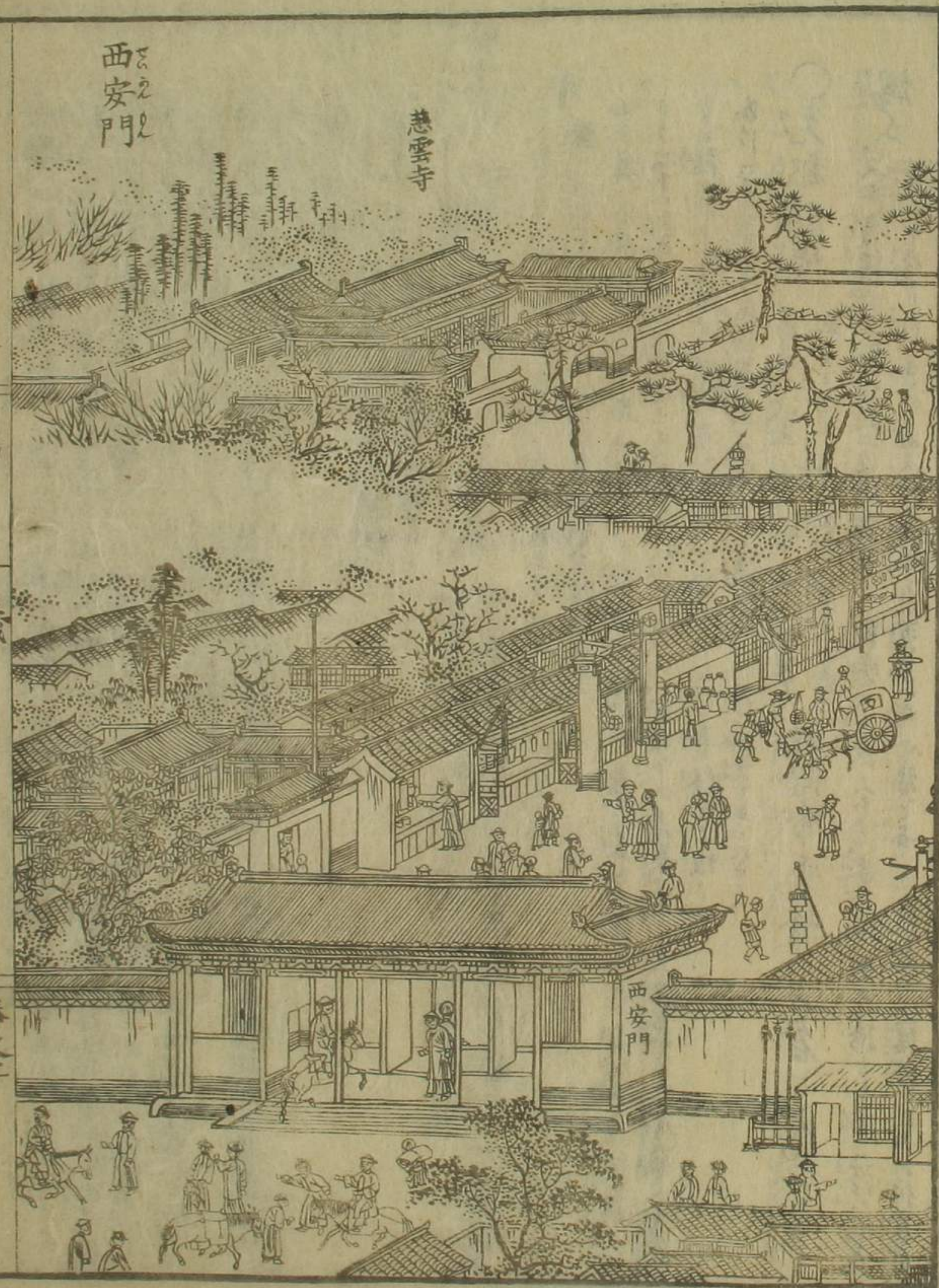
○巧機營

日ありあり、明の聖

○壽明殿

巧機營の南あり、明の聖

明代瀛臺の聖、卷園山あり。又、慈恩山と号す。或は小山あり。名く文光明殿あり。南より竹が石と号す
て、白く山あり。て、洞と号す。東に、慈恩山と号す。或は小山あり。名く文光明殿あり。南より竹が石と号す



唐土名勝圖會卷之二終

